
平成29年度 事業報告書

自 平成29年 4月 1日
至 平成30年 3月31日

社会福祉法人都市社会福祉協議会

1. 社協概要

(1) 社協概要

名 称	社会福祉法人都市社会福祉協議会
設立年月日	平成18年 1月 5日
法人認可	平成17年 9月29日
所在地	<p>【主たる事務所】〒885-0077 宮崎県都市松元町4街区17号</p> <p>【従たる事務所】〒889-1802 都市山ノ口町花木2667番地2</p> <p>〒885-1202 都市高城町穂満坊303番地2</p> <p>〒889-4601 都市山田町山田4319番地2</p> <p>〒889-4505 都市高崎町大牟田821番地3</p>
役員	<p>【理事】定数10名（うち会長1名、副会長2名、常務理事1名）</p> <p>【監事】定数 3名</p> <p>【評議員】定数20名</p>
事務局組織	<p>【本所】</p> <p>社会福祉法人都市社会福祉協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局長 ・ 総務課 ・ 地域福祉課 ・ 在宅福祉課（志和池福祉センター） ・ 点字図書館 ・ 保育課 認定こども園／谷頭こども園 <p style="text-align: center;">おおむたこども園</p> <p style="text-align: center;">保育園／前田保育園（H29.12.31 休止 H30.3.31 廃止）</p> <p style="text-align: center;">縄瀬保育園</p> <p>【支所】</p> <p>社会福祉法人都市社会福祉協議会 山ノ口支所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 支所長 ・ 地域福祉係 ・ 山ノ口・高城地区地域包括支援センター <p>社会福祉法人都市社会福祉協議会 高城支所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 支所長 ・ 地域福祉係 <p>社会福祉法人都市社会福祉協議会 山田支所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 支所長 ・ 地域福祉係 <p>社会福祉法人都市社会福祉協議会 高崎支所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 支所 ・ 地域福祉係 ・ 山田・高崎地区地域包括支援センター

(2) 役員等名簿

① 役員（理事・監事）

平成30年3月31日現在

No.	役職名	選出基準	氏名
1	理事	行政代表	杉元智子
2	理事	地域代表 H29.6.7まで	柿木原康雄
3	理事	〃 H29.6.7まで	永田優
4	理事	〃 H29.6.7まで	成田洋
5	理事	〃	村吉昭一
6	理事 (副会長)	民生委員・児童委員協議会長	米吉春美
7	理事 (副会長)	自治公民館連絡協議会長	坂元晃
8	理事	福祉事業経営団体代表	杉田淳一郎
9	理事	地域福祉推進代表 H29.6.26より	坂元和雄 田村治義
10	理事	ボランティア代表	立山静夫
11	理事 (会長)	学識経験者	島津久友
12	理事 (常務理事)	〃	西河邦博
13	理事	〃	朝倉脩二
14	監事	学識経験者 H29.6.26より	渡邊弘 坊野国治
15	監事	福祉関係者	高野眞
16	監事	専門的知識を有する者等	柿木一範

②評議員

平成30年3月31日現在

No.	役職名	選出基準	氏名
1	評議員	行政代表	小牟田 裕 行
2	評議員	〃	東 利 郎
3	評議員	民生委員・児童委員協議会代表	高 山 茂 美
4	評議員	〃	薬 丸 良 英
5	評議員	自治公民館代表	永 田 優
6	評議員	〃 H29.6.26より	柿木原 康 雄
7	評議員	地域福祉推進代表	福 村 修
8	評議員	〃	坂 下 修
9	評議員	福祉事業経営団体代表	高 橋 紳 一
10	評議員	女性団体代表	吉 村 洋 子
11	評議員	障害者団体代表	倉 山 幸 一
12	評議員	福祉機関代表	寺 原 美保子
13	評議員	ボランティア代表	新 穂 美代子
14	評議員	高齢者団体代表	馬 籠 英 男
15	評議員	共同募金会代表	木 脇 義 紹
16	評議員	医療機関代表	前 原 修
17	評議員	社会福祉普及推進校代表	玉 利 勇 二
18	評議員	経済団体代表	田 爪 邦 士
19	評議員	学識経験者	松 永 廣 生
20	評議員	学識経験者	川 本 翰 治

各課所属 (放課後児童クラブ)			
館長	西村 章子	主査 (副園長)	池之上 俊江
児童厚生員	濱川 ゆかり	主査	原口 あけみ
児童厚生員	渡邊 真美	主事(主幹保育教諭)	竹之下 良子
児童支援員	西丸 小百合	主幹保育教諭	上村 由美
児童支援員	明利 道子	保育教諭	徳留 しおり
児童支援員	長友 あや子	保育教諭	松元 優紀乃
児童支援員	池崎 ナオミ	保育教諭	宮本 あゆみ
児童支援員	朝倉 洋子	保育教諭	山内 彩佳
児童支援員	淵之上 朱美	保育教諭	岩元 奈々未
		保育教諭	岩崎 香葉子
		保育教諭	岩崎 優佳
		保育教諭	柳橋 摩耶
		栄養士	森 智美
		保育教諭	安藤 愛梨
		保育教諭	永盛 生美
		保育教諭	横山 せつ子
		看護師	甲斐 由香利
		調理員	春口 ひとみ
		補助員	室屋 歩未
		保育教諭	小山 千里
		保育教諭	谷ヶ久保 千波
		保育教諭	山田 亜有美
		保育教諭	平川 裕子
		保育補助	平川 京子
おむたごも園 園長	金丸 恵美子	主査(主任保育士)	宮川 ひとみ
		主事(保育士)	平川 理沙
		栄養士	肥田木 直美
		保育士	南屋 百合子
		保育士	児島 博子
		保育士	新原 啓子
		保育士	川東 梨恵
山之口支所 支所長	下徳 吉弘	地域福祉係 係長 (兼)下徳 吉弘	主査
			西園 加代子
			事務職員
			兼光 実貴
			介護職員
			戸越 弘子
			看護職員
			高原 明美
			介護職員
			川崎 英一
			介護職員
			猪ヶ倉 朱里
			看護職員
			木村 直美
			看護職員
			川口 幸恵
			介護職員
			上石 月美
			調理員
			小島 敦子
			介護職員
			吹上 恵子
			調理員
			東 留美子
			調理員
			中丸 るり子
山之口・高城地区地域包括支援センター	所長(社会福祉士)	主事(保健師)	広池 加奈子
	森山 信信	主任介護支援専門員	小田口 ひとみ
		認知症地域支援推進員	溝添 ひろみ
		介護支援専門員	是枝 小織
		介護支援専門員	増田 めぐみ
		介護予防担当	松元 あざみ
		介護支援専門員	満安 健太
高城支所 支所長	木下 夕子	地域福祉係 係長 (兼)木下 夕子	主事
			星原 真由美
			運転手
			平山 良照
山田支所 支所長	花園 克美	地域福祉係 係長 (兼)花園 克美	主査
			溝口 久美子
			事務職員
			柳橋 由美
			介護職兼栄養士
			山下 真由美
			看護職員
			永田 真美
			看護職員
			小森 まゆみ
			介護職員
			小園 和雪
			介護職員
			竹脇 一美
			看護職員
			米吉 まり子
			介護職員
			山下 香代子
			調理員
			宮原 恵美子
			看護職員
			二木 加代子
			事務兼介護職員
			村岡 よし子
			看護職員
			花岡 しま子
			看護職員
			桑原 英子
			看護職員
			坂下 啓子
			運転手
			若松 光雄
			運転手
			花岡 弘行
高崎支所 支所長	尻玉 誠	地域福祉係 係長 (兼)尻玉 誠	主事
			坊地 清美
			事務職員
			園田 久雄
			生活相談員
			細山田 光太
			機能訓練指導員
			横谷 明美
			看護職員
			大森 智子
			介護職員
			城山 まゆみ
			介護職員
			大浦 邦雄
			介護職員
			真方 京子
			看護職員
			森田 たか子
			看護職員
			黒木 君子
			管理栄養士
			田平 リエ
			調理員
			東野 紀子
			調理員
			森 郁子
			介護職員
			東 律子
山田・高城地区地域包括支援センター	主査(社会福祉士)	主査(社会福祉士)	堀内 大敬
	太浦 栄子	保健師	下西 知美
		介護支援専門員	西平 直路
		介護支援専門員	梅木 弥生
		認知症地域支援推進員	松永 愛子
		介護支援専門員	久保 智恵子
		介護予防担当	

2. 法人の会議

(1) 理事会の開催状況

第1回理事会 平成29年6月7日

- ①出席理事 13名（定数13名） 監事2名
- ②議 事
- 報告第1号 専決処分した事件の報告について
- ・ 投資信託（2件）の解約及び清算について
- 議案第1号 平成28年度社会福祉法人都市社会福祉協議会事業報告について
- 議案第2号 平成28年度社会福祉法人都市社会福祉協議会社会福祉事業会計収入支出決算について
- 監査報告
- 議案第3号 社会福祉法人都市社会福祉協議会社会福祉充実計画の承認について
- 議案第4号 諸規程の制定について
- ・ 都市山之口・高城地区地域包括支援センター指定介護予防支援事業所運営規程の一部を改正する規程の制定について
 - ・ 都市山田・高崎地区地域包括支援センター指定介護予防支援事業所運営規程の一部を改正する規程の制定について
 - ・ 社会福祉法人都市社会福祉協議会退職手当規程の一部を改正する規程の制定について
 - ・ 社会福祉法人都市社会福祉協議会情報公開規程の制定について
- 議案第5号 平成29年度社会福祉法人都市社会福祉協議会社会福祉事業会計収入支出補正予算（第1号）について
- 議案第6号 社会福祉法人都市社会福祉協議会業務に係る契約締結について
- ・ 公用車1台リース業務に係る契約締結について（別紙1）
 - ・ 公用車（山之口支所リフト車）1台リース業務に係る契約締結について（別紙2）
 - ・ 平成29年度紙おむつ支給業務に係る契約締結について（別紙3）
- 議案第7号 社会福祉法人都市社会福祉協議会理事候補者及び監事候補者の選任について
- 議案第8号 社会福祉法人都市社会福祉協議会評議員補充選任候補者の推薦について
- 議案第9号 社会福祉法人都市社会福祉協議会平成29年度第1回評議員会の開催について

第2回理事会 平成29年6月26日

- ①出席理事 10名（定数10名） 監事2名
- ②議 事
- 報告第2号 職務執行状況報告について
- 議案第10号 社会福祉法人都市社会福祉協議会会長、副会長及び常務理事の選任について
- 議案第11号 福祉サービスに関する苦情解決事業における第三者委員の選任について
- 議案第12号 諸規程の制定について
- ・ 都市社会福祉協議会指定訪問入浴介護事業所運営規程の一部を改正する規程の制定について

- ・都城市社会福祉協議会指定訪問入浴介護事業所（指定介護予防入浴介護）運営規程の一部を改正する規程の制定について
- ・都城市社会福祉協議会志和池福祉センター日中一時支援事業所運営規程の一部を改正する規程の制定について

第3回理事会 平成29年11月14日

①出席理事 8名（定数10名） 監事3名

②議 事

- | | |
|--------|--|
| 報告第 3号 | 職務執行状況報告について |
| 報告第 4号 | 専決処分した事件の報告について |
| 専決第2号 | 平成29年度社会福祉法人都城市社会福祉協議会社会福祉事業会計
収入支出補正予算（第2号）の専決処分について |
| 専決第3号 | 平成29年度社会福祉法人都城市社会福祉協議会社会福祉事業会計
収入支出補正予算（第3号）の専決処分について |
| | 平成29年度社会福祉法人都城市社会福祉協議会社会福祉事業会計
収入支出補正予算（第4号）について |
| 議案第13号 | 社会福祉法人都城市社会福祉協議会業務に係る契約締結について |
| 議案第14号 | 都城市志和池福祉センター改修工事に伴う設計・工事監理業務委託契約
について（別紙1） |
| 議案第15号 | 社会福祉法人都城市社会福祉協議会前田保育園の休止及び廃止につい
て |
| 議案第16号 | 社会福祉法人都城市社会福祉協議会平成29年度第2回評議員会の開
催について |

第4回理事会 平成30年3月14日

①出席理事 9名（定数10名） 監事3名

②議 事

- | | |
|--------|---|
| 報告第 5号 | 職務執行状況報告について |
| 報告第 6号 | 専決処分した事件の報告について |
| 専決第4号 | ・平成29年度社会福祉法人都城市社会福祉協議会社会福祉事業会計
収入支出補正予算（第5号）の専決処分について |
| 専決第5号 | ・平成29年度社会福祉法人都城市社会福祉協議会社会福祉事業会計
収入支出補正予算（第6号）の専決処分について |
| 議案第17号 | 諸規程の制定及び廃止について |
| | ・社会福祉法人都城市社会福祉協議会定款細則の一部を改正する細則の
制定について（別紙1） |
| | ・社会福祉法人都城市社会福祉協議会事務決裁規程の一部を改正する規
程の制定について（別紙2） |
| | ・社会福祉法人都城市社会福祉協議会事務局規程の一部を改正する規
程の制定について（別紙3） |
| | ・社会福祉法人都城市社会福祉協議会給与規程の一部を改正する規程の
制定について（別紙4） |
| | ・社会福祉法人都城市社会福祉協議会ボランティア・福祉共育おうえん |

- センター設置規程の廃止について（別紙5）
 - ・社会福祉法人都市社会福祉協議会都市ボランティアセンター設置規程の制定について（別紙6）
 - ・社会福祉法人都市社会福祉協議会資金運用規程の制定について（別紙7）
 - ・社会福祉法人都市社会福祉協議会職員の時差勤務に関する規程（別紙8）
 - ・社会福祉法人都市社会福祉協議会法令遵守規程の一部を改正する規程の制定について（別紙9）
- 議案第18号 平成29年度社会福祉法人都市社会福祉協議会社会福祉事業会計収入支出補正予算（第7号）について
- 議案第19号 平成30年度社会福祉法人都市社会福祉協議会事業計画（案）について
- 議案第20号 平成30年度社会福祉法人都市社会福祉協議会収入支出予算（案）について
- 議案第21号 社会福祉法人都市社会福祉協議会業務に係る契約締結について
- ・公用車4台リース業務委託契約について（別紙1）
 - ・平成30年度都市総合社会福祉センター清掃業務委託契約について（別紙2）
 - ・平成30年度都市社会福祉協議会広報紙印刷業務委託契約について（別紙3）
- 議案第22号 社会福祉法人都市社会福祉協議会平成29年度第3回評議員会の開催について

(2) 評議員会の開催状況

第1回評議員会 平成29年6月26日

①出席評議員 16名(定数20名)

②議 事

- 議案第 1号 平成28年度社会福祉法人都市社会福祉協議会事業報告について
議案第 2号 平成28年度社会福祉法人都市社会福祉協議会社会福祉事業会計収入支出決算について
- 監 査 報 告
議案第 3号 社会福祉法人都市社会福祉協議会社会福祉充実計画の承認について
議案第 4号 平成29年度社会福祉法人都市社会福祉協議会社会福祉事業会計収入支出補正予算(第1号)について
議案第 5号 社会福祉法人都市社会福祉協議会理事及び監事の選任について

第2回評議員会 平成29年11月28日

①出席評議員 14名(定数20名)

②議 事

- 議案第 6号 平成29年度社会福祉法人都市社会福祉協議会社会福祉事業会計収入支出補正予算(第4号)について
議案第 7号 社会福祉法人都市社会福祉協議会前田保育園の休止及び廃止について

第3回評議員会 平成30年3月26日

①出席評議員 12名(定数20名)

②議 事

- 議案第 8号 平成29年度社会福祉法人都市社会福祉協議会社会福祉事業会計収入支出補正予算(第7号)について
議案第 9号 平成30年度社会福祉法人都市社会福祉協議会事業計画(案)について
議案第10号 平成30年度社会福祉法人都市社会福祉協議会収入支出予算(案)について

(3) 評議員選任・解任委員会の開催状況

第1回評議員選任・解任委員会 平成29年6月15日

①出席評議員 4名(定数4名)

②議 事

- 議案第 1号 社会福祉法人都市社会福祉協議会評議員候補者の補充選任について

(4) その他の会議等

□経営会議

年10回(4/18、5/16、6/13、7/18、9/19、10/16、11/14、1/6、2/19、3/20)

【社会福祉法人都市社会福祉協議会事務局規程第13条】

経営会議は、会長が主宰し、常務理事、事務局長、課長(参事)、支所長をもって構成し、次の事項を審議するものとして法人本部が事務を掌理する。

- (1) 協議会の基本構想、基本計画及び実施計画、その他予算を伴う事業の計画に関する事項
- (2) 定款及び諸規程の制定及び改廃に関する事項
- (3) 理事会及び評議員会に提出すべき主要案件に関する事項
- (4) 重要な財産の取得処分に関する事項
- (5) 前各号のほか、会長が必要と認めた事項

□事業会議

- ・総務関係 事業会議 (随時開催)
- ・地域福祉関係 事業会議 (随時開催)
- ・在宅福祉関係 事業会議 (随時開催)

【社会福祉法人都市社会福祉協議会事務局規程第13条】

事業会議は、各事業の部署責任者が主宰し、関係する職員等で構成する。

□介護保険事業所管理者会議

【社会福祉法人都市社会福祉協議会事務局規程第13条】

管理者会議は、介護保険事業の各事業所の管理者等で構成する。

(5) 研修等

①平成29年度新任職員研修

- ・平成29年 5月12日(金)参加者17名

②平成29年度コミュニティソーシャルワーカー養成研修会

- ・第1回/1日目:平成29年 6月10日(土)参加者40名
2日目:平成29年 6月11日(日)参加者34名
- ・第2回/1日目:平成29年10月 6日(金)参加者35名
2日目:平成29年10月 7日(土)参加者42名
- ・第3回/1日目:平成30年 2月26日(月)参加者26名
2日目:平成30年 2月27日(火)参加者21名

③宮崎市人材研修センター 各種研修

人材研修センターで実施している各種研修会に、例年、希望者は申込み、参加している。

④地域福祉課自主研修

月2回程度、「論文の読み合わせ」と「事例検討」を中心に学習会を実施している。

3. 事業報告

(1) 平成29年度実施事業総括（※特記事項）

総務部門

◆都城市文化振興財団との包括連携協定締結

地域の芸術・文化を推進する都城市文化振興財団と地域福祉を推進する都城市社会福祉協議会とが、障がい者の自立や社会参加を支援するために9月22日（金）に包括連携協定を締結した。これは芸術・文化活動を通じて地域福祉の推進を図ろうとするもので、全国的に非常に先駆的な取り組みとなった。

◆自主財源確保のための新たな取り組み

法人の保有する現金預金の一括管理と国債等の有価証券の保管運用によって、自主財源の確保につながった。また、この運用益を有効に活用するために資産運用規程の整備も行った。

◆都城市社会福祉協議会イメージキャラクター「幸子」のお披露目

平成28年3月のみやこんじょボランティアフェスティバルで誕生した都城市社会福祉協議会イメージキャラクター「幸子」のお披露目会を9月28日（木）に都城市総合社会福祉センターで実施した。

地域福祉部門

◆「地区担当制」の導入

「第3次都城市地域福祉活動計画」に定めた重点施策の最優先施策である「コミュニティソーシャルワーカーの配置」について、15地区社協に15名の「地区担当者」を配置した。また、地区担当者を補佐する「サブ担当」職員、さらに、社協職員としていずれかの地区に属して地域福祉活動をサポートする「地域サポーター」制を導入し、オール都城社協で地区社協を支援する体制をとった。

併せて、日本地域福祉研究所に研修委託し「コミュニティソーシャルワーカー養成研修会」を年3回（6日間、27時間）実施し、延198人が受講した。

◆「生活おたすけサービス事業」の実施

平成29年4月より「軽度生活援助事業」から「生活おたすけサービス事業」へ移行され、新規の利用件数が17件となり、利用者が増加した。利用者の増加とともに4地区で養成講座を行い、計35名の生活援助員の登録があった。

◆介護保険生活支援体制整備事業の開始

平成29年度より、第2層圏域（中学校区）での生活支援体制整備の推進を開始し、12地区に19名の「第2層生活支援コーディネーター」を配置した。生活支援コーディネーターが把握した生活課題や社会資源は、情報交換会で共有した他、第1層協議体に報告、提言を行った。また、情報交換会は、関係機関との連携や、生活支援コーディネーター間で悩みの共有の場としても活用された。

さらに、「じょじょんよかとかわがまち報告会」を行い、都城市内の生活課題を領域ごとに整理し、第1層協議体をはじめ、都城市内の様々な関係団体と本事業に関する共通認識を持つことができた。

◆ボランティアセンターの充実・強化

積年の計画であった「ボランティアセンター運営委員会」を設置し、委員10名の就任を得て年3回開催し、機能的なボラセン運営について協議を開始した。昨年引き続き、九州北部豪雨災害支援ボランティアバスを運行し連携と協力体制が強まった。

学校における福祉教育の実態を明らかにし、継続性のある具体的なプログラムの提示や地域とのコーディネート必要性を認識し、30年度の取り組み課題となった。

NPO・市民活動支援としては月1回、イオンモール都城駅前において出張相談窓口「まちなかボラセン」を開設し、団体活動の紹介やボランティア活動の周知啓発を行い、市民への働きかけも行うことができた。

◆社会福祉法人協働型地域貢献モデル事業

社会福祉法人による地域貢献が義務化されたことに伴い、単に施設の開放に留まらず、地域課題に向き合い様々な機関と連携し課題解決に向けた取り組みを検証するためモデル事業に取り組んだ。市内の社会福祉法人が協働して、生活に困り感を抱えている方々に対する個別ニーズ解決に向けた支援を中心に展開した。児童養護施設や児童自立支援施設の生徒を対象に「おしごと出前講座」を行った。また、地域貢献連絡協議会とCSW意見交換会の2つの会議を設け、現場の声を拾い上げるとともに、市内の法人が地域貢献に取り組むうえでの助言をいただく機会を持った。

◆「我が事・丸ごと」地域共生社会づくりに向けて、キック・オフ！

都城市における主体的な支援体制づくりや包括的な相談支援体制を構築することを考える機会として、平成30年3月13日、「我が事・丸ごと 地域共生社会キック・オフイベント」を行った。

平成30年度から、国の事業である「地域力強化推進事業」と「多機関の協働による包括的支援体制構築事業」に取り組むことになり、都城市における地域共生社会づくりの第一歩となった。

在宅福祉部門

◆事業所統合と拠点整備

本所・高城支所・高崎支所で提供していた居宅介護支援事業所の統合と本所・高城支所・山田支所・高崎支所で提供していた指定訪問介護事業所と指定障害福祉サービス事業所の統合を平成29年度で終え、今後は、拠点となる志和池福祉センターの大規模改修を行い、介護保険事業の充実を図っていく。

点字図書館部門

◆視覚障がい者への合理的配慮の啓発と社会参加の促進

視覚障がい者の社会参加を促進させるため、利用者個人のニーズに応じたメディアによる、きめ細やかな情報提供を実施し、読書環境と文化の向上に寄与した。

また、ご要望が多かった視覚障がい者向けの情報機器体験会（スマートフォン、アイフォン、アイパッド等の操作体験）を、宮崎県立明星視覚支援学校のご協力を得て開催し、主にロービジョン（低視覚者）の情報環境の向上に成果をあげた。視覚に障害のある方への理解を深めていただくために、ソーシャルネットワーク（公式フェイスブックページ）による情報発信を継続して行い、市民に広く認知度を高めることができた。

保育部門

◆前田保育園の廃止

園児数の減少により経営が厳しい状況であること、大雨に対する非常に脆弱な立地条件、園舎の耐用年数などの観点から、前田保育園は、平成29年12月31日をもって休止とし、その後、平成30年3月31日をもって廃止となった。

◆施設整備と子育て支援の展開

ハード面では、子ども自ら冒険的な遊びが発展するように園庭にはあえて樹木を点在し、通常の固定遊具の他に丸太などを活用したシンプルな遊びの場等を整備した。

一方、ソフト面では、先駆的な園として有名な宝塚市のやまぼうし保育園園長の指導を受けることで、「愛着形成の強化」「子どもの心の安定保障」に主眼をおいた子育て支援のあり方を再確認できた。

《平成29年度 実施事業（個別計画シート）一覧》

■社会福祉事業

事業種類	拠点区分／サービス区分		当初予算	決算額	頁
1 法人運営事業拠点区分					
法人運営	01	法人本部会計	3,162,000	2,991,222	19
法人運営	02	法人管理部局運営事業	137,793,000	133,654,431	20
法人運営	03	法人事務局運営事業	14,068,000	29,069,487	21
法人運営	04	調査・研究・企画・広報事業	3,611,000	3,516,067	22
法人運営	05	退職積立事業	74,178,000	71,881,334	24
法人運営	06	基金等運用事業	429,989,000	585,915,397	25
法人運営	07	善意銀行活用事業	24,000,000	21,046,326	26
2 地域福祉活動推進事業拠点区分					
法人運営	01	都城市総合社会福祉センター管理運営事業	17,813,000	17,214,989	27
法人運営	02	山之口シルバーヤングふれあいの里管理運営事業	5,895,000	5,532,746	28
法人運営	03	高城老人福祉館管理運営事業	1,822,000	1,768,000	29
法人運営	04	山田総合福祉センター管理運営事業	2,552,000	2,477,016	30
法人運営	05	高崎老人福祉館管理運営事業	1,878,000	1,867,862	31
法人運営	06	高崎介護予防ふれあい交流センター管理運営事業	2,675,000	2,596,000	32
地域福祉	07	ボランティアセンター活動事業	5,122,000	4,603,450	33
地域福祉	08	地域福祉総合推進事業	14,063,000	13,838,380	35
地域福祉	09	認知症地域サポーター支援事業	4,354,000	4,127,344	38
地域福祉	10	ファミリー・サポート・センター事業	8,668,000	8,468,683	40
地域福祉	11	福祉バス運行事業	5,626,000	6,124,954	42
地域福祉	12	生活おたすけサービス事業	6,840,000	2,218,280	44
地域福祉	13	日常生活自立支援事業	9,067,000	8,034,698	45
相談支援	14	福祉後見活動事業	8,722,000	7,227,463	46
相談支援	15	総合相談事業	7,022,000	5,886,166	47
地域福祉	16	生活自立相談センター事業	15,914,000	14,341,168	48
相談支援	17	生活福祉資金貸付事業	3,512,000	3,370,076	49
相談支援	18	生活福祉資金利子補給事業	412,000	113,355	50
相談支援	19	たすけあい資金貸付事業	1,870,000	909,446	51
地域福祉	20	子育て応援助成事業	1,550,000	698,000	52
地域福祉	21	歳末たすけあい助成事業	3,836,000	3,113,828	53
地域福祉	22	緊急援護等事業	1,600,000	18,881,391	54
地域福祉	23	低所得者対策事業	50,000	12,000	55

地域福祉	24	介護保険生活支援体制整備事業	6,750,000	2,624,758	56
3 障害福祉支援事業拠点区分					
相談支援	01	障害者生活支援センター事業	24,256,000	22,625,941	57
相談支援	02	障害者虐待防止センター事業	12,703,000	11,475,647	58
相談支援	03	障がい者等日中活動事業	1,198,000	1,012,536	59
相談支援	04	障害者ケアプラン事業	2,981,000	5,653,885	60
在宅福祉	05	重度身体障害者移動支援事業	3,246,000	1,933,053	61
在宅福祉	06	点字図書館事業	17,117,000	17,123,567	62
4 障害福祉サービス事業拠点区分					
在宅福祉	01	居宅介護事業	20,640,000	41,002,240	63
在宅福祉	02	訪問入浴サービス事業	6,432,000	6,232,958	64
在宅福祉	03	日中一時支援事業	874,000	785,260	65
在宅福祉	04	地域生活移動支援事業	216,000	154,290	66
5 介護保険等事業拠点区分					
在宅福祉	01	訪問介護事業	80,230,000	79,629,681	67
在宅福祉	02	訪問入浴介護事業	2,484,000	2,919,690	68
在宅福祉	03	居宅介護支援事業	64,513,000	64,234,178	69
在宅福祉	04	通所介護事業	207,997,000	182,444,162	70
在宅福祉	05	元気アップデイサービス事業	3,098,000	2,544,306	74
在宅福祉	06	山田元気な高齢者健康増進センター管理運営事業	9,731,000	9,496,803	78
在宅福祉	07	食の自立支援事業	25,423,000	23,937,388	79
相談支援	08	山之口・高城地区地域包括支援センター事業	38,176,000	43,140,254	82
相談支援	09	山田・高崎地区地域包括支援センター事業	37,192,000	38,636,947	84
6 保育園事業拠点区分					
在宅福祉	01	保育園事務局	18,800,000	18,030,722	86
在宅福祉	02	おおむたこども園	116,748,000	178,248,827	87
在宅福祉	03	谷頭こども園	150,610,000	201,660,583	88
在宅福祉	04	縄瀬保育園	44,857,000	59,510,594	89
在宅福祉	05	前田保育園	20,665,000	10,392,434	90
在宅福祉	06	谷頭児童館管理運営事業	4,054,000	4,054,000	91
在宅福祉	07	谷頭児童館放課後児童クラブ運営事業	8,956,000	8,373,104	92

そのほか		みやこんじょボランティアフェスティバル 2018	1,915,873	1,890,274	93
------	--	--------------------------	-----------	-----------	----

■都城市共同募金委員会事業

事業種類	事業区分／サービス区分	事業名	当初予算	決算額	頁
		共同募金運動・共同募金助成事業			94
共同募金	—	共同募金運動・共同募金助成事業	29,705,000	13,459,602	104

《平成29年度 事業報告書》

■ 社会福祉事業

事業区分	法人運営	地域福祉	相談支援	在宅福祉		
事業種類	受託事業	補助事業	公益事業	自主事業	その他 ()	
実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No. 1-01
事業名	法人運営事業 法人本部会計（会議等）					
決算額 (単位：円)	2,991,222	左の財源内訳				
		補助金		受託金		その他の補助金等
		市	県社協	市	県社協	一般財源
		2,569,416				421,806
事業概要	法人の業務の決定 理 事 会：法人経営の執行機関 評議員会：法人の重要事項議決機関 評議員選任・解任委員会：評議員の選任及び解任機関					
事業内容	【実施する事業内容】					
	○理事会の開催（年4回、議案22件を提案） ○評議員会の開催（年3回、議案10件を提案） ○評議員選任・解任委員会（年1回、議案1件を提案）					
	【諸会議など】					
	第1回理事会 平成29年 6月 7日 第2回理事会 平成29年 6月26日 第3回理事会 平成29年11月14日 第4回理事会 平成30年 3月14日 第1回評議員会 平成29年 6月26日 第2回評議員会 平成29年11月28日 第3回評議員会 平成30年 3月26日 第1回評議員選任・解任委員会 平成29年 6月15日					
【研修など】						
【その他】						
事業成果	理事会4回（審議事項22件）、評議員会3回（審議事項10件）、評議員選任・解任委員会1回（審議事項1件）の開催で、年間を通して円滑な事業推進ができた。					

事業区分 **法人運営** 地域福祉 相談支援 在宅福祉
 事業種類 受託事業 **補助事業** 公益事業 **自主事業** その他 ()

実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	1-02
事業名	法人運営事業 法人管理部局運営事業（福祉サービス苦情解決等）						
決算額 (単位：円)	133,654,431	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の 補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
	99,131,059						34,523,372
事業概要	<p>「福祉サービスに関する苦情解決事業」</p> <p>目 的：本社協が行う福祉サービスに対する利用者等からの苦情に適切に対応することにより、利用者の権利を擁護し、利用者が適切に福祉サービスを利用できるように支援することを目的とする事業。</p> <p>事業対象：本社協の提供するすべての福祉サービス</p> <p>実施体制：苦情解決責任者、苦情受付対象者、第三者委員を設置 第三者委員：坊野国治、高野眞、柿木一範</p> <p>苦情受付：随時</p>						
事業内容	【実施した事業内容】						
	【諸会議など】						
	【研修等】 県社協主催「福祉サービスに関する苦情解決事業研修会」						
	【その他】 受理件数 0件						
事業成果	<p>第三者委員として3名の委員を委嘱している。</p> <p>今年度も受理件数はなかった。今後も住民主体の地域福祉を推進していくために、福祉サービスの向上を目的に様々な苦情に対しても真摯な姿勢で臨んでいくことが必要である。</p> <p>また、サービスの向上のため、今後は第三者評価の導入も検討が必要である。</p>						

事業区分 **法人運営** 地域福祉 相談支援 在宅福祉
 事業種類 受託事業 **補助事業** 公益事業 **自主事業** その他 ()

実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	1-03
事業名	法人運営事業 法人事務部局運営事業（会員会費等）						
決算額 (単位：円)	29,069,487	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の 補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
		1,601,600					27,467,887
事業概要	○社協会員会費募集活動						
事業内容	<p>【実施した事業内容】 特別会員、法人会員への訪問活動（企業、法人等へ社会福祉協議会の周知） 社協職員による募集活動</p> <p>【会費の種類】 ・一般会員 ⇒ 500 円 ・賛助会員 ⇒ 1,000 円 ・特別会員 ⇒ 5,000 円 ・法人会員 ⇒ 10,000 円 （金額は、1 口の年額）</p> <p>【実績】 都城本所 761,500 円／246 件 山之口支所 24,500 円／ 22 件 高城支所 31,000 円／ 62 件 山田支所 10,500 円／ 18 件 高崎支所 16,500 円／ 16 件</p>						
事業成果	<p>従来企業の訪問活動に加え、新規訪問活動に取り組んだ結果、会員数は増加した。</p> <p>今後も、会員増に向けた新規開拓や会費の使い道を明確化し、有効活用の協議が必要である。</p>						

事業区分 **法人運営** 地域福祉 相談支援 在宅福祉
 事業種類 受託事業 **補助事業** 公益事業 **自主事業** **その他（共募）**

実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	1-04
事業名	調査・研究・企画・広報事業 ①（表彰）						
決算額 (単位：円)	3,516,067	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の 補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
	5,000					1,603,602	1,907,465
事業概要	○県社会福祉大会への参加 ○市社会福祉功労者等表彰式の開催						
事業内容	<p>【実施した事業内容】</p> ○宮崎県社会福祉大会への参加（11月8日開催） 参加者：31名（内被表彰者：12名） 場 所：メディキット県民文化ホール ○都城市社会福祉功労者等表彰式（10月19日開催） ※市長表彰、市社協会長表彰・感謝、市共同募金委員会表彰・感謝状の贈呈 参加者：約450名 場 所：都城市総合文化ホール 中ホール <p>【諸会議】</p> ○県社会福祉大会、市社会福祉功労者等表彰式に関する行政福祉課との打合せ（4回） <p>【実績】</p> ○宮崎県社会福祉大会：被表彰者 被表彰者：県知事表彰 58名 0団体 県共同募金会長表彰・感謝 0名 4団体 宮崎県社会福祉協議会会長表彰 1名 0団体 ○都城市社会福祉功労者等表彰式：被表彰者 被表彰者：市長表彰 24名 0団体 市社会福祉協議会会長表彰・感謝 9名 4団体 都城市共同募金委員会会長表彰・感謝 5名 1団体						
事業成果	各表彰を通して、地域住民等の地域福祉活動の功績を称え、また他の住民に対する福祉への関心を高めるきっかけづくりができた。						

事業区分 **法人運営** 地域福祉 相談支援 在宅福祉
 事業種類 受託事業 **補助事業** 公益事業 **自主事業** **その他（共募）**

実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	1-04
事業名	調査・研究・企画・広報事業 ②(広報紙)						
決算額 (単位：円)	調査・研究・企画・広報事業 ①(合算)	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の 補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
事業概要	社協の広報紙「ごー！ごー！！ちいき」の発行						
事業内容	<p>【実施した事業内容】</p> <p>(1) 2ヶ月ごとに広報紙を発行（年6回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「ごー！ごー！！ちいき NO,66号発行」(6月15日発行) 8ページ ○「ごー！ごー！！ちいき NO,67号発行」(8月15日発行) 6ページ ○「ごー！ごー！！ちいき NO,68号発行」(10月15日発行) 8ページ ○「ごー！ごー！！ちいき NO,69号発行」(12月15日発行) 6ページ ○「ごー！ごー！！ちいき NO,70号発行」(2月15日発行) 6ページ ○「ごー！ごー！！ちいき NO,71号発行」(4月15日発行) 8ページ <p>【実績】</p> <p>(1) 社協の広報紙「ごー！ごー！！ちいき」</p> <p>年6回の発行で8月・12月・2月発行を6ページ、6月・10月・新年度4月発行を8ページとして発行。毎回市内各戸及び関係諸施設に配布</p> <p>※1回につき、52,500部発行</p>						
事業成果	社協が支援する地域福祉事業をはじめとする各種事業の紹介や共同募金に関する情報提供を行った。市民からの問い合わせや意見も多くいただいた。今後は、更にそれぞれの地区社会福祉事業が実施している事業や地域の活動者などを幅広く市民へ発信し、地域福祉への理解と参加・参画を推進するための必要な情報を発信していく。						

事業区分 **法人運営** 地域福祉 相談支援 在宅福祉
 事業種類 受託事業 補助事業 公益事業 **自主事業** その他 ()

実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	1-05
事業名	退職積立事業						
決算額 (単位：円)	71,881,334	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の 補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
							71,881,334
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・全国社会福祉団体職員退職手当共済制度、宮崎県民間社会福祉施設等従事職員共済制度に加入（正職員・常勤嘱託職員）。但し、保育園の正職員・常勤嘱託職員は独立行政法人福祉医療機構（WAM）、宮崎県民間社会福祉施設等従事職員共済制度に、保育園の委託職員・臨時職員は、独立行政法人福祉医療機構（WAM）に加入（事業所として加入）。 ・その他、自主財源分の退職手当積立金の管理。 						
事業内容	【実施する事業内容】						
	【諸会議など】						
	【研修など】						
	【その他】						
事業成果							

事業区分 **法人運営** 地域福祉 相談支援 在宅福祉
 事業種類 受託事業 補助事業 公益事業 **自主事業** その他 ()

実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	1-06
事業名	基金等運用事業						
決算額 (単位：円)	585,915,397	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の 補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
						585,915,397	
事業概要	①ボランティア・災害救援活動基金運用事業 ②子ども・子育て応援基金運用事業 ③地域福祉積立預金運用事業 ④事業安定化積立預金運用事業 ⑤その他						
事業内容	【実施する事業内容】 (1) 基金 ①ボランティア・災害救援活動基金 ②子ども・子育て応援基金 (2) 積立預金 ①地域福祉積立預金 ②事業安定化積立預金 等						
	【諸会議など】						
	【研修など】						
	【その他】						
事業成果	各規程・要綱に基づいて、安全確実な運用を行うと共に、活用事業の活性化を期待する。また、各事業の安定的運用のため、積立預金の活用を積極的に検討する。 併せて、長期的な視点に立ち建物の整備など、目的を明確にした基金の設置を検討する。						

事業区分 **法人運営** 地域福祉 相談支援 在宅福祉
 事業種類 受託事業 補助事業 公益事業 **自主事業** その他 ()

実施箇所	本所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	1-07
事業名	善意銀行活用事業(本所・4支所)						
決算額 (単位:円)	21,046,326	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
							21,046,326
事業概要	善意銀行(善意・忌明け・物品)の受入 紙オムツ(高齢者・障がい児用)の支給、車椅子の貸出						
事業内容	<p>【実施した事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都城本所:紙オムツの支給、車椅子の貸出 ・山之口支所:福祉基金への積み立て、たすけあい資金の原資 ・高城支所:紙オムツ(高齢者・障がい児用)の支給、車椅子の貸出 ・山田支所:紙オムツの支給、車椅子の貸出 ・高崎支所:紙オムツの支給、地域福祉事業への還元等 <p>【収入】 ・善意寄付…72件(2,804,859円)</p> <p style="padding-left: 40px;">うち物品(お米:18件 705kg) (もち米:1件 14kg) (車椅子:1件) (ネックウォーマ:1件) (座卓:1件) (福祉車両:1台)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・忌明け寄付…524件(16,760,000円) <p>【支出】 ・紙オムツ給付事業</p> <p>【繰出】 ・地区社会福祉協議会への助成金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基金への繰出 <p>【紙オムツの支給と車イス、ベッドの貸出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙オムツ…4,725パック提供 ・車イス…延べ150台貸出 ・ベッド…1台貸出 						
事業成果	<p>善意寄付を利用した紙オムツ支給等の取り組みは、利用件数も多く、好評である。利用者の背景にある様々なニーズを汲み取り、新たな地域福祉サービスにつなげていくことも社協の役割であるが、現段階ではアセスメントまでは至らず、支給のみに終わっているのが現状である。</p> <p>若者の貧困が全国的な課題として挙がっており、そのような課題にまで対応できるような、新たな取り組みも必要である。このことも含め、今後は、住民からの大事な善意寄付を最大限に地域へ還元できる新たなサービスの検討も必要である。</p>						

事業区分 **法人運営** 地域福祉 相談支援 在宅福祉
 事業種類 受託事業 **補助事業** 公益事業 自主事業 その他 ()

実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	2-01
事業名	都城市総合社会福祉センター管理運営事業						
決算額 (単位：円)	17,214,989	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
		15,937,253					1,277,736
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉センターの貸館業務 ・心配ごと相談をはじめ、ボランティア、福祉に関することの相談窓口 ・台風、風水害等の避難場所 						
事業内容	【実施した事業内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者団体、高齢者サークル、民生委員児童委員、ボランティア、その他の福祉関係団体等の研修会実施のための貸館業務 ・心配ごと相談をはじめ、ボランティア、福祉に関することの相談窓口 ・台風等の避難者への対応の実施 						
	【実績】 ① 利用料金 ・有 料 5 4 件 1, 0 6 7 人 ・免 除 1, 4 3 2 件 2 1, 5 5 5 人 ② 利用件数及び利用人員 ・利用件数合計 1, 4 8 6 件 ・利用人員合計 2 2, 6 2 2 人 (内 訳) a ボランティア団体 9 2 件 1, 2 2 9 人 b 障がい者団体 4 3 5 件 4, 7 4 3 人 c 高齢者サークル 2 3 3 件 3, 0 4 0 人 d その他 1 9 0 件 4, 1 0 2 人 e 社会福祉協議会事業 5 3 6 件 9, 5 0 8 人 (合 計) 1, 4 8 6 件 2 2, 6 2 2 人 ③ 部屋別利用状況 「2階」 ・研修室1・2 5 5 2 件 1 0, 1 3 6 人 ・小会議室 2 8 4 件 2, 1 5 7 人 ・点字図書館閲覧室 1 4 7 件 2, 8 4 5 人 (合 計) 9 8 3 件 1 5, 1 3 8 人 「3階」 ・和 室 2 9 9 件 3, 9 6 9 人 ・大集会室 2 0 8 件 3, 7 5 4 人 (合 計) 5 0 7 件 7, 4 8 4 人						
事業成果	<p>社会福祉センターの利用団体については、社会福祉協議会関係事業が最も利用件数が多く、次いで高齢者サークル、障がい者団体の事業、ボランティア団体、その他となっている。新たな団体の利用申込もあり、貸館業務の目的に沿った貸し出しや、利用料の免除等検討する余地がある、と考える。社会福祉センターとしての機能性とその効果については、心配ごと相談をはじめ、ボランティア、福祉に関することの相談窓口や台風等の避難者への対応も実施しており、住民への周知はなされている。但し、ハード面では、正面玄関へのアプローチに手すり等がないこと、夜間の駐車場に照明が不足していることなど、安心・安全の面では、課題が多い。今後は、さらにより一層の機能性を持たし、さらなる相乗効果が得られるような社会福祉センターの運営を目指していきたい。</p>						

事業区分 **法人運営** 地域福祉 相談支援 在宅福祉
 事業種類 **受託事業** 補助事業 公益事業 自主事業 その他 ()

実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	2-02																																																						
事業名	山之口シルバーヤングふれあいの里管理運営事業																																																												
決算額 (単位：円)	5,532,746	左の財源内訳																																																											
		補助金		受託金		その他の 補助金等	一般財源																																																						
		市	県社協	市	県社協																																																								
				5,494,000			38,746																																																						
事業概要	<p>「山之口高齢者生活福祉センター」(山之口町花木2667番地2) 山之口ふれあいの館(山之口町花木2605番地9) 山之口弓道・四半的場(山之口町花木2605番地1) 山之口屋内ゲートボール場(山之口町花木2673番地2)</p> <p>設置：市民が心身ともに健康で、同世代、異世代、グループ交流等のふれあいを 通じて、「生きがいのあるまちづくり」に資する</p>																																																												
事業内容	<p>【実施した事業内容】 福祉センターとしての機能管理 ○施設の貸出し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議室：定例地区民児協会議、高齢者クラブ会議、障がい者サロン他 ・ふれあいホール：サークル活動(太鼓練習・コーラス練習) ・多目的ホール：ピアノ発表会、保育園発表、サークル活動(太鼓練習、コーラス練習) ・相談室：法律相談、人権相談、個別相談等 ・弓道・四半的道場の貸出管理 ・屋内ゲートボール場の管理 ・敷地内樹木等の維持管理 																																																												
	<p>【実績】相談件数、参加人員</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>使用施設</th> <th>利用回数</th> <th>利用延人数</th> <th>使用施設</th> <th>利用回数</th> <th>利用延人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>会議室</td> <td>102</td> <td>1802</td> <td>弓道場</td> <td>43</td> <td>247</td> </tr> <tr> <td>ふれあいホール</td> <td>23</td> <td>512</td> <td>四半的場</td> <td>6</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>多目的ホール</td> <td>85</td> <td>2586</td> <td>屋内GB場</td> <td>2</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>調理室</td> <td>9</td> <td>117</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>相談室</td> <td>51</td> <td>395</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>図書室</td> <td>13</td> <td>71</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>283</td> <td>5483</td> <td>計</td> <td>51</td> <td>314</td> </tr> <tr> <td>前年度</td> <td>402</td> <td>6154</td> <td>前年度</td> <td>74</td> <td>653</td> </tr> </tbody> </table>							使用施設	利用回数	利用延人数	使用施設	利用回数	利用延人数	会議室	102	1802	弓道場	43	247	ふれあいホール	23	512	四半的場	6	45	多目的ホール	85	2586	屋内GB場	2	22	調理室	9	117				相談室	51	395				図書室	13	71				計	283	5483	計	51	314	前年度	402	6154	前年度	74	653
	使用施設	利用回数	利用延人数	使用施設	利用回数	利用延人数																																																							
	会議室	102	1802	弓道場	43	247																																																							
ふれあいホール	23	512	四半的場	6	45																																																								
多目的ホール	85	2586	屋内GB場	2	22																																																								
調理室	9	117																																																											
相談室	51	395																																																											
図書室	13	71																																																											
計	283	5483	計	51	314																																																								
前年度	402	6154	前年度	74	653																																																								
事業成果	<p>山之口地区地域福祉活動の拠点施設として、地区社協をはじめ民児協・ボランティア協会・高齢者クラブ等、関係団体等により安定的な利用実績がある。例年通り成人式やPTA学習会、体験授業などが行われ、地域の教育文化の拠点としても多く利用された。</p>																																																												

事業区分 **法人運営** 地域福祉 相談支援 在宅福祉
 事業種類 **受託事業** 補助事業 公益事業 自主事業 **継続事業**

実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	2-03						
事業名	高城老人福祉館管理運営事業												
決算額 (単位：円)	左の財源内訳												
	1,768,000		補助金		受託金		その他の補助金等						
	市	県社協	市	県社協			一般財源						
				1,768,000									
事業概要	高城老人福祉館運営事業（指定管理者受託） 指定管理者として高城老人福祉館を福祉関係団体の会合、各種相談事業や地域住民の健康管理増進の場として提供												
事業内容	【実施した事業内容】												
	<ul style="list-style-type: none"> 高城老人福祉館維持管理及び会議室等の利用に係る申請受付及び許可業務 貸館事業 障がい者サロンの開催 オレンジカフェ（認知症カフェ）の開催 おたすけサービス生活援助員のつどいの開催 												
	【実績】												
	<ul style="list-style-type: none"> 年間利用件数 延べ 232 件 利用者数 2,161 人 主な利用団体 地区社会福祉協議会、高齢者クラブ、民児協、ボランティアグループ、趣味の会、身体障害者福祉会 他 												
		会議室		大集会室		和室		相談室	調理室		計		
		回	人	回	人	回	人	回	人	回	人	回	人
	4	15	138	7	79	4	20	0	0	0	0	26	237
	5	13	96	7	74	1	3	1	5	0	0	22	178
	6	14	174	7	74	5	10	0	0	0	0	26	258
	7	13	120	3	21	0	0	0	0	0	0	16	141
	8	10	88	8	106	0	0	2	7	0	0	20	201
	9	9	78	5	61	0	0	1	4	0	0	15	143
	10	14	108	4	44	0	0	1	2	0	0	19	154
	11	9	76	5	84	1	7	0	0	0	0	15	167
	12	10	92	6	80	0	0	1	4	0	0	17	176
1	12	115	6	57	0	0	1	4	1	6	20	182	
2	12	112	6	63	0	0	1	7	1	6	20	188	
3	11	87	3	39	1	5	0	0	1	5	16	136	
計	142	1284	67	782	12	45	8	33	3	17	232	2161	
事業成果	<ul style="list-style-type: none"> 60歳以上の高齢者を対象に憩いの場として開設しており、高齢者の趣味の会や福祉団体の会合等で、利用がある。利用団体の年齢構成の高齢化もあり貸館件数は減少傾向である。 災害時の避難所としての指定は受けていないが、8月の台風5号接近に伴い、近隣の認知症グループホーム入居者の一時避難を受け入れた。また、オレンジカフェ（認知症カフェ）を地域包括支援センター認知症地域推進支援員の協力を得て実施し、利用者増に努めた。 												

事業区分 **法人運営** 地域福祉 相談支援 在宅福祉
 事業種類 **受託事業** 補助事業 公益事業 自主事業 その他()

実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	2-04		
事業名	山田総合福祉センター管理運営事業								
決算額 (単位：円)	2,477,016	左の財源内訳							
		補助金			受託金		その他の 補助金等	一般財源	
		市	県社協	市	県社協				
				2,476,000				1,016	
事業概要	山田総合福祉センター「けねじゅ苑」管理運営事業（指定管理者受託H26－H30） 指定管理者として福祉関係団体やグループの会合、各種相談事業や地域住民の福祉の拠点として提供								
事業内容	【実施した事業内容】								
	・管理運営 福祉センターの光熱水道費支出、各種修理、各種リース、警備委託、浄化槽点検								
	・利用実績 年間利用件数 812 件、年間利用人数 13,326 人								
	・主な利用団体（社協関係、地区社協、民児協、高齢者クラブ、ボランティア、人権・行政相談、無料法律相談、障がい者サロン、市役所関係、その他福祉団体）								
	月	大会議室A	大会議室B	中会議室	小会議室	調理室	保健室	V O室	計
	4	137	123	51	54	0	0	80	445
	5	107	132	55	65	19	0	87	465
	6	215	241	61	61	155	0	87	820
	7	223	220	253	52	168	2	98	1,016
	8	274	257	114	86	132	0	111	974
	9	363	388	165	69	34	0	130	1,149
	10	442	475	62	39	2	0	147	1,167
	11	215	225	137	50	34	0	125	786
	12	166	203	128	45	76	0	106	724
	1	595	665	143	47	55	0	103	1,608
2	708	735	632	614	79	517	223	3,508	
3	107	142	103	49	151	0	112	664	
計	3,552	3,806	1,904	1,231	905	519	1,409	13,326	
事業成果	けねじゅ苑は、山田地区での地域福祉推進の拠点として定着しており、福祉団体や介護予防教室等の利用が多い。様々な地区内の団体が利用されており、開かれた施設として地域住民が利用しやすい施設として取組んできた。								

事業区分 **法人運営** 地域福祉 相談支援 在宅福祉
 事業種類 **受託事業** 補助事業 公益事業 自主事業 その他 ()

実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	2-05
事業名	高崎老人福祉館管理運営事業						
決算額 (単位：円)	1,867,862	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の	一般財源
		市	県社協	市	県社協	補助金等	
				1,822,000			45,862
事業概要	高崎老人福祉館運営事業（指定管理者受託） 高齢者団体をはじめとする各種福祉団体や周辺団地の高齢者集会施設として、 広く地域住民に利用						
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・老人福祉館大広間の貸出（各種団体の研修・会議） ・老人福祉館内の管理 【実績】 <ul style="list-style-type: none"> ・年間利用件数 169件 ・年間利用人数1,894人 ・主な利用団体（民児協・各ボランティアグループ・社協事業、ミーティング 他） 						
	No.	団体等名	部屋名等		合 計		
	1	高齢者クラブ連合会	大広間(件数)		7 件		
			利 用 者 数		188 人		
	2	民児協	大広間(件数)		15 件		
			利 用 者 数		170 人		
	3	ヘルパーミーティング	大広間(件数)		46 件		
			利 用 者 数		441 人		
	4	社協支所研修	大広間(件数)		5 件		
			利 用 者 数		70 人		
	5	社協（その他事業）	大広間(件数)		14 件		
			利 用 者 数		80 人		
	6	地区社協	大広間(件数)		14 件		
			利 用 者 数		191 人		
	7	事業（通所）	大広間(件数)		4 件		
		利 用 者 数		82 人			
8	遺族会	大広間(件数)		4 件			
		利 用 者 数		70 人			
9	産業医面談	大広間(件数)		1 件			
		利 用 者 数		11 人			
10	ボランティア（踊り・三味線・コーラス他）	大広間(件数)		40 件			
		利 用 者 数		431 人			
11	上新田・下新田ボランティア	大広間(件数)		7 件			
		利 用 者 数		98 人			
12	生活支援員ミーティング	大広間(件数)		12 件			
		利 用 者 数		62 人			
合計	利 用 件 数		169 件				
	利 用 者 数		1,894 人				
事業成果	昨年度より件数人数ともに増加した。社協事業の開催や周辺団地の高齢者集会、 ボランティア活動の場として活用された。 高台にあり高齢者の利用には、車がないと不便だが、景観がよいということで、 地域の憩いの場となっている。						

事業区分 **法人運営** 地域福祉 相談支援 在宅福祉
 事業種類 **受託事業** 補助事業 公益事業 自主事業 その他 ()

実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	2-06							
事業名	高崎介護予防ふれあい交流センター管理運営事業													
決算額 (単位：円)	左の財源内訳													
	補助金			受託金		その他の補助金等	一般財源							
	市	県社協	市	県社協										
				2,596,000										
事業概要	介護予防センターさわやか館を、高齢者の生きがい作りと健康維持の推進を図るための場として活用する。													
事業内容	【実施した事業内容】													
	1 健康器具利用 ヘルストロン、マッサージ機、血圧測定器、フットマッサージャー													
	2 施設利用 (いきいきサロン、障がい者サロン、ボランティア団体その他の団体等の会議など)													
	3 さわやかサロンの開設 (水、金)													
	4 総合相談室													
	【実績】 (利用人数)													
	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
	ヘルストロン	47	61	99	72	62	73	74	74	63	68	78	59	830
	マッサージ機	47	62	96	73	63	70	73	68	63	68	78	60	821
	フットマッサー	47	62	90	73	63	64	73	64	59	68	78	60	801
	会議	37	58	16	20	15	33	38	0	9	0	19	89	334
相談	3	5	4	3	3	2	2	7	3	3	3	8	46	
さわやかサロン	58	61	95	70	61	79	80	78	65	72	79	61	859	
いきいきサロン等	12	7	15	140	168	10	6	19	7	14	21	21	440	
その他	62	35	93	76	64	56	63	53	57	39	69	52	708	
計	313	351	508	527	499	387	409	363	326	332	425	400	4,840	
事業成果	<p>さわやかサロンを設置し、健康器具の利用や、利用者の方が自分たちで漬物、茶菓子を持ち寄っておしゃべりを楽しんだり、また、お茶会や健康体操を月1回づつ開催した。「サロンのある日が待ち遠しい」という声をいただくなど、要介護や孤独にならないように「集いの場」として気軽に利用していただくことができた。また、地域の方にサロンのボランティア、講師として参加してもらい、社会貢献、生きがい作りに役立つことができた。</p> <p>その他、総合相談やいきいきサロン、障がい者サロン、ボランティアその他の団体等の会議などを開催し、地域に開かれた施設として定着してきた。</p>													

事業区分 法人運営 **地域福祉** 相談支援 在宅福祉
 事業種類 **受託事業** 補助事業 公益事業 **自主事業** その他 ()

実施箇所	本所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	2-07	
事業名	ボランティアセンター活動事業							
決算額 (単位：円)	4,603,450	左の財源内訳						
		補助金			受託金		その他の補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協			
			1,222,000	3,200,000			181,450	
事業概要	① ボランティア活動支援 ②福祉教育の推進 ③NPO等中間支援業務							
事業内容	<p>【実施した事業内容】</p> <p>①ボランティア活動の需給調整(個人、団体、企業、施設など)活動支援、助成金の周知</p> <p>②福祉教育の推進(擬似体験における備品の貸出及び指導・福祉講話講師派遣等)</p> <p>③社会福祉普及推進校連絡会の体制整備</p> <p>④ボランティア養成講座「たすけの達人講座」(平成30年2/28, 3/7, 3/16)</p> <p>⑤県下一斉ボランティアの日(平成29年8/26福祉施設清掃、個人宅清掃活動)</p> <p>⑥みやこんじょボランティアフェスティバル2018(平成30年3月11日)</p> <p>⑦九州北部豪雨災害支援ボランティアバスの企画実施 (平成29年8/3, 8/9, 8/10, 8/11, 8/12, 8/31, 9/1, 9/4, 9/6, 9/8)</p> <p>⑧ボランティアセンター運営委員会(平成29年7/4, 10/3, 2/13)</p> <p>⑨土曜日出張相談窓口開設「まちなかボラセン」毎月第3土曜日(6月～10回)</p> <p>【諸会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアセンター事業調整会議(県南ブロック研修打合せ、福祉教育研修会等) ・宮崎縣市町村ボランティア連絡協議会総会(県社協：平成29年5月27日) ・都城市地域ボランティア連絡協議会総会(平成29年6月23日) ・都城ボランティア協会総会(平成29年7月3日) ・都城市社会福祉普及推進校連絡会総会(平成29年5月26日)・役員会(4/14, 10/4) ・都城市社会福祉普及推進校連絡会高校部会(平成29年12月14日) ・平成29年度宮崎縣市町村連協災害支援プロジェクト検討会議(7/5, 9/5, 12/14) <p>【研修等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度福祉教育セミナー(東京都：平成29年7月25日～26日) ・平成29年度地域における福祉教育推進研修会(日南市：平成29年10月19日) 							

	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年度福祉教育推進研修会（都城市：平成 29 年 8 月 1 日） ・平成 29 年度社協ボランティアコーディネーター研修会（宮崎市：平成 29 年 1 月 31 日） ・ボランティア全国フォーラム 2017IN 備後（平成 29 年 11 月 18 日～19 日） ・日本福祉教育・ボランティア学習学会第 23 回長野大会（平成 29 年 12 月 2 日～3 日） ・宮崎県市町村ボランティア連絡協議会県南ブロック研修会（平成 29 年 11 月 25 日） ・平成 29 年度ボランティアコーディネーション力 3 級検定（大阪市：平成 29 年 6 月 24 日） ・災害ボランティアセンター運営設置訓練職員研修会（平成 29 年 11 月 12 日） ・平成 29 年度福祉教育・ボランティア学習実践研修会（平成 30 年 2 月 14 日） ・平成 29 年度中郷中学校学校運営協議会（5/25, 7/7, 12/3, 2/24, 3/9） ・志布志市社協協働笑談会（平成 30 年 1 月 27 日） ・NPO 等中間支援学習会・ここカフェ（4/20, 6/2, 8/3, 12/11, 2/5） ・チラシ作成講座（6/14, 8/9, 10/11, 12/13）、情報発信講座（3/27） <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談・斡旋件数 →中間支援関係相談 524 件、ボランティア依頼 115 件、ボランティア活動保険加入数 3,324 名 ・ボランティア登録者 個人登録 113 名、団体登録 52 団体（実働調査中）
事業成果	<p>ボランティアセンター運営委員会を設置し、委員 10 名の協力を得て、3 回開催し、円滑な運営について協議することができた。</p> <p>学校における福祉教育の実態を明らかにし、継続性のある具体的なプログラムの提示や地域とのコーディネート必要性を認識し、30 年度の取り組み課題となった。</p> <p>昨年に引き続き、九州北部豪災害支援ボランティアバスを運行し連携と協力体制が強まった。</p> <p>NPO・市民活動支援としては、月 1 回、イオンモール都城駅前において出張相談窓口「まちなかボラセン」を開設し、団体活動の紹介やボランティア活動の周知啓発を行い、市民への働きかけも行うことができた。</p>

事業区分 法人運営 **地域福祉** 相談支援 在宅福祉
 事業種類 受託事業 **補助事業** 公益事業 **自主事業** その他 ()

実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	2-08
事業名	地域福祉総合推進事業						
決算額 (単位：円)	13,838,380	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の 補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県		
		10,000,000	380,000		500,000		2,958,380
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・地区社会福祉協議会活動支援 (15 地区) ・小地域ネットワーク活動の推進 (15 地区) 						
事業内容	<p>【実施した事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市地区社連協並びに 15 地区社協活動の支援 ・都城市地域福祉推進大会の開催 <p>【諸会議】</p> <p>①地区社会福祉協議会連絡協議会事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総会(6月)・理事会(5月・11月・3月)・三役会(5月・9月・11月・3月) ・事務局長会議 (6月・9月・11月・3月) <p>②15 地区社協担当者会議 (月 1 回程度)</p> <p>【研修等】</p> <p>①地区社協役員全体研修会 (H29. 6. 8)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践報告／「わたしたちのまちの取り組み」 報告者／山之口地区社会福祉協議会 事務局長 連城輝子氏 ・講 話／「地域でともに“生ききる”ことをめざして」 講 師／都城市社会福祉協議会 事務局長 中村健児 <p>②生活おたすけサービス生活援助員全体研修会 (H29. 7. 24、7. 25)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講 話／「食の認知症の気付きと対応について」 講 師／認知症キャラバン・メイト ・実技指導／「介護予防体操～体と頭を使って～」 講 師／NPO 法人高城スポーツクラブ 神河美樹氏 <p>③子育て応援ミニフェスタ</p> <ul style="list-style-type: none"> ※都城市ファミリー・サポート・センターとの協働事業 ・内 容／ものものトレード、バルーンアート、手作り工作ほか 						

	<p>④いきいきサロンボランティア研修会（H29. 8. 29、 8. 30）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テ ー マ／「いきいき楽しく介護予防」 ・講 師／福祉レクリエーション・ワーカー 坂元 恵子 氏 <p>⑤都城市地域福祉推進大会（H29. 10. 19）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講 演／「今こそ伝えたい、石井十次の福祉・教育の理念 ～地域ぐるみで子どもをはぐくむために～」 ・講 師／石井祈念友愛社 理事長 児嶋草次郎氏 <p>⑥子育て孫育て応援講座（H29. 12. 15）</p> <p>※都城市ファミリー・サポート・センターとの協働事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講 話／「子育て支援～アンガーマネジメント活用術～」 講 師／NPO 法人人間関係アプローチ宮崎 “きらきら” 研修講師 錦井祐子氏 ・実技指導／「手作りおもちゃ作成講座」 講 師／都城市社会福祉協議会 保育課 保育士 <p>⑦福祉教育・ボランティア学習実践研修会（H30. 2. 14）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講 演／「福祉教育のもつ力」 講 師／日本福祉大学 准教授 野尻紀恵 氏 <p>⑧15 地区社会福祉協議会活動支援</p> <p>【ふれあいいきいきサロン活動支援、子育て支援サロン活動（9 サロン）、在宅介護者のつどい・訪問活動、世代間交流活動、地域福祉を語るつどい、福祉施設との意見交換会、地域生活支援会議、認知症学習会、役員理事研修、生活支援コーディネーター活動支援、小地域ネットワーク活動、福祉学習会、生活おたすけサービス事業推進、福祉広報発行、人材養成事業、地区社協相互研究事業、住民参加型有償ボランティアサービス、学習支援活動、事務局活動、福祉なんでも相談、紙オムツの支給、関係機関との連絡調整】</p>
事業成果	<p>本年度も第 3 次都城市地域福祉活動計画に基づき、15 地区の地域福祉活動計画の実践を推進した。今日的な課題である生活困窮や子どもの貧困からの学習支援活動への取組みや社会福祉法人の地域貢献活動に向けた地域と法人との協議の場の設定など、地域の個別課題に寄り添った活動や仕組みづくりが展開できた。今後も「我が事・丸ごと」の地域共生社会の実現に向けて、行政をはじめとする各関係機関と密に連携をとりながらさらなる活動の充実を図っていきたい。</p>

事業区分 法人運営 **地域福祉** 相談支援 在宅福祉
 事業種類 **受託事業** 補助事業 公益事業 自主事業 その他 ()

実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No. ※2-08	
事業名	社会福祉法人協働型地域貢献モデル事業						
決算額 (単位：円)	地域福祉総合 推進事業 (合算)	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の 補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
事業概要	社会福祉法の改正により、地域貢献が義務化され、単に施設の開放に留まらず地域課題に向き合い様々な機関と連携し課題解決に向けた取り組みを検証する。						
事業内容	【実施した事業内容】						
	<ul style="list-style-type: none"> ・おしごと出前講座（おしごと訪問講座） ・リ・フレッシューズ応援事業 ・学習支援整備事業 						
	【諸会議】						
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域貢献連絡協議会 ・CSW意見交換会 						
事業内容	【研修等】						
	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人による地域公益的取組に係る研修会 						
	【実績】						
<ul style="list-style-type: none"> ・児童養護施設の児童生徒を対象に福祉教育の実施 ・児童自立支援施設の生徒を対象に福祉教育 ・難病を抱える20代男性への就労支援 ・就労が決定した50代男性への昼食支援（特別養護老人ホームとの連携） ・困り感を抱える児童（多動）が落ち着いた環境で学習できる環境整備 							
事業成果	生活に困り感を抱えている方々に対する個別ニーズ解決に向けた支援を中心に展開した。児童養護施設や児童自立支援施設の生徒を対象に実施した「おしごと出前講座」では地域の企業や社会福祉法人と連携することで、いのちについて考える機会となった。また、地域貢献協議会とCSW意見交換会の2つの会議を設けたことにより、現場の声を拾い上げるとともに、市内の法人が地域貢献に取り組むうえでの助言をいただくことができた。						

事業区分 法人運営 **地域福祉** 相談支援 在宅福祉
 事業種類 **受託事業** 補助事業 公益事業 自主事業 その他 ()

実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	2-09
事業名	認知症地域サポーター支援事業						
決算額 (単位：円)	4,127,344	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の 補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
	4,127,344						
事業概要	<p>認知症高齢者及びその家族に対し、地域における総合的な支援体制の構築・充実を図り、安心安全な在宅生活の実現を目指すとともに、地域住民に対し、研修や学習を通し認知症への理解を深めることを目的とし事業を推進する。</p>						
事業内容	<p>【実施した事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポート体制整備推進会議の設置 ・認知症コーディネーターの配置 ・認知症見守りネットワークの構築～オレンジカフェの周知啓発 ・認知症サポーターの養成 ・認知症キャラバン・メイトの活動支援、連携強化 ・一般市民を対象とした認知症講演会の開催 ・専門職等による講座や介護者同士の情報交換会を目的とした家族支援プログラム「なごみ会」の開催 						
	<p>【諸会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①事業推進のための定期協議（介護保険課）（計12回） ②認知症サポート体制整備推進会議（年4回） ③キャラバンメイト連携強化「ぼんちメイト会議」（計12回） ④各地区地域ケア会議参加（計15回） ⑤オレンジカフェ推進会議参加（計14回） ⑥認知症地域支援推進員部会参加（計12回） <p>【研修等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①認知症キャラバン・メイト交流会（H29.8.19） 内容／キャラバン・メイトの活動現状、グループ交流 ②第2回オレンジカフェ創造みやこんじょフォーラム（H29.11.20） 内容／メッセージ、パネルディスカッション、認知症予防脳トレ体操、活動発表、コーナー相談会 						

	<p>③認知症講演会（H30.1.27）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践報告／「若年性認知症の方の居場所づくり」 報告者／宮崎県若年性認知症支援コーディネーター 坂元俊彦氏 ・講演／「大丈夫！ひとりじゃない！～“と”の連続で認知症の人に優しい地域づくり～」 講師／日向市社会福祉協議会 地域福祉課長 成合進也氏 <p>④認知症キャラバン・メイトフォローアップ研修（H30.2.24）</p> <p>内容／小学生向け講座、地域住民向け講座の活動発表、情報交換</p> <p>【その他】</p> <p>①認知症サポーター養成講座 開催数：50回 養成数：1,277名</p> <p>②認知症学習会 開催数：15回 受講者数：786名</p> <p>③認知症家族支援プログラム「なごみ会」（計10回）</p> <p>内容／認知症ケア専門士や看護師による講話、料理教室や介護食指導等 参加者計141名</p>
事業成果	<p>本年度も、認知症サポート体制整備推進会議委員や各地域包括支援センター認知症地域支援推進員との連携を密に図りながら、事業の展開、推進ができた。特に、キャラバン・メイトの活動支援、連携強化という点に力を入れ、メイト同士の横のつながりづくりを交流会やフォローアップ研修で行い、その後の活動の活発化につながったことは大きな成果といえる。また、認知症サポーターについては、学校での福祉教育での取組みも増えてきており、今後は、学校だけでなく、中小企業や家庭教育学級などの現役世代へのアプローチも積極的に行っていききたい。認知症の方やその家族が安心して住めるまちみやこんじょをつくっていくため、各関係機関と連携・協働しながら、地域における認知症支援体制のさらなる充実を図っていききたい。</p>

事業区分 法人運営 **地域福祉** 相談支援 在宅福祉
 事業種類 受託事業 補助事業 公益事業 **自主事業** その他 ()

実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	2-10
事業名	ファミリー・サポート・センター事業						
決算額 (単位：円)	8,468,683	左の財源内訳					
		補助金		受託金		補助金 市	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
				8,468,683			
事業概要	<p>地域において、育児などの援助を受けたい方（利用会員）と援助を行いたい方（援助会員）からなる会員組織で、会則に基づく相互援助活動を実施する。</p> <p>* 双方会員の研修と登録 * 援助活動の連絡調整 * 会員情報データ管理 * 情報の提供・活動の周知 * 交流会・フォローアップ研修の企画と開催</p>						
事業内容	<p>【実施した事業内容】</p> <p>① 双方（利用・援助）会員の募集及び登録事務、並びに会員情報データ管理 ② 援助活動の調整／顔合わせ及び援助活動依頼に伴う援助会員の連絡調整 ③ 援助会員養成講座（全4回）の開催／6月・2月 ④ 情報紙『リンク・リング』の発行／10月 ⑤ 「子育て応援ミニフェスタ」開催(情報交換会)／7月 ⑥ 「子育て孫育て応援講座」開催（フォローアップ研修会）／12月 ※⑤⑥は都城市地区社会福祉協議会連絡協議会との共同事業 ⑦ 報酬補填額の計上</p> <p>【諸会議】</p> <p>① 定期協議／保育課との定期協議：月1回の開催 ② ケース検討会議：6件 ③ ファミリー・サポート・センター全国交流集会／10月 ④ 宮崎県ファミリー・サポート・センター担当者研修会／11月 ⑤ 県南ブロックファミリー・サポート・センター担当者情報交換会／10月</p> <p>【研修等】</p> <p>① 援助会員養成講座／登録者数 32名 ② 「子育て応援ミニフェスタ」／参加者数 120名 ③ 「子育て孫育て応援講座」／受講者数 47名</p>						

	<p>【実績】</p> <p>◆平成 29 年度登録会員 援助会員 204 名（前年対比+23 名） 利用会員 668 名（前年対比+97 名） 両方会員 80 名（前年対比+ 3 名） 合計 952 名（前年対比+124 名）</p> <p>◆平成 29 年度活動件数 4,664 件（前年対比+1,593 件）</p> <p>平成 30 年 3 月 31 日現在</p> <p>【情報発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新生児 4 ヶ月健康相談会場にて事業説明 ・小学校・支援学校にて就学时健康診断会場及び入学説明会会場にて事業説明 ・ポスター・チラシ配布／保育園等の関係機関、公共機関窓口、医療機関（歯科） 地域包括支援センター ・都城市社会福祉協議会ホームページの活用
<p>事業成果</p>	<p>一昨年度より利用料金の一部補助がはじまったことにより、今年度も利用登録や利用件数が飛躍的に増加したが、その依頼内容の最たるものは習い事への送迎と、都城きりしま支援学校や都城さくら聴覚支援学校等の支援を必要とする児童・生徒の送迎であった。このことは、本事業への信頼度が高まりと安心して子どもを預けることのできる場所としての認識が広がってきたことの表れかと考える。これらの依頼に対応していくには多くの人材の確保が必要であるが、昨年度より定期的で開催している「援助会員情報交換会」を通じて、お互いの活動や子どもへの対応の仕方など様々な情報交換がなされたことで、自信にもつながり多岐にわたる依頼内容にも対応できるようになったことは大きな成果といえる。</p> <p>次年度は、24 時間カリキュラムの「援助会員養成講座」に取り組む予定であるが、これをきっかけにさらに援助会員の質の向上を図りつつ都城市の子育て支援体制のさらなる充実のために整備を進めていきたい。</p>

事業区分 法人運営 **地域福祉** 相談支援 在宅福祉
 事業種類 受託事業 **補助事業** 公益事業 自主事業 その他 ()

実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	2-11
事業名	福祉バス運行事業（本所）						
決算額 (単位：円)	6,124,954	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
	6,124,954						
事業概要	<p>昭和 54 年身体障害者福祉バスが導入され、市の補助事業として社協で福祉バスを運行している。バス（定員 28 人）は、地域における社会活動参加を促進するため、福祉団体が次の事業を行う場合に限り利用することができる。</p> <p>(1)各種講習会及び研修会 (2)スポーツ及びレクリエーション (3)福祉の増進を図るための事業 (4)社会福祉協議会が行う事業 (5)その他社会福祉協議会事務局長が必要と認めた事項</p>						
事業内容	【運行実績：本所】						
	月	回	利用団体	利用人員	走行距離	消費燃料	
	4月	1	都城市社会福祉協議会	1名	14km	0ℓ	
	5月	3	都城市民生委員児童委員協議会他2件	79名	438km	82ℓ	
	6月	11	下川東いたつみろ会 他10件	163名	792km	154ℓ	
	7月	9	都城市社会福祉協議会他8件	152名	921km	180ℓ	
	8月	10	西岳地区社会福祉協議会他9件	161名	2,182km	396ℓ	
	9月	12	都城点訳・音訳友の会他11件	198名	2,863km	497ℓ	
	10月	13	都城市共同募金委員会他12件	213名	802km	152ℓ	
	11月	14	都城社会福祉協議会他13件	282名	1,523km	256ℓ	
	12月	1	高野いたつみろ会	21名	186km	30ℓ	
	1月	7	都城市社会福祉協議会他6件	89名	550km	90ℓ	
	2月	5	都城市ファミリー・サポート・センター他4件	73名	224km	51ℓ	
	3月	2	都城市障害者生活支援センター他1件	44名	248km	42ℓ	
	計	88		1,476名	10,743km	1,930ℓ	
事業成果	<ul style="list-style-type: none"> ・年間稼働日数 88日 ・年間乗車人員数 1,476名 ・年間走行距離 10,743km ・年間消費燃料 1,930ℓ ・1ℓあたり走行距離 5.57km 						

事業区分 法人運営 **地域福祉** 相談支援 在宅福祉
 事業種類 受託事業 **補助事業** 公益事業 自主事業 **継続事業**

実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No. 2-11	
事業名	福祉バス運行事業（高城）						
決算額 (単位：円)	福祉バス運行事業(本所) (合算)	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
事業概要	<p>高城支所福祉バス（H8 導入、定員 28 名）。地域における社会活動参加を促進するため、福祉団体が次の事業を行う場合に限り利用することができる。</p> <p>(1) 各種講習会及び研修会 (2) スポーツ及びレクリエーション (3) 福祉の増進を図るための事業 (4) 社会福祉協議会が行う事業 (5) その他社会福祉協議会事務局長が必要と認めた事項</p>						
事業内容	【運行実績】						
	月	回	利 用 団 体	利用人員	走行距離	消費燃料	
	4月	5	高城地区高齢者クラブ連協他 4 件	93 名	901 km	960	
	5月	6	高城地区高齢者クラブ連協他 5 件	86 名	771 km	970	
	6月	8	山之口ボランティア連協他 7 件	142 名	841 km	780	
	7月	6	高城・山之口障がい者サロン他 5 件	103 名	662 km	1130	
	8月	6	朝倉市老人福祉センター他 5 件	96 名	2,182 km	3090	
	9月	6	高城支部保護司会他 5 件	129 名	1,266 km	2000	
	10月	9	高崎あゆみの会他 8 件	182 名	986 km	1580	
	11月	13	市民児協他 12 件	270 名	1,415 km	1810	
	12月	2	高城地区第 1 ボランティア他 1 件	25 名	99 km	00	
	1月	2	高城地区高齢者クラブ連協他 1 件	39 名	234 km	570	
	2月	8	高崎地区高齢者クラブ他 7 件	132 名	685 km	1280	
	3月	3	ガールスカウト宮崎 22 団	50 名	371 km	970	
計	74		1,347 名	10,523 km	1,4750		
事業成果	<p>・8月から9月にかけて九州北部豪雨災害支援で、福岡県朝倉市へボランティアバスを3回運行し、ボランティア39名を送迎した。</p> <p>・地域福祉推進団体をはじめ、高齢者クラブなどの研修や大会参加のために運行を行い、事業推進に寄与できた。</p> <p>○年間稼働日数/74日 ○年間乗車人員数/1,347名 ○年間走行距離/10,523km ○年間消費燃料/1,4750 ○1回あたり走行距離/7.13km</p>						

事業区分 法人運営 **地域福祉** 相談支援 在宅福祉
 事業種類 **受託事業** 補助事業 公益事業 自主事業 その他 ()

実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	2-12
事業名	生活おたすけサービス事業						
決算額 (単位：円)	2,218,280	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の 補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
				1,743,200			475,080
事業概要	在宅のひとり暮らし高齢者等に対し、日常生活上の軽度な援助（居室内の掃除や日常生活用品の買い物等）を行い、自立した生活の継続、要介護状態への進行を防止する。						
事業内容	【実施した事業内容】 ・利用者や援助員等の需給調整 ・登録援助員の資質向上のための研修 ・生活援助員の意見交換会 ・生活援助員活動カード送付、名簿整理						
	【諸会議】 ・本事業に関するケース会議 ・サービス開始に伴う調整会議 ・援助内容、援助者変更に伴う調整会議 ・介護保険課及び関係機関等との協議						
	【研修等】 ①平成 29 年度生活援助員全体研修会（7/24, 25） テーマⅠ「初期の認知症の気付きと対応について」 講 師／認知症キャラバン・メイト テーマⅡ「介護予防体操～体と頭を使って～」 講 師／NPO 法人高城スポーツクラブ 神河 美樹 氏 ②生活援助員養成講座 ・五十市地区（9/12）、志和池地区（9/20）、祝吉地区（10/24）、庄内地区（3/15）						
事業成果	【実績】 ・年間延べ利用者数 404 名（内、新規利用件数/17 件） ・年間延べ派遣回数 1,844 回 ・年間延べ派遣時間数 2,169 時間 ・生活援助員登録者数 204 名						
	平成 29 年 4 月より「軽度生活援助事業」から「生活おたすけサービス事業」へ移行され、新規の利用件数が 17 件となり、利用者が増加した。利用者が増加したことで、各地区で生活援助員を確保する必要性が出てきたため、29 年度は上記 4 地区で養成講座を行い、計 35 名の登録があった。今後も、地区ごとに事業周知も含めて養成講座を行うことで、生活援助員の確保に努めたい。 また、29 年度からは、現在活動している生活援助員の情報交換会を各地区で行い、活動していく上での悩み事や利用者の近況等について共有した。今後は、関係者との連携をさらに密に図り、利用相談から利用開始までをスムーズに行うことと併せて、利用者の近況を共有する場づくりを継続して行っていきたい。						

事業区分 法人運営 **地域福祉** 相談支援 在宅福祉
 事業種類 **受託事業** 補助事業 公益事業 自主事業 その他 ()

実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	2-13
事業名	日常生活自立支援事業						
決算額 (単位：円)	8,034,698	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の 補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
					6,174,058		1,860,640
事業概要	<p>知的障がい者や精神障がい者又は認知症等により判断能力の不十分な方が、福祉サービスを利用するための一連の援助や契約により日常的な金銭管理、書類等の預かりなどを行い、支援を展開することで安心安全な地域生活が継続できることを目的に本事業を実施する。また、判断能力の低下に伴い必要に応じて、成年後見制度の利用等必要な支援に繋げる。現在、利用者数は90数名である。</p>						
事業内容	<p>【実施する事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用に伴う相談援助 ・福祉サービス利用援助（苦情解決相談含む） ・日常的な金銭管理サービス ・書類等預かりサービス 						
	<p>【諸会議など】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①契約締結判定会議の開催 ②生活支援員連絡会議（意見交換会）の開催 ③都城市障害者自立支援協議会地域生活支援部会への出席 ④専門員業務会議への出席（県社協） ⑤契約締結審査会への出席 ⑥個別支援会議への出席 ⑦その他必要な会議への出席 						
	<p>【研修など】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①専門員実践力強化研修会への参加（全社協：7月） ②専門員研修会への参加／ケースカンファレンス等（県社協） ③生活支援員養成講座の開催：4月 ④生活支援員研修会の開催：12月 ⑤生活支援員等研修会への参加（県社協）1月 ⑥その他必要な研修会への参加 						
事業成果	<p>【その他】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①県社協（契約締結審査会・運営適正化委員会）との連携 ②関係機関その他相談支援事業に関する部門との連携と見守り等協力要請 ③地域福祉諸事業への参加 ④成年後見制度の利用支援 						
	<p>関係機関と連携を図り、総合的な支援を展開することにより、日常生活に不安はあるが、利用者が地域で安心して生活を送るための支援が実施できた。一方で、利用者の増加が予想される中で、生活支援員の養成や地域・関係機関への事業の理解及び啓発活動が不十分であり、事業体制の整備も継続して実施していく必要がある。</p>						

事業区分 法人運営 地域福祉 **相談支援** 在宅福祉
 事業種類 受託事業 補助事業 公益事業 **自主事業** その他 ()

実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	2-14
事業名	福祉後見活動事業						
決算額 (単位：円)	7,227,463	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の	一般財源
		市	県社協	市	県社協	補助金等	
							7,227,463
事業概要	<p>認知症高齢者や知的障がい者あるいは精神障がい者等の判断能力の不十分な方々に対して、財産の管理や身上監護（介護施設への入退所など生活について配慮すること）についての契約、法律行為などを代行する成年後見制度の法人による受任や利用支援及び啓発を行う。</p> <p>また、成年後見の対象者にならない判断力のしっかりした方で、都城市内に親族がいない場合やいても身体的・経済的な事情で支援が困難な状態や、関係が破たんしている方に対して、契約に基づいて入所や入院の保証人機能や日常生活の見守りや財産の管理や身上監護（介護施設への入退所など生活について配慮すること）について、ご本人に寄り添って支援する「都城みらいあんしん支援事業」を実施している。</p>						
事業内容	<p>【実施する事業内容】</p> <p>■成年後見制度利用援助事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成年後見申立支援／2件（書類作成含） <p><受任状況等></p> <ul style="list-style-type: none"> ◇法人後見受任中／7件 ◇委任事務契約（任意後見）／1件 ◇都城みらいあんしん支援事業契約者支援／1件 						
	<p>【諸会議など】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人後見審査委員会（29/6/27、30/3/7） 						
	<p>【研修など】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都城市成年後見ネットワーク協議会への参加 ・成年後見制度意見交換会・出張相談会（29/10/14、30/2/3） ・法人後見支援員（市民後見人）養成研修の受講者/4名（終了者7名） 						
事業成果	<p>日常生活自立支援事業において、判断能力の不十分な方の権利擁護を展開し、公共性や社会福祉法人として後見人等を担うことで信頼性と安心感を高めてきた。加えて、経済的理由や困難事例で他の専門職の受任が困難な場合の受任先として、その役割が期待されている。「都城みらいあんしん支援事業」では、判断能力はあるが保証人の不在等で福祉施設への入所や医療機関への入院ができないなどの不安のある方に対し社会福祉協議会が相談者との契約に基づき法人として支援を行うことによって、身寄りのない方々への支援に取り組んできた。今後は、ますます進行する高齢化や認知症高齢者の増加、障がいがある方の親亡き後の問題などについて、権利擁護センター設置に向け関係機関との協議や継続的な支援を行っていく。</p>						

事業区分 法人運営 地域福祉 **相談支援** 在宅福祉
 事業種類 受託事業 **補助事業** 公益事業 自主事業 その他 ()

実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	2-15
事業名	総合相談事業(本所・4支所)						
決算額 (単位:円)	5,886,166	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の	一般財
		市	県社協	市	県社協	補助金等	源
		5,886,166					
事業概要	<p>地域住民が持つ様々な生活課題、福祉問題を受け止め、関係機関との連携により解決することを目的として総合相談事業を実施している。本所で開設される2名の相談員による常設相談をはじめ、専門相談(法律相談、司法書士相談)を本所と4支所で実施。また、地区社協との連携のなかで福祉なんでも相談を週1~2回、15地区で実施している。このほか、常設相談員・地区相談員等の資質向上のために、年2回研修会を実施している。</p>						
事業内容	<p>【実施する事業内容】 ◆ウエルネス・ハートセンター総合相談総数/721件 ①常設相談・・・523件、②法律相談・・・163件、③司法書士相談・・・35件 ④地区なんでも相談・・・235件、合計・・・956件 ①常設相談開設日：244日、常勤相談員：2名対応、相談件数：523件 ②法律相談：48日、弁護士対応・相談件数：163件 ※法律相談日については、年間48日計画中46日実施(2日は予約なし) 本所：138件、山之口支所：5件、高城支所：7件 山田支所：7件 高崎支所：6件 ③司法書士相談：24日、司法書士対応・相談件数：35件 ※司法書士相談日については、年間24日計画中17日実施(7日は予約なし) ④地区なんでも相談/235件</p>						
	<p>【研修など】 ◆ウエルネス・ハートセンター相談員研修会(15地区担当相談員・7地区地域包括支援センター、生活支援コーディネーター、日常生活自立支援事業生活支援員他) (開催日) ①29年6月29日 ②29年12月14日 (参加者) 合計122名</p>						
事業成果	<p>他の専門機関による無料法律相談等へ繋ぐなど相談者にとって不利益が生じない対応を行った。一方で、高齢者・障がい者等の経済的な問題や就労に関する相談など生活に密着する相談も多数寄せられ、生活に困窮する方々の支援の窓口でもある生活自立相談センターや生活費等の貸付相談担当者へ繋ぐなどの対応を図ってきた。周知については官公庁へのチラシ配布や報道関係への情報提供などで啓発活動を行い、生活支援会議を実施するなどして、地域の困りごとを共通理解して、解決に結び付けることができた。</p>						

事業区分 法人運営 **地域福祉** 相談支援 在宅福祉
 事業種類 **受託事業** 補助事業 公益事業 自主事業 その他 ()

実施箇所	本所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	2-16
事業名	都城市生活自立相談センター事業						
決算額 (単位：円)	14,341,168	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
				14,341,168			
事業概要	生活困窮者自立支援法に定められた自立相談支援事業を実施し、多様で複合的な課題を抱える生活困窮者に対し、総合的・包括的な相談援助及び就労支援を行うことにより、相談者（世帯）の自立を促進するもの。また、関係機関とのネットワークを構築し、社会資源を活用・開発しながら地域づくりを展開することにより、相談者の課題解決の支援を行い困窮状態からの脱却を目指す事業である。						
事業内容	【実施した事業内容】 ・自立相談支援事業 ・住居確保給付金事業 ・フードバンク事業 ・商品券の支給・貸付事業 ・学習支援への取り組み ・スーパーバイザーを招いた事例検討会の実施 ・相談者支援を通じた地域づくりの実施 ・みやこんジョブセミナー（全4回） ・社会福祉法人による地域貢献活動の推進事業 ・民間支援団体と協働した生活支援の実施						
	【諸会議】 ・生活困窮者自立支援事業定期協議、支援調整会議、庁内連絡会議 ・都城地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会 ・都城市障害者自立支援協議会 ・都城市要保護児童対策地域協議会実務者会議 ・生活困窮者自立支援制度福祉事務所等連絡会議、厚生労働省との意見交換会 ・都城市地域貢献連絡協議会、都城地区CSW意見交換会 ・学習支援実施団体代表者会議 ・こども未来応援、貧困対策に係る意見交換会						
	【研修等】 ・生活困窮者自立支援全国研究交流大会（高知市） ・生活困窮者自立相談支援事業従事者養成研修（国） ・コミュニティソーシャルワーク基礎研修 ・事例検討会/山下道場（年2回） ・氷見市社協 in みやこんじょ事例検討 ・自立支援協議会10周年記念事業 ・我が事、丸ごとの地域共生社会づくりキックオフイベント ・こども食堂はみんなの居場所シンポジウム ・総合相談・生活支援研修 など 【実績】 ・相談実人員数730件 ・相談延件数2,545件（相談内訳総数：3,680件）						
事業成果	ハローワークとの連携にて就労決定者が前年度比約2倍の54件実績。又、自立相談支援事業に係る啓発が着実に浸透し、新規相談者及びプラン作成者ともに増加、住居確保給付金申請も大幅に伸びた。地域貢献連絡協議会や社会福祉法人による安心セーフティネット事業を通じた社会貢献活動（物品提供、昼食支援、子ども未来応援、就労準備等）の広がりも見られている。新たにみやこんジョブセミナーを実施したが、引き続き就労準備に係る支援とプログラムの強化・開発の必要があり、ライフライン事業者との連携強化にも取り組んでいきたい。						

事業区分 法人運営 地域福祉 **相談支援** 在宅福祉
 事業種類 受託事業 **補助事業** 公益事業 自主事業 その他 ()

実施箇所	本所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No. 2-17	
事業名	生活福祉資金貸付事業						
決算額 (単位：円)	3,370,076	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
				812,000		2,558,076	
事業概要	生活福祉資金制度は、民生委員児童委員の訪問活動から設立された制度であり、低所得世帯・高齢者世帯・障がい者世帯に対して、目的に沿った形での貸付を行っている。貸付世帯への助言等を通して、経済的自立と生活意欲の促進を図っている。						
事業内容	【貸付実績】						
	種 類	総合支援	福祉／緊急	教育支援	不動産担保		
	件 数 (件)	0	7	3	0		
	貸付額 (円)	0	2,522,000	1,558,000	0		
	合 計 10 件 4,080,000 円						
	都城本所 : 貸付件数/9 件 貸付額/3,958,000 円 内訳 : 総合支援資金 (生活支援費 0 件/円) (住宅入居費 0 件/円) (一時生活再建費 0 件/円) 福祉資金 (2 件/2,085,000 円) 緊急小口資金 (5 件/ 437,000 円) 教育支援資金 (2 件/1,436,000 円) 要保護世帯向け不動産担保型 (0 件/0 円) 山之口支所 : 貸付件数/0 件/0 円 高城支所 : 貸付件数/0 件/0 円 山田支所 : 貸付件数/1 件/122,000 円 (教育支援資金 1 件) 高崎支所 : 貸付件数/0 件/0 円 研修・出張 ・平成 29 年 6 月 9 日「生活福祉資金担当職員事務説明会」県社協						
事業成果	<p>年間を通して、相談件数は一定数を保っているが貸付件数は減少傾向にある。相談内容としては、緊急小口資金、教育支援資金が圧倒的に多く、緊急小口資金は初回給与などの繋ぎとして、自立支援機関との連携により単に貸付を行うだけでなく貸付後の償還や仕事の定着などに向け継続的に関わり続けることができている。</p> <p>また、貧困の連鎖を絶つために教育支援資金を有効活用し、新規の借受人を含め、これまでの借受人世帯との親子面談を今年度も実施した。卒業後の進路等も可能な限り把握し、県外に転居した借受人は住所等の把握まで行った。貸付時から数年たつことにより年々借受人世帯との信頼関係も築きつつあり、こまめな報告等も行っていただく借受人も増えてきている。</p> <p>償還指導では、償還を促すと共に無償還月を無くすことを意識させ、当初の返済計画でなくとも、毎月可能な範囲で償還の意志をみせることを念頭に実施した。今後さらに、債権者・債務者だけの関係に留まらず、民生委員や地域などの関わりを強化し、包括的な支援に繋げていきたい。</p>						

事業区分 法人運営 地域福祉 **相談支援** 在宅福祉
 事業種類 受託事業 **補助事業** 公益事業 自主事業 その他 ()

実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No. 2-18	
事業名	生活福祉資金利子補給事業						
決算額 (単位：円)	113,355	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
	113,355						
事業概要	生活福祉資金の借受者に対し、利子の負担の軽減及び状況把握を図るために、期限内償還分の利子を補給する。						
事業内容	【実 績】						
			内 訳				
	本人補給金額	109,255 円	受取者 16 名				
	金種手数料	0 円	振込に伴う手数料は受取者負担のため				
合 計	109,255 円						
事業成果	<p>利子の負担軽減が目的の一つであるが、以前より対象者全員が受取に来所されないことが課題であった。</p> <p>そのため、本年度（平成 28 年度分）の利子補給より、年 2 回前期・後期に分けての交付とせず年 1 回とし、交付方法を窓口交付から口座振込に変更した。</p> <p>住民票の取得が年 1 回で済むことや、これまで仕事などの都合により受取来所が出来なかった対象者へ効率的に交付が出来た。対象者より今後も継続して今回の方法にて実施してほしいとの声も多く上がった。</p>						

事業区分 法人運営 地域福祉 **相談支援** 在宅福祉
 事業種類 受託事業 **補助事業** 公益事業 自主事業 その他 ()

実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No. 2-19	
事業名	たすけあい資金貸付事業						
決算額 (単位:円)	909,446	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
909,446							
事業概要	<p>目 的 日常生活の中の不時の出費の困難な者に必要な資金を貸し付け、民生の安定を図るための資金</p> <p>貸付対象 (1)低所得のため、不時の出費等によって生活を脅かされる恐れのある者 (2)自立更生に必要な資金の融通を外から受けることが困難な者</p> <p>貸付条件 原則 3 万円を上限とし、連帯保証人 1 名と担当民生委員の承認を必要とする。また、償還期限は1年以内とする。</p>						
事業内容	◆前年度繰越 件数 250 件 金額 4,927,560 円						
	【貸付及び償還実績】						
		貸 付		償 還			
	月	件数(単位:件)	金額(単位:円)	件数(単位:件)	金額(単位:円)		
	4月	1	30,000	10	105,000		
	5月	1	30,000	7	33,000		
	6月	0	0	3	11,000		
	7月	1	30,000	7	47,000		
	8月	1	10,000	6	48,000		
	9月	1	30,000	4	37,500		
	10月	0	0	5	36,500		
	11月	1	3,000	2	15,000		
	12月	2	60,000	5	33,000		
	1月	1	20,000	3	17,000		
	2月	1	30,000	4	45,000		
3月	0	0	3	30,000			
合 計	10	243,000	59	458,000			
◆次年度繰越 件数 236 件 金額 4,712,560 円							
事業成果	<p>今年度は、本資金の貸付を実施する以前に、食べ物等の現物給付にて支援を行うケースが多かった。連帯保証人が立てられない方や、民生委員が介入することを拒む方などには、現物対応（米、缶詰、レトルト食品など）により次の収入日までの食の支援や商品券貸付として支援を行った。また、滞納中の債務者についても、定期的に本センターへ電話相談をされる方も増え、単に金銭的な支援だけではなく、完済に向けた社会的な自立支援に繋がっていると考える。また、生活保護や公的年金等までの生活費の相談も一定数あるため、関係機関との連携は今後も必須としていきたい。</p> <p>※たすけあい資金の貸付・償還の件数と金額は、本所・支所の合計金額である。</p>						

事業区分 法人運営 **地域福祉** 相談支援 在宅福祉
 事業種類 受託事業 補助事業 公益事業 **自主事業** その他()

実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No. 2-20	
事業名	子育て応援助成事業						
決算額 (単位:円)	698,000	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
						698,000	
事業概要	子育て応援に取り組んでいる団体の活動に要する資金を助成し、活動の更なる充実を図ることを目的とし、実施する。審査会を開催後、交付決定。						
事業内容	<p>【実施した事業内容】 「子ども子育て応援基金活用事業」 市内において地域ぐるみでの子育て支援活動を実施している団体や、新規で活動を実施する団体に対する事業助成。また、何らかの援助が必要なケースに対する個別助成。</p> <p>【諸会議など】 ・局内検討会議 ・公開プレゼンテーション審査会 ・助成事業審査委員会</p> <p>【実績】 市内における地域の子育てに関わる5団体、5事業に対して、合計690,000円を助成</p> <p>○事業助成コース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定非営利活動法人シャクティ/ひまわりキッズクラブ事業/60,000円 ・特定非営利活動法人ひむかキッズクラブ/みんなが行き(活き)たい居場所づくり事業/100,000円 ・特定非営利活動法人H・Pミュージックサポート/障がい者に対する楽器演奏チャレンジ講習会/180,000円 ・みらい創造舎/ひとり親家庭等への支援事業(夕食・朝食・生活)/170,000円 ・山田地区社会福祉協議会/学習支援事業/180,000円 						
事業成果	<p>行政とは違う社会福祉協議会らしい、地域福祉推進のための子育て支援活動や制度の谷間にある活動に対して必要な助成が行えるよう、今後も周知していきたい。</p> <p>また、ニーズキャッチした個別ケースに対して、局内審査を経て助成を行ったが、必要な個別ケースに対して年間を通じて助成できる運用体制を構築するためにも、要綱等を早急に整備したい。</p>						

事業区分 法人運営 **地域福祉** 相談支援 在宅福祉
 事業種類 受託事業 補助事業 公益事業 自主事業 **その他（共募）**

実施箇所	本所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	2-21
事業名	歳末たすけあい助成事業						
決算額 (単位：円)	3,113,828	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
						3,113,828	
事業概要	12月1日～31日の1ヶ月間に共同募金委員会が実施する募金運動に伴う助成事業						
事業内容	【実績】助成一覧						
	【本所】	事業名	事業内容	助成額(円)	件数		
		在宅福祉サービス事業	低所得高齢者住環境整備補修事業	214,545	7		
		在宅福祉サービス事業	低所得日常生活支援事業	254,254	6		
		在宅福祉サービス事業	低所得障害者日常生活支援事業	180,329	7		
		在宅福祉サービス事業	要援護児童世帯日常生活支援事業	148,040	5		
		地域福祉サービス事業	低所得者生活支援事業	314,371	3		
		地域福祉サービス事業	災害対策事業	146,409	1		
		【山之口】					
		地域福祉サービス事業	高齢者見守り、訪問活動	173,000	2		
		地域福祉サービス事業	高齢者・児童支援事業	247,000	3		
		【高城】					
		地域福祉サービス事業	ふれあい交流事業	292,000	1		
		地域福祉サービス事業	低所得者生活支援事業	12,000	1		
		【山田】					
		地域福祉サービス事業	福祉サービス事業	338,880	5		
		【高崎】					
		在宅福祉サービス事業	年末年始地域福祉活動事業	713,000	28		
	地域福祉サービス事業	低所得者生活支援事業	80,000	1			
	合計		3,113,828	70			
事業成果	全体的に低所得世帯に対する助成が多い現状である。関係機関への呼びかけは行っているが、申請機関に偏りがみられる。今後はニーズの発掘により多くの方に呼びかけを行うことが重要であると感じる。						

事業区分 法人運営 **地域福祉** 相談支援 在宅福祉
 事業種類 受託事業 補助事業 公益事業 **自主事業** その他 ()

実施箇所	本所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	2-22															
事業名	緊急援護等事業																					
決算額 (単位：円)	18,881,391	左の財源内訳																				
		補助金		受託金		その他の補助金等	一般財源															
		市	県社協	市	県社協																	
						18,881,391																
事業概要	社会福祉法人都城市社会福祉協議会災害見舞金支給要綱に基づき、都城市内で火災などの災害に遭われ、住宅などに損害が生じた方に対し、災害見舞金を支給するものである。																					
事業内容	<p>【実施した事業内容】</p> <p>・都城市内で一般火災及び暴風・洪水・地震その他の自然現象により住宅などに損害が生じた方に対し、災害見舞金を支給。 (火災：全焼／5万円 半焼／3万円)</p> <p>【都城市社会福祉協議会災害見舞金支給要綱より】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">被災の内容</th> <th>災害見舞金の額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">災害</td> <td>世帯員が全員死亡した場合</td> <td>10万円</td> </tr> <tr> <td>住居の全体が消失(全壊、流失のすべてを含む)した場合</td> <td>10万円</td> </tr> <tr> <td>床上浸水による被災の場合</td> <td>3万円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">火災</td> <td>住居が全焼または全損した場合</td> <td>5万円</td> </tr> <tr> <td>住居が半焼または半損した場合</td> <td>3万円</td> </tr> </tbody> </table> <p>【実績】</p> <p>○火災見舞い</p> <p>都城本所 : 0件 山之口支所 : 0件 高城支所 : 1件 (50,000円) ※全焼／1件 山田支所 : 2件 (80,000円) ※全焼／1件 半焼／1件 高崎支所 : 0件</p>							被災の内容		災害見舞金の額	災害	世帯員が全員死亡した場合	10万円	住居の全体が消失(全壊、流失のすべてを含む)した場合	10万円	床上浸水による被災の場合	3万円	火災	住居が全焼または全損した場合	5万円	住居が半焼または半損した場合	3万円
被災の内容		災害見舞金の額																				
災害	世帯員が全員死亡した場合	10万円																				
	住居の全体が消失(全壊、流失のすべてを含む)した場合	10万円																				
	床上浸水による被災の場合	3万円																				
火災	住居が全焼または全損した場合	5万円																				
	住居が半焼または半損した場合	3万円																				
事業成果	被災者支援の体制については、見舞金による支援はもちろんであるが、被災後の被災者世帯の生活支援も重要である。																					

事業区分 法人運営 地域福祉 相談支援 在宅福祉
 事業種類 受託事業 補助事業 公益事業 自主事業 その他 ()

実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	2-23																																																
事業名	低所得者対策事業																																																						
決算額 (単位：円)	12,000	左の財源内訳																																																					
		補助金		受託金		その他の 補助金等	一般財源																																																
		市	県社協	市	県社協																																																		
	12,000																																																						
事業概要	歩行に堪えない行路中の病人であって、療養の途を持たず、かつ、救護者のいない者への援助事業。																																																						
事業内容	<p>【実施する事業内容】</p> <p>歩行に堪えない行路中の病人であって、療養の途を持たず、かつ、救護者のいない者への援助事業。(原則として、本所：1 駅 1, 0 0 0 円、支所：5 0 0 円支給) 運用については、市保護課と連携している。</p> <p>【実績】</p> <p>都城 本所：13 件／12,000 円 (内、3 件 返金 1,800 円) 山之口支所：0 件 高城 支所：0 件 山田 支所：0 件 高崎 支所：0 件</p> <p>【各月ごとの状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>件数</th> <th>金額 (円)</th> <th></th> <th>件数</th> <th>金額 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4 月</td> <td>1</td> <td>1,000</td> <td>10 月</td> <td>2</td> <td>4,000</td> </tr> <tr> <td>5 月</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>11 月</td> <td>1</td> <td>△2,000</td> </tr> <tr> <td>6 月</td> <td>4</td> <td>2,000</td> <td>12 月</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>7 月</td> <td>1</td> <td>2,000</td> <td>1 月</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>8 月</td> <td>1</td> <td>1,000</td> <td>2 月</td> <td>1</td> <td>15,000</td> </tr> <tr> <td>9 月</td> <td>1</td> <td>3,000</td> <td>3 月</td> <td>1</td> <td>△15,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>合計</td> <td>13</td> <td>12,000</td> </tr> </tbody> </table>								件数	金額 (円)		件数	金額 (円)	4 月	1	1,000	10 月	2	4,000	5 月	0	0	11 月	1	△2,000	6 月	4	2,000	12 月	0	0	7 月	1	2,000	1 月	0	0	8 月	1	1,000	2 月	1	15,000	9 月	1	3,000	3 月	1	△15,000				合計	13	12,000
	件数	金額 (円)		件数	金額 (円)																																																		
4 月	1	1,000	10 月	2	4,000																																																		
5 月	0	0	11 月	1	△2,000																																																		
6 月	4	2,000	12 月	0	0																																																		
7 月	1	2,000	1 月	0	0																																																		
8 月	1	1,000	2 月	1	15,000																																																		
9 月	1	3,000	3 月	1	△15,000																																																		
			合計	13	12,000																																																		
事業成果	<p>※都城本所にて予算一括管理</p> <p>本所管内一駅 1,000 円、支所管内 500 円の支給であるが、全体的に件数が減少してきている。</p>																																																						

事業区分 法人運営 **地域福祉** 相談支援 在宅福祉
 事業種類 **受託事業** 補助事業 公益事業 自主事業 その他 ()

実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No. 2-24	
事業名	介護保険生活支援体制整備事業						
決算額 (単位：円)	2,624,758	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
				2,624,758			
事業概要	第2層（中学校区）圏域において、高齢者が住み慣れた地域で生活を継続していくことが出来るよう生活支援コーディネーターを配置し、地域の生活課題の把握やさまざまなサービス提供主体の把握・創出、関係機関との連携等を図り、第2層圏域での生活支援体制整備を推進する。						
事業内容	【実施した事業内容】						
	<ul style="list-style-type: none"> 生活支援コーディネーターの配置、情報交換会の実施 都城市介護保険生活支援体制整備事業報告会の実施 第2層圏域での協議に関すること 						
	【諸会議】						
	<ol style="list-style-type: none"> ① 地区ごとに生活支援コーディネーター及び関係者の定期協議を実施 ② 介護保険課、関係者との定期協議 ③ 都城市介護保険生活支援体制整備事業協議会への出席 ④ 都城市における総合事業に関する意見交換会（H29.11.20） 都城市社会福祉施設等連絡会在宅部会での意見交換 						
事業内容	【研修等】						
	<ol style="list-style-type: none"> ① 第1回都城市生活支援コーディネーター情報交換会（H29.6.16） ・委嘱状交付 ・介護保険生活支援体制整備事業について ・生活支援コーディネーターとは・情報交換 ② 第2回生活支援コーディネーター情報交換会（H29.10.23） ・実践報告「チーム・庄内」 ・地域包括支援センター職員との情報交換 ③ じょじょんよかとかわがまち報告会 ～都城市介護保険生活支援体制整備事業報告会～（H29.12.21） ・じょじょんよかとかわがまち自慢・わがまちをもっと良くする座談会 ・明日のためにその1 ④ 第4回生活支援コーディネーター情報交換会（H30.3.20） ・実践報告「五十市地区の取り組み」・1年間を振り返って・情報交換 						
	【実績】						
<ul style="list-style-type: none"> 生活支援コーディネーターの配置状況：全15地区中12地区19名 生活支援コーディネーターの活動時間：合計1283時間：1か月1人あたりの平均9.7時間 各地区での実績 庄内地区「オッシャー・ベリー・ハウス」の立ち上げ 西岳地区「地域ネットワークセミナー」の開催 							
事業成果	本年度より第2層圏域での生活支援体制整備の推進を開始し、12地区19名の第2層生活支援コーディネーターを配置した。生活支援コーディネーターが把握した生活課題や社会資源は、情報交換会で共有した他、第1層協議体に報告、提言を行った。また、情報交換会は、関係機関との連携や、生活支援コーディネーター間で悩みの共有の場としても活用された。じょじょんよかとかわがまち報告会では、都城市内の生活課題を領域ごとに整理し、第1層協議体をはじめ、都城市内の様々な関係団体と本事業に関する共通認識を持つことができた。一方で、第2層協議体へのアプローチは不十分であり、今後、地区社協等と連携し、第2層圏域で生活課題を共有、解決する仕組みづくりを支援、バックアップしていくことが今後の課題である。						

事業区分 法人運営 地域福祉 **相談支援** 在宅福祉
 事業種類 **受託事業** 補助事業 公益事業 自主事業 その他 ()

実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	3-02
事業名	障害者虐待防止センター事業						
決算額 (単位：円)	11,475,647	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の	一般財源
		市	県社協	市	県社協	補助金等	
				11,475,647			
事業概要	障がい者の虐待防止に努め、関係機関と共に、障がい者虐待対応を行う。都城市福祉課と共に、養護者による虐待、障がい者福祉施設従事者等による虐待、使用者による虐待の相談対応を行う						
事業内容	【実施した事業内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者虐待の通報・届出の受理・相談対応 ・コア・メンバー会議の開催／連絡調整／記録作成 ・支援会議の開催／連絡調整／記録作成 						
	【諸会議】 <ul style="list-style-type: none"> ・コア・メンバー会議の開催 ・支援会議の開催 						
	【研修等】 <ul style="list-style-type: none"> ・宮崎県障害者虐待防止・権利擁護研修 市町村担当者研修 ・宮崎県障害者虐待防止・権利擁護研修 【共通研修】 ・宮崎県障害者虐待防止・権利擁護研修 【虐待防止センター担当職員等研修】 ・障害福祉サービス事業所等での研修会講師派遣 【広報啓発】 ・都城市きりしま支援学校 ・都城市社会福祉協議会ウエルネスハートセンター研修 						
事業成果	【実績】 <ul style="list-style-type: none"> ・養護者による障がい者虐待対応 18 件 ・障がい者福祉施設従事者等による障がい者虐待対応 3 件 ・使用者による障がい者虐待対応 3 件 ・障害者虐待コア・メンバー会議 23 回 ・支援会議 20 回 						
	養護者による虐待案件については、関係機関との支援会議を重ね、密に連携しながら慎重に対応していったところである。施設従事者による虐待案件については、施設内での虐待防止に対する認識の希薄さに対応すべく、虐待は、日頃の業務のなかで十分発生するという意識を持つよう行政とともに研修を実施した。						

事業区分 法人運営 地域福祉 **相談支援** 在宅福祉
 事業種類 **受託事業** 補助事業 公益事業 自主事業 その他 ()

実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	3-03
事業名	障がい者等日中活動事業						
決算額 (単位：円)	1,012,536	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の	一般財源
		市	県社協	市	県社協	補助金等	
				1,012,536			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の在宅障がい者等へ日中活動の場を提供 ・常設型サロン開設による自立支援の実施 ・ボランティアの養成 						
事業内容	【実施した事業内容】 <ul style="list-style-type: none"> ◆本 所・・・ぽかぽかサロン（イベント型）月2回開催 ◆本 所・・・（常設型）月～金（開設時間）9：00～16：00 ◆支 所・・・月1回開催 						
	【諸会議】 本所・支所サロン担当者会議（4月）						
	【実績】 ◎本所・ぽかぽかサロン（イベント型：調理・社会見学・勉強会等） <ul style="list-style-type: none"> ・開催23回 ・利用者数526人 ・常設型サロン・開設日数243日、延べ利用者数2,480人 ・1日平均利用者数 10.2人 ◎山之口サロン 12回開催 利用者数113名（家族含む） ◎高城にここサロン 12回開催 利用者数 34名（家族含む） ◎山田ひまわりサロン 11回開催 利用者数 61名（家族含む） ◎高崎あゆみの会 12回開催 利用者数 86名（家族含む）						
事業成果	平日開催の常設型サロンと、月2回開催のイベント型サロンを開催し、自宅に閉じこもりがちな障がい者やその家族の交流つどいの場となった。和やかな雰囲気のもと、活動に参加される方々も多く、特に日常生活上の訓練や食育も兼ねた調理実習や社会参加活動（サロンバス）では多くの参加がある。参加者の中には、サロン活動から次へのステップとして就労支援事業（B型）へ移行した方もおり、また、仕事が休日の日に居場所としてサロンに参加される方もいる。一方で、就労の場に馴染めない等によって、再びサロンへの参加を希望される方もおり、当事者を理解する場としても機能している。また、支所のサロンについては野外活動や手芸に取り組み、本所サロンと合同開催を行う社会参加活動では多くの参加があった。サロンのリーダー的な存在者が年齢的に高齢となったため、新たなリーダー養成研修を行うことができ当事者の活動の一躍を担っている場である。						

事業区分 法人運営 地域福祉 **相談支援** 在宅福祉
 事業種類 受託事業 補助事業 公益事業 **自主事業** その他 ()

実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	3-04
事業名	障害者ケアプラン事業						
決算額 (単位：円)	5,653,885	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の	一般財源
		市	県社協	市	県社協	補助金等	
							5,653,885
事業概要	障がい児・者のサービス等利用計画の作成を通して、障がい児・者の質の高い生活の構築を目指し、関係機関とのネットワークを構築する						
事業内容	【実施した事業内容】 障がい者のサービス等利用計画の作成を通して、障がい児（者）の自立支援を目指す						
	【諸会議】 ・都城市障害者自立支援協議会 相談支援部会（毎月）						
	【研修等】 ・宮崎県障がい者相談支援事業連絡協議会 ・MSR 県南ブロック会議 ・宮崎県障害者虐待防止・権利擁護研修【共通研修】 ・宮崎県障害者虐待防止・権利擁護研修【虐待防止センター担当職員等研修】 ・平成 29 年度年次総会 ・宮崎県相談支援従事者初任者研修 ・宮崎県相談支援従事者現任研修 ・九州地区障がい者相談支援事業合同研修会 in 鹿児島 【請求実績】 ・ケアプラン作成対象者 58 名（述作成件数 151 件） ・地域定着支援対象者 1 件						
事業成果	介護保険と同様に障害福祉サービス利用者においては、サービス等利用計画（障害者版ケアプラン）を作成する必要があり、相談支援専門員は重要な役割を担っている。計画の作成にあたっては、相談支援事業所として社協の機能と連携をはかりながら、他の関係機関と連携をすすめることで、地域で安心した生活が送ることができるようサポートした。また、障害者自立支援協議会（相談支援部会）に参加することによって、定期的な支援の在り方について検証する機会となった。事業所として虐待防止に努めるために、防止研修に参加するとともに事業所内での研修を実施するなど権利擁護の取り組みにもつながった。						

事業区分 法人運営 地域福祉 相談支援 **在宅福祉**
 事業種類 **受託事業** 補助事業 公益事業 自主事業 その他 ()

実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	3-05
事業名	重度身体障害者移動支援事業						
決算額 (単位：円)	1,933,053	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の	一般財源
		市	県社協	市	県社協	補助金等	
				1,933,053			
事業概要	在宅で生活する重度身体障がい者（児）及び概ね65歳以上の寝たきり状態や車椅子が欠かせない等の要援護高齢者が病気療養のために必要な通院に伴う移動手段の確保並びに社会参加の促進を図るため本事業を実施する						
事業内容	【実施した事業内容】						
	<ul style="list-style-type: none"> ・病院等への通院及び入退院に伴う移動支援 ・在宅福祉サービス利用調整に伴う移動支援 ・公共機関の利用に伴う移動支援 ・研修会や文化活動への参加に伴う移動支援 ・冠婚葬祭に伴う移動支援 ・福祉有償運送事業運転従事者養成講習会の実施 						
	【諸会議】						
	○都城市福祉有償運送サービスネットワーク協議会						
事業内容	【研修等】						
	○運転ボランティア研修会（12月）						
	○福祉有償運送サービス運転従事者養成講習（5月）						
	【実績】						
事業内容	① 運転ボランティア登録数6名						
	② 平成29年度利用回数 延419回（登録者数222名）						
	③ 病院等への通院及び入退院に伴う移動支援（217件）						
	④ 在宅福祉サービス利用に伴う移動支援（0件）						
	⑤ 公共機関の利用に伴う移動支援（6件）						
	⑥ 研修会や文化活動参加に伴う移動支援（0件）						
	⑦ 冠婚葬祭に関する移動支援（0件）						
	⑧ その他（0件）						
事業成果	寝たきりの状態や車椅子で生活されている重度の身体障がいや要援護状態にある方々の通院や社会参加をするための移動手段として実施している事業であり、移動支援の中核を担っている。一方で協力いただいているボランティアの年齢が高齢となり従事者の確保に課題がある。利用ニーズについては高齢者が最も多く、利用者の9割以上を占めており、移動弱者の支援として継続するためには専従運転者の確保について行政の主管課と協議を重ねる予定である。						

事業区分 法人運営 地域福祉 相談支援 **在宅福祉**
 事業種類 **受託事業** 補助事業 公益事業 自主事業 その他 ()

実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	3-06
事業名	点字図書館事業						
決算額 (単位：円)	17,123,567	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の 補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
				16,559,000			564,567
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・点字図書、録音図書、定期刊行物の製作及び貸出し ・点訳、音訳、デージー編集ボランティア等の養成 ・視覚障がい者の情報環境の向上及び社会参加の支援 ほか 						
事業内容	<p>【実施した事業内容及び実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・点字データダウンロード利用数 (7,406 タイトル) ・点字図書貸出数 (78 タイトル：259 冊) ・デージー図書貸出数 (4,737 タイトル) ・音声デージーダウンロード利用数 (14,424 タイトル) ・テープ図書貸出数 (105 タイトル：534 巻) ・テキストデージーデータダウンロード利用数 (205 タイトル) ・点字誌定期刊行物貸出数 (5 タイトル：延 376 名) ・電子メール誌定期刊行物貸出数 (5 タイトル：延 481 名) ・テープ誌定期刊行物貸出数 (10 タイトル：延 941 名) ・デージー誌定期刊行物貸出数 (20 タイトル：延 1,482 名) ・ぶらいゆサロン (視覚障がい者点字読み書き指導) 開催 (24 回：4 名) ・点訳ボランティア養成講座 (全 22 回：受講者 3 名：修了者 2 名) ・音訳ボランティア養成講座 (全 24 回：受講者 10 名：修了者 3 名) ・音声デージー編集講習会 (全 59 回開催：受講者 10 名) ・デジタル録音機操作講習会 (全 17 回開催：受講者 7 名) ・相談サービス (情報機器、生活用具等に関する) の実施 ・視覚障がい者福祉啓発イベント <p>「夏休み！点字図書館わくわく塾 2017」開催 [7 月 25 日 (火)：30 名参加]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉学習対応 (13 校 29 クラス、受講生等 925 名・ボランティア延 112 名) ・Facebook ページによるスピーディな情報提供により、施設の啓発を図った。 ・第 48 回衆議院議員選挙・最高裁国民審査音声版選挙公報及び点字版候補者指名等掲示製作対応 						
事業成果	点訳及び音訳図書や資料等の製作体制を充実させ、様々な利用者ニーズに対応し、視覚障害者の情報環境の向上と、社会参加の促進に繋げた。						

事業区分 法人運営 地域福祉 相談支援 **在宅福祉**
 事業種類 受託事業 補助事業 公益事業 **自主事業** その他 ()

実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	4-01																				
事業名	居宅介護事業																										
決算額 (単位：円)	41,002,240	左の財源内訳																									
		補助金		受託金		その他の 補助金等	一般財源																				
		市	県社協	市	県社協																						
							41,002,240																				
事業概要	<p>障害者総合支援法に基づき、身体障がい者、精神障がい者、知的障がい者の利用者宅へホームヘルパーを派遣し、在宅及び地域で利用者の有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排せつ、食事の介護その他の生活全般にわたる援助を行う。</p>																										
事業内容	<p>【実施した事業内容：本所】 ・障害福祉サービス（居宅介護）（同行援護）（重度訪問介護）</p>																										
	<p>【諸会議】 ・訪問介護事業会議 1回／月 ・ヘルパーミーティング 1回／週 ・都城市自立支援型地域ケア会議 随時開催／年</p>																										
	<p>【研修等】 ・介護ヘルパー研修 4回／年 ・中央研修 9月 ・介護技術研修 1月 ・平成29年度 障害者虐待防止・権利擁護研修会（共通・分野別研修）1名 ・平成29年度 同行援護従業者養成研修（一般課程・応用課程）1名</p>																										
	<p>【その他】・H29 県介護福祉士養成支援事業補助金交付（国家資格取得者）1人</p>																										
<p>【実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>サービス内容</th> <th>年間利用者数</th> <th>延訪問回数</th> <th>延訪問時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>居宅介護</td> <td>436</td> <td>6,459</td> <td>6,740</td> </tr> <tr> <td>同行援護</td> <td>22</td> <td>82</td> <td>260</td> </tr> <tr> <td>重度訪問介護</td> <td>12</td> <td>739</td> <td>1,275</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>470</td> <td>7,280</td> <td>8,275</td> </tr> </tbody> </table> <p>平成29年度 新規：5件、廃止：6件</p>								サービス内容	年間利用者数	延訪問回数	延訪問時間	居宅介護	436	6,459	6,740	同行援護	22	82	260	重度訪問介護	12	739	1,275	計	470	7,280	8,275
サービス内容	年間利用者数	延訪問回数	延訪問時間																								
居宅介護	436	6,459	6,740																								
同行援護	22	82	260																								
重度訪問介護	12	739	1,275																								
計	470	7,280	8,275																								
事業成果	<p>障がい福祉サービス利用者が65歳になり、介護保険サービスへ切り替わる利用者が出てきたが、訪問回数・時間は増えてきている。また、本・支所の障がい福祉サービス事業所を統合し、在宅福祉係として組織の一本化を実施し体制を整え、県主催の障害者虐待防止・権利擁護研修や同行援護従業者養成研修を計画的に受講させた。また、昨年に引き続き、宮崎県介護福祉士養成支援事業（実務者研修補助金）を積極的に活用し、登録ヘルパー等の介護福祉士国家試験の受験等支援を行い、事業所の中核的介護人材の確保と介護従事者のキャリアアップに取り組んだ。今後も、市障害者生活支援センターや各相談事業所等との連携を図っていきたい。</p>																										

事業区分 法人運営 地域福祉 相談支援 **在宅福祉**
 事業種類 **受託事業** 補助事業 公益事業 自主事業 その他 ()

実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	4-02																																									
事業名	訪問入浴サービス事業																																															
決算額 (単位：円)	6,232,958	左の財源内訳																																														
		補助金			受託金		その他の	一般財源																																								
		市	県社協	市	県社協	補助金等																																										
				4,950,000			1,282,958																																									
事業概要	利用者（障がい者）が在宅において自立した日常生活を営むことが出来るように、看護師・ホームヘルパーを派遣して、自宅に浴槽を運び、訪問入浴サービスを実施する。																																															
事業内容	【実施した事業内容】																																															
	○移動入浴車にて自宅での入浴ケアを行う (看護師1名、ヘルパー2名)																																															
	○訪問入浴車（軽自動車：2台）																																															
	【諸会議】																																															
事業内容	○ホームヘルパーとのミーティング 1回/週																																															
	○訪問介護事業と連携して事業会議に参加 1回/月																																															
	【研修等】																																															
	○接遇とベッドでの移乗方法 ○認知症講習会及び講演会 ○デベロ老人福祉研究所主催の入浴福祉レベルアップセミナー（鹿児島教室）																																															
事業内容	【実績】派遣回数（年間）																																															
	利用者（延人数） 63人																																															
	派遣回数（延回数） 396回																																															
	<table border="1"> <tr> <td>実施月</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>12</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>世帯</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td>回数</td> <td>33</td> <td>32</td> <td>37</td> <td>30</td> <td>32</td> <td>36</td> <td>36</td> <td>30</td> <td>34</td> <td>32</td> <td>29</td> <td>35</td> <td>396</td> </tr> </table>							実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	世帯	6	6	5	5	5	6	5	5	5	5	5	5	63	回数	33	32	37	30	32	36	36	30	34	32	29	35
実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計																																			
世帯	6	6	5	5	5	6	5	5	5	5	5	5	63																																			
回数	33	32	37	30	32	36	36	30	34	32	29	35	396																																			
事業成果	主介護者である家族の高齢化による利用中止や障がい者施設入所もあるが、昨年に比べ派遣回数が微増している。障がい児の成長とともに家族だけでの入浴支援が難しくなっているケースも一因と思われる。また、訪問入浴従事者のスキルアップ等を行うために、専門研修を計画的に受講させた。今後も安定した事業を行うために、市障害者生活支援センターや各相談事業所との連携を図っていきたい。																																															

事業区分 法人運営 地域福祉 相談支援 **在宅福祉**
 事業種類 **受託事業** 補助事業 公益事業 自主事業 その他 ()

実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	4-03
事業名	日中一時支援事業						
決算額 (単位：円)	785,260	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の	一般財源
		市	県社協	市	県社協	補助金等	
				571,420			213,840
事業概要	<p>障がい者等の日中における活動の場を確保し、身体障がい者の家族の就労支援及び身体障がい者を日常的に介護している家族の一時的な負担軽減を目的とする。</p> <p>(1) 実施場所／志和池福祉センター (2) 営業日／火曜日 (3) 営業時間／8：15～17：00 (4) サービス提供時間／9：30～14：45 (5) 定員／5名</p>						
事業内容	<p>【実施した事業内容及び実績】 日中一時支援事業（火曜日のみ実施）</p> <p>○事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本事業（健康チェック、機能訓練、社会適応訓練、創作的活動等） ・レクリエーション、入浴サービス、介護サービス、送迎サービス <p>※社会適応訓練として パソコン学習、創作的活動、趣味活動の実施</p> <p>※屋外活動として 石山観音池公園へ花見観賞 かかし村（山田）へ見学 買い物ツアー（イオンショッピングセンターほか） ランチバイキング</p> <p>○利用実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間延べ利用人数 115名 ・登録数 3名 ・年間サービス日数 51日 						
事業成果	<p>加齢や障害症状の悪化による身体能力の低下、重度化などから通所活動の維持に困難なケースも出てきたが、パソコンの学習、趣味活動やテキストを用いた英語の自主学習に継続して取組みをされている。屋外活動では、石山観音池公園へ花見や一堂ヶ丘公園へのかかし村祭り見学などにも出かけ季節感を味わう取組みもできた。「大人の遠足」と題した週に1度の外出の機会、他者との交流や情報交換が積極的に行うことができ生き生きとした1日を過ごしておられる。今後も閉じこもりがちな日常生活に変化をつけ、自立と社会参加が促進されるように新たなレク活動・創作活動などにも力を入れて支援していきたい。</p>						

事業区分 法人運営 地域福祉 相談支援 **在宅福祉**
 事業種類 **受託事業** 補助事業 公益事業 自主事業 その他 ()

実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	4-04						
事業名	地域生活移動支援事業												
決算額 (単位：円)	154,290	左の財源内訳											
		補助金			受託金		その他の	一般財源					
		市	県社協	市	県社協	補助金等							
				154,290									
事業概要	国土交通省運輸局指針に基づく福祉有償運送サービスとして、九州運輸局宮崎運輸支局及び都城市福祉有償運送運営協議会の認可を得て行うサービスであり、障がい者の地域生活支援事業として、外出介助（社会参加等）を行うもの。												
事業内容	【実施する事業内容：本所】												
	・利用者の研修会、文化活動、買い物などの外出支援。 市の受給者証の決定内容により派遣 身体介護〔有〕車いす等の必要な方への支援 身体介護〔無〕視覚、知的、精神障がい者への支援												
	【諸会議など】												
	・訪問介護事業会議 1回/月 ・ヘルパーミーティング 1回/週 ・都城市自立支援型地域ケア会議 随時開催/年												
	【研修など】												
	・職員研修（年6回） ・施設等連絡会 在宅部会の研修等に積極的に参加												
	【その他】・平成29年度 福祉有償運送サービス運転従事者養成講習会												
	【利用実績】												
	※地域生活支援事業												
	実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
利用者数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
請求時間数	1	1	2.5	1.5	1.5	1	1.5	1.5	1	1	1.5	1	16
※福祉有償移送サービス事業													
実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
活動件数 (片道)	25	24	36	32	30	26	26	26	21	18	26	18	308
移送距離 (km)	194	168	268	256	245	173	163	190	175	143	242	141	2,358
事業成果	障がい者等の日常的な買い物等の支援を行うことで、地域における障がい者の行動範囲が広がり、自立した生活を送ることができた。運転従事者へのスキルアップのために「福祉有償運送サービス運転従事者養成講習会」を計画的に受講させた。												

事業区分 法人運営 地域福祉 相談支援 **在宅福祉**
 事業種類 受託事業 補助事業 公益事業 **自主事業** その他 ()

実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	5-01
事業名	訪問介護事業						
決算額 (単位：円)	79,629,681	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の	一般財源
		市	県社協	市	県社協	補助金等	
事業概要	<p>介護保険法に基づき、常に介護を必要とする「要介護」の認定を受けた人や、介護予防・日常生活支援総合事業（新しい総合事業）の対象者への「総合事業訪問介護」や地域包括支援センターの職員による「事業対象者」認定者にホームヘルパーを派遣して、その能力に応じた居宅における日常生活が営めるように身体介護、生活援助等を実施する。</p>						
事業内容	<p>【実施した事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問介護、総合事業訪問介護 						
	<p>【諸会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問介護事業会議：1回/月 ヘルパーミーティング：1回/週 						
	<p>【研修等】・介護ヘルパー研修：4回/年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要介護施設従事者等による高齢者虐待防止講習会 ・認知症ケアマネジメントセミナー ・ホームヘルパー研修（県社協主催） ・認知症ケアに必要な基礎知識と考え方 						
	<p>【その他】・H29 県介護福祉士養成支援事業補助金交付（国家資格取得者）1人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都城市生活お助けサービス（訪問型サービス B）従事者養成講習への講師派遣（4回） 						
<p>【利用実績】 ※訪問介護事業</p>				<p>※総合事業訪問介護</p>			
サービス内容	年間利用者数	延訪問回数	延訪問時間	サービス内容	年間利用者数	延訪問回数	延訪問時間
身体介護		3,956	2,868	I (週1回程度)		1,878	1,863
身体生活援助		2,026	3,055	II (週2回程度)		1,765	1,774
生活援助		15,180	13,572	III (週3回以上)		780	834
乗降介護		22	11				
計	1,131	21,184	19,506	計	680	4,423	4,471
平成29年度 新規37件、廃止24件							
事業成果	<p>要支援1, 2の認定者や軽度の訪問介護利用希望者は、地域包括支援センター職員の判断により介護予防・生活支援サービス事業（訪問型サービス）に移行している。年間利用者数は、増加しているが、訪問回数や訪問時間は減少傾向である。</p> <p>在宅福祉係として組織の一本化を実施し体制を整え、障害者福祉サービスとも一体的な職員運用をさらに徹底して効率的、広域的なサービス支援を行いたい。また、昨年に引き続き、宮崎県介護福祉士養成支援事業（実務者研修補助金）を積極的に活用し、登録ヘルパー等の介護福祉士国家試験の受験等支援を行い、事業所の中核的介護人材の確保と介護従事者のキャリアアップに取り組んだ。介護予防・日常生活総合事業の今後の流れに注視した事業展開を図っていきたい。</p>						

事業区分 法人運営 地域福祉 相談支援 **在宅福祉**
 事業種類 受託事業 補助事業 公益事業 **自主事業** その他 ()

実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	5-02																																									
事業名	訪問入浴介護事業																																															
決算額 (単位：円)	2,919,690	左の財源内訳																																														
		補助金			受託金		その他の	一般財源																																								
		市	県社協	市	県社協	補助金等																																										
							2,919,690																																									
事業概要	<p>要介護状態となった高齢者が、可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ、自立した日常生活を営む事ができるよう、看護師・ホームヘルパーを派遣して、自宅に浴槽を運び入浴の援助を行う事によって、利用者の身体の清潔保持、心身機能の維持等を図る。</p>																																															
事業内容	<p>【実施した事業内容】</p> <p>○移動入浴車にて自宅での入浴ケアを行う (看護師1名、ヘルパー2名)</p> <p>○訪問入浴車(軽自動車：2台)</p>																																															
	<p>【諸会議】</p> <p>○ホームヘルパーとのミーティング 1回/週</p> <p>○訪問介護事業と連携して事業会議に参加 1回/月</p>																																															
	<p>【研修等】</p> <p>○訪問入浴にて狭い空間でのベッドから浴槽への移乗</p> <p>○接遇とベッドでの移乗方法</p> <p>○認知症講演会</p>																																															
	<p>【その他】</p> <p>【実績】 派遣回数(年間)</p> <p>利用者 (延人数) 74人</p> <p>派遣回数 (延回数) 273回</p>																																															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>実施月</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世帯</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>74</td> </tr> <tr> <td>回数</td> <td>10</td> <td>14</td> <td>12</td> <td>18</td> <td>22</td> <td>19</td> <td>18</td> <td>18</td> <td>19</td> <td>25</td> <td>43</td> <td>55</td> <td>273</td> </tr> </tbody> </table> <p>平成29年度 新規 9件、廃止 2件</p>							実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	世帯	3	5	5	6	6	5	5	5	6	6	11	11	74	回数	10	14	12	18	22	19	18	18	19	25	43	55
実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計																																			
世帯	3	5	5	6	6	5	5	5	6	6	11	11	74																																			
回数	10	14	12	18	22	19	18	18	19	25	43	55	273																																			
事業成果	<p>介護度も高く、身体状態の変化が激しいために、突然のキャンセルや入院・入所になることも多かった。しかしながら、年度末に訪問入浴介護事業所が閉鎖したために利用者の移管を受けて利用者や派遣回数が一転増加した。</p> <p>ターミナルケアの考え方や地域包括ケアシステムの導入が進む観点からも、今後さらに訪問入浴サービス事業の重要性・必要性が予測されるために、老朽化した車両の入れ替えも検討し、安心安全なサービス遂行を目指したい。</p>																																															

事業区分 法人運営 地域福祉 相談支援 **在宅福祉**
 事業種類 受託事業 補助事業 公益事業 **自主事業** その他 ()

実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	5-03							
事業名	居宅介護支援事業													
決算額 (単位：円)	64,234,178	左の財源内訳												
		補助金		受託金		その他の	一般財源							
		市	県社協	市	県社協	補助金等								
							64,234,178							
事業概要	利用者の心身の状況、置かれている環境等を把握したうえで居宅介護サービス及びその他の必要な保健医療サービス、福祉サービスが総合的かつ効率的に提供されるよう配慮して、居宅介護サービス計画を作成する。													
事業内容	<p>【実施した事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・居宅介護支援（ケアプラン）・介護予防プラン業務受託 ・介護保険申請事務等の代行、住宅改修・福祉用具購入等申請 ・介護認定調査（生活保護世帯 64 歳未満）業務受託 ・介護認定調査（県外・県内：保険者外）業務委託 <p>【諸会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅福祉課（居宅介護支援係）ミーティング 1 回／月 ・特定事業所加算算定会議 1 回／週 ・包括連絡協議会（生活圏域包括） 1 回／2 か月（4. 6. 8. 10. 12. 2） ・入退院調整ルール策定事業 2 回／年（10. 11） <p>【研修等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者虐待防止研修会 11. 12 月 ・ケアマネジメント標準化手法に関する研修会 12 月 ・在宅医療、介護連携に関する研修会（県、市） 9. 11. 12 月（同月内複数回あり） ・介護支援専門員研修会（都城市） 12 月 ・介護保険事業所説明会：地域ケア会議・総合事業他（市） 3 月 ・日本介護支援専門員協会 九州・沖縄ブロック研修（熊本） 2 月 ・地域で支える看取り（医療・介護連携推進協議会）2 月（2 会場） ・介護保険改正講座（県介護支援専門員協会） 3 月 ・集団指導（都城市開催） 3 月 ・主任介護支援専門員意見交換会（都城市） 3 月 ・在宅福祉課研修（A E D） 4 月 <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護認定調査： 63 件（生活保護：29 件・県外：21 件） ・ケアプラン作成（要介護）数（利用者） 延べ 3, 335 件 ・介護予防プラン作成（要支援）数（利用者） 延べ 359 件 													
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
	介護	300	304	291	289	284	281	279	274	269	261	256	247	3, 335
支援	27	28	28	25	26	26	26	30	32	39	37	35	359	
事業成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネ専従 13 名で従事。主任ケアマネ（5 名：うち 1 名は H28 年度研修受講済み） ・ケアプラン数は年間を通して平均値を推移できるように、病院や包括に新規の確保など努力は行った。しかし、統合したことで、南部側（元本所管轄）は、利用者宅から距離があり、すぐ訪問できないのではという、利用者の思いから紹介も少ない傾向であった。利用者の入院・所、逝去で減収となっている。 ・主任ケアマネがいる事で特定事業所加算（Ⅱ）を取得できる。算定要件を満たすため、一人一人がケアマネの質の向上を目指した。統合したことで、ケアマネの人数が増え、プラン数も増えたため、減算や算定要件を満たさない状況になれば、莫大な損害となる。そのため、個々のケアマネも意識を持って業務にあたった。また、事業所内でのプラン他書類のチェックを随時行うように心がけ、質の統一・向上を目指せるように心がけた。ただ、移動範囲が拡大したことで、効率的な業務遂行が行えたかの不安は残る。 													

事業区分 法人運営 地域福祉 相談支援 **在宅福祉**
 事業種類 受託事業 補助事業 公益事業 **自主事業** その他 ()

実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No. 5-04
事業名	通所介護事業①（本所）					
決算額 (単位：円)	182,444,162	左の財源内訳				
		補助金		受託金		その他の
		市	県社協	市	県社協	補助金等
						182,444,162
事業概要	<p>要介護者等の心身の特性を踏まえて、その利用者が可能な限り能力に応じた自立した日常生活を営むことができるよう、又、社会的孤立感の解消及び心身機能の維持並びに家族の身体的、精神的負担の軽減を図るために事業を実施する。また、介護保険法改正に伴い、介護予防事業から移行した介護予防・日常生活支援総合事業（通所型サービス）・総合事業通所介護を行う。</p> <p>営業日：月～金（含祝日） 営業時間：8：15～17：00 利用定員：1日40人</p>					
事業内容	<p>【実施した事業内容及び実績：本所】</p> <p>①指定通所介護事業 ○事業内容 ・基本事業（健康チェック、個別機能訓練、生活機能訓練、創作的活動等） ・レクリエーション・入浴サービス・介護サービス・送迎サービス ○利用実績 ・年間延べ利用人数 4, 802名 ・年間サービス日数 256日</p> <p>②総合事業通所介護事業 ○事業内容 ・基本事業（健康チェック、運動器機能向上、創作的活動等） ・レクリエーション・入浴サービス・介護サービス・送迎サービス ○使用実績 ・年間延べ利用人数 2, 537名 ・年間サービス日数 256日</p> <p>③その他 ・園児や各種団体による踊り披露 ・教育職員免許法に基づく実習生や中学生等によるボランティア訪問受入 ・「しわちの里だより」 年12回発行</p>					
事業成果	<p>デイサービスだよりやチラシを作成して、積極的に居宅介護支援事業所等にPR活動を行って体験利用から新規利用へとつなげることができた。一方で、長年利用されてきた方々が高齢になり、入院や高齢者施設等の入所等で利用者の減少も続いている。1日の平均利用者は29人程度であり順調に運営できた。理由としては、利用者の身体機能維持向上を目指すべく機能訓練指導員が複数の機能訓練メニューを準備し、利用者や家族、担当ケアマネ等が望むサービスの提供に取り組むことができたことがあげられる。また、生活相談員を中心に生活上の相談・助言・健康状態確認等の日常生活のサポートも行った。職員も研修、ミーティング等も随時実施し、修得したことを活かし利用者の自立支援とご家族の精神的、体力的な負担を軽減できるよう常に意識を持ち生活機能の維持、向上のサポートができた。今後も利用者の満足度を高められるよう医療・福祉サービスの関係機関と連携を図り、地域資源を活用しながら、日中一時サービスや元気アップデイサービス事業の利用者との交流ができる等特色ある施設、選ばれる事業所を目指していきたい。</p>					

事業区分 法人運営 地域福祉 相談支援 **在宅福祉**
 事業種類 受託事業 補助事業 公益事業 **自主事業** その他 ()

実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	5-04
事業名	通所介護事業②（山之口）						
決算額 (単位：円)	通所介護事業 (合算)	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の 補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
事業概要	<p>要介護者等の心身の特性を踏まえて、その利用者が可能な限り能力に応じた自立した日常生活を営むことができるよう、又、社会的孤立感の解消及び心身機能の維持並びに家族の身体的、精神的負担の軽減を図るために事業を実施する。また、介護保険法改正に伴い、介護予防事業から移行した介護予防・日常生活支援総合事業（通所型サービス）・総合事業通所介護を行う。</p> <p>営業日：月～土、(含祝日) 営業時間：8：15～17：00 利用定員：1日24人</p>						
事業内容	<p>【実施した事業内容及び実績】</p> <p>①指定通所介護事業</p> <p>○事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本事業（健康チェック、個別機能訓練、生活機能訓練、創作的活動等） ・レクリエーション・入浴サービス・介護サービス・送迎サービス <p>○利用実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間延べ利用人数 3,936名 ・年間サービス日数 310日 <p>②総合事業通所介護事業</p> <p>○事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本事業（健康チェック、運動器機能向上、創作的活動等） ・レクリエーション・入浴サービス・介護サービス・送迎サービス <p>○使用実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間延べ利用人数 476名 ・年間サービス日数 310日 <p>③その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誕生会（6月・9月・12月・3月） ・自衛消防訓練 2回（11月・2月） 						
事業成果	<p>利用者の高齢化が進み、死亡・入院・施設入所等により毎年変動があり、新規利用者の確保が厳しい状況にある。このことから利用者に毎日でも行きたい！！と思わせる雰囲気作りに取り組んだ。さらに、一年間の出来事のアルバムを作成し利用者へ配布することで家族からも好評であった。今後も家族や担当ケアマネ・包括支援センター等と連携を深め、利用者増を目指したデイサービスの運営に努めていく。</p>						

事業区分 法人運営 地域福祉 相談支援 **在宅福祉**
 事業種類 受託事業 補助事業 公益事業 **自主事業** その他 ()

実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	5-04
事業名	通所介護事業③ (山田)						
決算額 (単位:円)	通所介護事業 (合算)	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の 補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
事業概要	<p>要介護者等の心身の特性を踏まえて、その利用者が可能な限り能力に応じた自立した日常生活を営むことができるよう、又、社会的孤立感の解消及び心身機能の維持並びに家族の身体的、精神的負担の軽減を図るために事業を実施する。また、介護保険法改正に伴い、介護予防事業から移行した介護予防・日常生活支援総合事業（通所型サービス）・総合事業通所介護を行う。</p> <p>営業日：月～金（含祝日） 営業時間：8：30～17：15 利用定員：1日30人</p>						
事業内容	<p>【実施した事業内容及び実績】</p> <p>①指定通所介護事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・基本事業（健康チェック、個別機能訓練、生活機能訓練、創作的活動等） ・レクリエーション・入浴サービス・介護サービス・送迎サービス ○利用実績 <ul style="list-style-type: none"> ・年間延べ利用人数 3,352名 ・年間サービス日数 256日 <p>②総合事業通所介護事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・基本事業（健康チェック、運動器機能向上、創作的活動等） ・レクリエーション・入浴サービス・介護サービス・送迎サービス ○使用実績 <ul style="list-style-type: none"> ・年間延べ利用人数 1,458名 ・年間サービス日数 256日 <p>③その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園児や各種団体による踊り披露 ・個人や中学生等によるボランティア訪問受入 						
事業成果	<p>昨年度に比べると利用者の数が69名の増加となった。ここ数年の減少傾向に歯止めがかかったのかは即断できないが、関係機関やケアマネ等に声掛けをしたり、利用者が新規の方に声掛けをしてくださった結果と思われる。</p> <p>但し、利用者の身体的なレベルの低下及び認知症の方の増加で、機能低下した利用者が増加している。ヒヤリ、ハット等を含め事故が心配である。スタッフの充実も図っていく必要がある。今後も活用内容の充実を図り、利用者に寄り添い自立した日常生活ができるよう、可能な限り業務改善を行っていきたい。</p>						

事業区分 法人運営 地域福祉 相談支援 **在宅福祉**
 事業種類 受託事業 補助事業 公益事業 **自主事業** その他 ()

実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	5-04
事業名	通所介護事業④（高崎）						
決算額 (単位：円)	通所介護事業 (合算)	左の財源内訳					
		補助金		受託金		介護保険 等収入	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
事業概要	<p>要介護者等の心身の特性を踏まえて、その利用者が可能な限り能力に応じた自立した日常生活を営むことができるよう、又、社会的孤立感の解消及び心身機能の維持並びに家族の身体的、精神的負担の軽減を図るために事業を実施する。また、介護保険法改正に伴い、介護予防事業から移行した介護予防・日常生活支援総合事業（通所型サービス）・総合事業通所介護を行う。</p> <p>営業日：月～金（含祝日） 営業時間：8：30～17：15 利用定員：1日20人</p>						
事業内容	<p>【実施した事業内容及び実績】</p> <p>①指定通所介護事業</p> <p>○事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本事業（送迎サービス、入浴サービス、介護サービス、健康チェック等）レクリエーション、創作活動、誕生会 <p>○利用実績</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間延べ利用人数 2,032名 年間開所日数 256日 <p>②総合事業通所介護事業</p> <p>○事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本事業（送迎サービス、入浴サービス、介護サービス、健康チェック等）レクリエーション、創作活動、誕生会 <p>○利用実績</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間延べ利用人数 1,130名 年間開所日数 256日 <p>③その他</p> <p>【会議】</p> <p>利用者のサービス担当者会議を随時実施</p>						
事業成果	<p>利用状況については、死亡・入院（長期）他施設への入所等により減少傾向である。介護保険申請中や要支援・要介護状態の方へ1日体験（食事代390円）を提供している。</p> <p>今後も担当ケアマネや本人、家族と連携を図りながら、研修等への参加を増やし、最新の技術を習得して利用者の希望に添えるような対応ができるようにしたい。</p>						

事業区分 法人運営 地域福祉 相談支援 **在宅福祉**
 事業種類 **受託事業** 補助事業 公益事業 自主事業 その他 ()

実施箇所	本所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	5-05
事業名	元気アップデイサービス事業①（本所）						
決算額 (単位：円)	2,544,306	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の 補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
							2,544,306
事業概要	<p>身体の虚弱な高齢者に対し、老人デイサービスにおける便宜の供与を行い、高齢者の自立した生活の継続を可能にするとともに、要介護状態への進行を防止する為に自立支援を目的とした生活機能訓練及び社会交流の場の提供として、身体機能の向上のための機能訓練、調理や掃除、洗濯といった生活機能向上のためのトレーニングその他介護予防のために必要と認められる日常生活支援を行う。</p> <p>・定員5名/日</p>						
事業内容	<p>【実施した事業内容及び実績：本所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間延べ利用人数 12名 ・年間サービス日数 51日 <p>【サービス内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康チェック ・給食サービス ・入浴サービス ・送迎サービス ・日常動作訓練 ・相談、援助等の生活指導 						
事業成果	<p>「生きがい活動支援通所事業」にかわる事業として2年目を迎えたが、利用後に週2回利用以上を希望される方が多く、事業対象者として「総合事業通所型」の利用に変わる傾向が代わるほとんどである。そのために、想定していたより利用者増は見込めなかった。</p> <p>サービス内容としては、バイタルチェック体操や運動を通じて機能低下予防の訓練や趣味活動（パズル、ゲームなど）を継続して身体機能の維持向上に努めることができた。創作活動等の機能向上レクリエーションについても、利用者間でアイデアを出し合って季節感のある作品を作りだし、完成後の達成感をともに喜ぶことができ日常生活への意欲を持てる取り組みができた。</p> <p>今後は、利用者の個別機能を考慮し取り組めるようなメニューの開発や関係機関と連携しながら事業を進めていきたい。</p>						

事業区分 法人運営 地域福祉 相談支援 **在宅福祉**
 事業種類 **受託事業** 補助事業 公益事業 自主事業 その他 ()

実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	5-05					
事業名	元気アップデイサービス事業②（山之口）											
決算額 (単位：円)	元気アップ デイサービス事 業（合算）	左の財源内訳										
		補助金		受託金		その他の 補助金等	一般財源					
		市	県社協	市	県社協							
事業概要	<p>身体の虚弱な高齢者に対し、老人デイサービスにおける便宜の供与を行い、高齢者の自立した生活の継続を可能にするとともに、要介護状態への進行を防止する為に自立支援を目的とした生活機能訓練及び社会交流の場の提供として、身体機能の向上のための機能訓練、調理や掃除、洗濯といった生活機能向上のためのトレーニングその他介護予防のために必要と認められる日常生活支援を行う。</p> <p>・定員 6 名／日</p>											
事業内容	<p>【実施した事業内容及び実績：山之口】</p> <p>健康チェック、機能訓練、生きがい・趣味活動、レクリエーション、入浴サービス、食事サービス 送迎サービス</p> <p>延利用者数 406 名（前年度 501 名）</p>											
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
	35	35	31	32	32	27	39	33	36	40	35	31
事業成果	<p>利用者が高齢のために、介護認定され施設入所や入院等により年々減少傾向にあることから、利用者のニーズあったプログラムを作成している。今後はさらにひばり苑で生きがいのある生活を送ることができるよう全職員が情報を共有するとともに、地域包括支援センターとの連携を深めていく。</p>											

事業区分 法人運営 地域福祉 相談支援 **在宅福祉**
 事業種類 **受託事業** 補助事業 公益事業 自主事業 その他 ()

実施箇所	本所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	5-05				
事業名	元気アップデイサービス事業③(山田)										
決算額 (単位:円)	元気アップ デイサービス事 業(合算)	左の財源内訳									
		補助金			受託金		その他の 補助金等	一般財源			
		市	県社協	市	県社協						
事業概要	<p>身体の虚弱な高齢者に対し、老人デイサービスにおける便宜の供与を行い、高齢者の自立した生活の継続を可能にするとともに、要介護状態への進行を防止する為に自立支援を目的とした生活機能訓練及び社会交流の場の提供として、身体機能の向上のための機能訓練、調理や掃除、洗濯といった生活機能向上のためのトレーニングその他介護予防のために必要と認められる日常生活支援を行う。</p> <p>・定員5名/日</p>										
事業内容	<p>【実施した事業内容及び実績：山田】</p> <p>健康チェック、機能訓練、生きがい・趣味活動、レクリエーション、入浴サービス、食事サービス</p> <p>※現在、登録者は1名。</p>										
	<p>延利用者数 30名(前年度：25名)</p>										
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
4	3	0	0	2	3	3	3	3	3	3	3
事業成果	<p>山田支所は平成28年度よりこの事業に取り組んでいる。利用者にあったプログラムを作り、他の利用者と共にレクリエーションや行事活動を行うことで交流できた。今後も続けていきたい。</p> <p>利用者のニーズに応じられる生きがい作りをさらに検討していくとともに、地域包括支援センターとの連携を深めていく。</p>										

事業区分 法人運営 地域福祉 相談支援 **在宅福祉**
 事業種類 **受託事業** 補助事業 公益事業 自主事業 その他 ()

実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	5-05																								
事業名	元気アップデイサービス事業④（高崎）																														
決算額 (単位：円)	元気アップ サービス事 業（合算）	左の財源内訳																													
		補助金		受託金		介護保険等 収入	一般財源																								
		市	県社協	市	県社協																										
事業概要	<p>身体の虚弱な高齢者に対し、老人デイサービスにおける便宜の供与を行い、高齢者の自立した生活の継続を可能にするとともに、要介護状態への進行を防止する為に自立支援を目的とした生活機能訓練及び社会交流の場の提供として、身体機能の向上のための機能訓練、調理や掃除、洗濯といった生活機能向上のためのトレーニングその他介護予防のために必要と認められる日常生活支援を行う。</p> <p>・定員10名/日</p>																														
事業内容	<p>【実施した事業内容及び実績：高崎】</p> <p>○元気アップデイサービス事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間延べ利用人数 31名 ・年間サービス日数 31日 <p>【サービス内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康チェック ・給食サービス ・入浴サービス ・送迎サービス ・日常動作訓練 ・相談、援助等の生活指導 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td><td>9月</td><td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td> </tr> <tr> <td>4</td><td>1</td><td>3</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td> </tr> </table>							4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4	1	3	4	4	4	4	3	2	1	1	0
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																				
4	1	3	4	4	4	4	3	2	1	1	0																				
事業成果	<p>元気アップデイサービス事業は利用のための調査等が煩雑であることで、利用の調査等が簡潔な総合事業の「通所型」の利用を選択される方が多い状況にある。今後、地域の民生委員や高齢者クラブ、地域包括支援センターとも更なる連携を深め、地域住民への制度周知に努めたい。</p>																														

事業区分 法人運営 地域福祉 相談支援 **在宅福祉**
 事業種類 **受託事業** 補助事業 公益事業 自主事業 その他()

実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	5-06							
事業名	山田元気な高齢者健康増進センター管理運営事業(健康の館)													
決算額 (単位:円)	左の財源内訳													
	補助金		受託金		その他の	一般財源								
	市	県社協	市	県社協	補助金等									
			8,347,000			1,149,803								
事業概要	<p>元気で自立した生活を送っている高齢者が、加齢とともに体力の衰えにより要介護状態になることを予防するため、介護予防施設である「健康の館」において、バイタルチェック、レクリエーション、温泉センター利用による入浴、健康器具の使用等による介護予防事業を行う。</p> <p>H25.4より、利用者を市全域として事業展開をしている。</p>													
事業内容	<p>【実施した事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護認定のない高齢者に対し、バスで送迎し施設の利用、各地区のとりまとめ担当者からの連絡を受け、昼食の予約などを行い事業展開 ・利用者アンケート調査(満足度、ご意見) ・民生児童委員等に事業のPR ・脳トレ用品の充実、都城弁ラジオ体操の実施、カラオケ機器の整備 <p>【諸会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政、社協との協議・・・随時 <p>【実績】 利用件数、参加人員など</p>													
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	H27	439	441	464	473	424	441	443	439	477	412	461	477	5,391
	H28	448	416	463	428	420	413	429	425	456	430	452	452	5,232
H29	443	404	453	408	400	412	416	398	401	407	386	427	4,955	
事業成果	<p>元気な高齢者の生きがいと健康維持向上のために、介護予防メニューに取組み「都城弁ラジオ体操」「介護予防体操」「脳トレ」を積極的に取組んだ。今年度は、旧都城市内が庄内地区、横市地区、西岳地区、中郷地区に加え新たに小松原地区、五十市地区からの利用者が増えたが、山田町内の利用者が減少傾向にあり、全体としては昨年度の利用者より277名減った。山田町内の山間地の利用者減が大きく旧都城市内の利用者増がそれをカバーしきれていない。この傾向は今後も続くと思われるので、今後、旧都城市内の利用者増の対策を検討していく必要がある。市の年間利用人数は5,400名を限度としているので、計画的な調整も必要になるとと思われる。</p>													

事業区分 法人運営 地域福祉 相談支援 **在宅福祉**
 事業種類 **受託事業** 補助事業 公益事業 自主事業 その他 ()

実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	5-07																								
事業名	食の自立支援事業①（山之口）																														
決算額 (単位：円)	23,937,388	左の財源内訳																													
		補助金		受託金		その他の 補助金等	一般財源																								
		市	県社協	市	県社協																										
				11,540,128			12,397,260																								
事業概要	<p>在宅で調理が困難な1人暮らし高齢者や老夫婦に対して、栄養バランスのとれた食事を届けるとともに安否確認を行う。いつまでも住み慣れた自宅で暮らしが出来るための一助とする。山之口・高城地区を事業エリアとしている。</p>																														
事業内容	<p>【実施した事業内容：山之口】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通所介護事業従事調理員が調理して、利用者宅に配達している。利用者の嗜好を考慮し、希望に沿うようにしている。 ・個人対応として、「きざみ食・一口大」 苦手な食材を工夫して提供している。 <p>【研修等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デイサービス職員との合同ミーティング 月1回 ・配食サービス事業所合同研修（年2回） ・調理師研修 ・配食サービス事業所意見交換会（市役所） <p>【実績】</p> <p>○配食実績 延数 7, 1 1 8食（前年度 7, 4 6 7食）</p> <table border="1"> <tr> <td>4月</td><td>5月</td><td>6月</td><td>7月</td><td>8月</td><td>9月</td><td>10月</td><td>11月</td><td>12月</td><td>1月</td><td>2月</td><td>3月</td> </tr> <tr> <td>582</td><td>634</td><td>617</td><td>604</td><td>617</td><td>606</td><td>612</td><td>627</td><td>574</td><td>536</td><td>516</td><td>593</td> </tr> </table>							4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	582	634	617	604	617	606	612	627	574	536	516	593
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																				
582	634	617	604	617	606	612	627	574	536	516	593																				
事業成果	<p>1人暮らしの高齢者や高齢者夫婦が、在宅で自立し、安定した生活を継続していくために、バランスのとれた食事や糖尿病、アレルギー体質の方への食事メニューの提供を心がけている。</p> <p>安否確認を兼ねて実施し、異常を発見した場合は家族や包括支援センター、ケアマネに報告するなど関係機関との連携を徹底している。</p>																														

事業区分 法人運営 地域福祉 相談支援 **在宅福祉**
 事業種類 **受託事業** 補助事業 公益事業 自主事業 その他 ()

実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	5-07							
事業名	食の自立支援事業② (山田)													
決算額 (単位:円)	食の自立支援 事業 (合算)	左の財源内訳												
		補助金			受託金		その他の 補助金等	一般財源						
		市	県社協	市	県社協									
事業概要	<p>在宅で調理が困難な1人暮らし高齢者や老夫婦に対して、栄養バランスのとれた食事を届けるとともに安否確認も行う。いつまでも住み慣れた在宅暮らしを継続するための一助とする。山田地区を事業エリアとしている。</p>													
事業内容	<p>【実施した事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昼食のみを月曜日から金曜日に実施。毎日約11食を調理し配食。調理はデイサービスセンターにて行い、配達は調理職員(パート)2名で行っている。 1食 利用料金400円 市受託金 1食 628円 1日平均 8食 ・飲食店営業許可 (H24.8.14~H30.8.31まで) <p>【実績】配食件数(昼食のみ)</p>													
	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
	H27	93	89	85	98	116	116	90	84	105	102	83	91	1,152
	H28	86	95	93	94	146	157	144	160	137	124	134	157	1,527
	H29	120	129	132	126	155	132	130	130	98	112	116	125	1,505
事業成果	<p>デイサービスの栄養士による献立で高齢者の健康に配慮し、かつ嗜好に応じた食事を提供した。利用者の要望により、食事の内容を食べやすく(きざみ、おかゆ)また、病気、薬による食物摂取制限等のある方に対しても配慮したサービスを行った。利用者の安否確認にも配慮し、家族や関係機関との連携に努めた。</p> <p>前年度は昨年度比べ需要が増え利用者が増加し374食増えたが、本年度は後半になって利用者の施設入所等があり、22食減となった。</p>													

事業区分 法人運営 地域福祉 相談支援 **在宅福祉**
 事業種類 **受託事業** 補助事業 公益事業 自主事業 その他 ()

実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	5-07																																																																																							
事業名	食の自立支援事業③ (高崎)																																																																																													
決算額 (単位:円)	食の自立支援 事業 (合算)	左の財源内訳																																																																																												
		補助金			受託金		利用料収入	一般財源																																																																																						
		市	県社協	市	県社協																																																																																									
事業概要	在宅で調理が困難な1人暮らし高齢者や老夫婦に対して、栄養バランスのとれた食事を届けるとともに安否確認も行う。いつまでも住み慣れた在宅暮らしを継続するための一助とする。																																																																																													
事業内容	【実施した事業内容】 ・食関連サービスの利用調整 ・配食サービス（昼食・夕食）の実施に関すること ・高齢者に適した食事形態（個人対応⇒きざみ食、ミキサー食、減塩食など） ・安否確認、緊急時の他職種との連携 【研修など】 ・都城市主催の研修並びに意見交換会 ・県社協主催研修への参加（感染症、高齢者コミュニケーション等） 【実績】 平成29年度年間配食別事業実績表（昼食・夕食）																																																																																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目 \ 月</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> <th>9</th> <th>10</th> <th>11</th> <th>12</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数</td> <td>63</td> <td>63</td> <td>61</td> <td>57</td> <td>56</td> <td>52</td> <td>48</td> <td>47</td> <td>47</td> <td>48</td> <td>44</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>配食数</td> <td>903</td> <td>1,008</td> <td>961</td> <td>873</td> <td>930</td> <td>833</td> <td>797</td> <td>755</td> <td>706</td> <td>658</td> <td>633</td> <td>696</td> </tr> <tr> <td>実施日数</td> <td>20</td> <td>23</td> <td>22</td> <td>21</td> <td>23</td> <td>21</td> <td>22</td> <td>22</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>1日平均配食数</td> <td>45.15</td> <td>43.83</td> <td>43.68</td> <td>41.57</td> <td>40.43</td> <td>39.67</td> <td>36.23</td> <td>34.32</td> <td>35.30</td> <td>32.90</td> <td>31.65</td> <td>31.64</td> </tr> <tr> <td>昼(弁当)</td> <td>278</td> <td>340</td> <td>334</td> <td>314</td> <td>382</td> <td>325</td> <td>280</td> <td>232</td> <td>219</td> <td>232</td> <td>207</td> <td>215</td> </tr> <tr> <td>夜(弁当)</td> <td>625</td> <td>668</td> <td>627</td> <td>559</td> <td>548</td> <td>508</td> <td>517</td> <td>523</td> <td>487</td> <td>426</td> <td>426</td> <td>481</td> </tr> </tbody> </table>	項目 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	利用者数	63	63	61	57	56	52	48	47	47	48	44	43	配食数	903	1,008	961	873	930	833	797	755	706	658	633	696	実施日数	20	23	22	21	23	21	22	22	20	20	20	22	1日平均配食数	45.15	43.83	43.68	41.57	40.43	39.67	36.23	34.32	35.30	32.90	31.65	31.64	昼(弁当)	278	340	334	314	382	325	280	232	219	232	207	215	夜(弁当)	625	668	627	559	548	508	517	523	487	426	426	481	・利用者数/629人 ・1日平均配食数/38.10食	・配食数/9,753食 ・昼(弁当)/3,358食
項目 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3																																																																																		
利用者数	63	63	61	57	56	52	48	47	47	48	44	43																																																																																		
配食数	903	1,008	961	873	930	833	797	755	706	658	633	696																																																																																		
実施日数	20	23	22	21	23	21	22	22	20	20	20	22																																																																																		
1日平均配食数	45.15	43.83	43.68	41.57	40.43	39.67	36.23	34.32	35.30	32.90	31.65	31.64																																																																																		
昼(弁当)	278	340	334	314	382	325	280	232	219	232	207	215																																																																																		
夜(弁当)	625	668	627	559	548	508	517	523	487	426	426	481																																																																																		
事業成果	一人暮らしの方々にとっては、配食を利用することで食事の提供と合わせて、安否確認、または会話が出来る時間として喜ばれている。また、一食で多くの食材(品目)を摂ることができ、健康管理の面での一助となっている。利用者の状況、健康状態の変化等、気づいたことは担当ケアマネージャー等や家族に伝えるようにし、連携を心掛けた。配達時に利用者から相談を受けた時は、迅速に対応することが大切であると考えている。肉嫌い、魚嫌いの対応をすることで苦情は少ない。しかし、今年度は長く利用されていた毎日型の方が無くなったり、施設入所になったりで後半でかなりの利用減となった。新規利用者の確保が急がれる状況である。																																																																																													

事業区分 法人運営 地域福祉 **相談支援** 在宅福祉
 事業種類 **受託事業** 補助事業 **公益事業** 自主事業 その他 ()

実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	5-08
事業名	山之口・高城地区地域包括支援センター事業						
決算額 (単位：円)	43,140,254	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の 補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
				23,022,562			20,117,692
事業概要	<p>介護を必要とする高齢者等が住みなれた地域での生活を継続していけるように、介護、医療サービスを初めとする多様な支援を継続的かつ包括的に提供し、多様な相談を受け連絡・調整を行うワンストップサービスを実践する。地域ケア会議を活用し地域包括ケアの実現をしていく。</p> <p>○包括的支援事業</p> <p>①介護予防ケアマネジメント</p> <p>②総合相談支援業務</p> <p>③権利擁護事業</p> <p>④包括的・継続的ケアマネジメント業務</p> <p>⑤地域ネットワークの構築</p> <p>○介護予防支援および介護予防・日常生活支援総合事業第1種支援</p>						
事業内容	<p>【実施した事業内容】</p> <p>①介護予防ケアマネジメント： 実態把握やサロン活動等の状況に応じ、こけない体づくり講座や観音さくら温泉での運動教室等への参加を促した。また個人の把握だけでなく地域に足りない資源を把握することに努めている。</p> <p>②相談支援業務： 総合相談と必要に応じての対処(介護保険代行申請、高齢者実態把握事業)。関係機関への連絡、調整を行うことで総合相談対応を24時間365日体制で行っている。</p> <p>③権利擁護事業：虐待ケースなどにおいては介護保険課や警察等と連携をとりながら実施。後見制度の普及啓発に向けて成年後見ネットワーク会議への参加等を通じ、地域における後見制度の利用の促進をおこなっている。</p> <p>④包括的・継続的ケアマネジメント業務：介護支援専門員連絡協議会の運営及びネットワーク構築のための協議。ケアマネへの個別支援、サービス事業所からの相談対応。民生委員や地区社協との連携・協働</p> <p>⑤介護予防支援業務：要支援者および事業対象者に対する介護予防・日常生活総合事業に関するケアマネジメントの実施</p> <p>【諸会議】</p> <p>○山之口・高城地区介護支援専門員連絡会議：6回開催</p> <p>○民生委員意見交換会：24回(山之口地区：12回・高城地区：12回)</p> <p>○地域密着型通所運営推進会議：5回(山之口：2カ所・高城：3カ所)</p> <p>○地域包括支援センター連絡会議：12回 管理者会議 12回</p> <p>○包括支援センター・職種別会議：30回(社福:12回、成年後見 NW：13回・保健師・介護予防 12:回・主任 CM:12回)</p> <p>○障害者住宅改造判定委員会：2回</p> <p>【研修等】</p> <p>○県外：地域包括支援センター職員課題別研修 地域包括ケア会議運営にかかる実務者研修九州ブロック包括支援センター・在介センター協議会職員研修</p> <p>○県内：地域包括・在介職員研修・介護予防担当者研修ほか、</p> <p>○センター内研修：3回</p>						

<p>事業内容</p>	<p>【実績】○事業対象者実態把握事業 606回</p> <p>□介護予防ケアマネジメント業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石山温泉での運動教室（高城スポーツクラブおよび観音池温泉協働）を継続。 ・各種教室に参加されない方へは、実態把握時介護予防パンフレットでの、運動や栄養等の指導をおこなった。 ・かくしゃく100歳教室参加：血圧測定や健康相談、包括紹介。状況に応じ個別訪問、調整。 ・いきいきサロン参加：血圧測定や健康相談、包括紹介。状況に応じ個別訪問、調整。 ・温泉交流（青井岳温泉）：山之口地区（富吉・花木・山之口）各地区1回/月。血圧測定や健康相談、包括紹介。状況に応じ個別訪問、調整。 ・こけないからだづくり教室：住民説明会の実施、体力測定・目標設定・運動指導 ・保健指導、介護保険・包括説明 ・認知症コーディネーター養成研修の実施（山之口地区社協および麓小学校） <p>□総合相談支援業務</p> <p>相談実績延べ件数3524件で介護保険を含む総合相談支援に関するものが多い。 また、障がい者、特に精神疾患など65歳未満の方を含む相談もあり、ワンストップサービスの役割を担っている。</p> <p>□権利擁護事業</p> <p>経済的虐待へは日常生活自立支援事業や成年後見制度の利用検討を含め、家族や民生委員への説明、介護支援専門員等連絡会議での研修など啓発を行った。また、他の虐待も同様関係機関との調整を取り、包括やケアマネのみではなく、抱え込まないように心がけた。ケース会議などを通じ関係機関との連携を図りながら日常的な関係づくりを行っている。夜間・早朝対応も多い。</p> <p>□包括的・継続的ケアマネジメント業務</p> <p>介護支援専門員連絡会の存続・自発的な参加が行えるようにサポートを行った。また、困難なケース・疑問など一緒に模索し解決に至った。特に、1人ケアマネなど抱え込まないよう相談しやすい状況を心がけた。民生委員とも、定例会後の意見交換会の実施や相談時に即座に対応できるように、負担の軽減に努めていった。</p> <p>□介護予防・日常生活支援総合事業支援</p> <p>市主催の自立支援型地域ケア会議に月1回ペースで参加している。</p>
<p>事業成果</p>	<p>□介護予防ケアマネジメント業務：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石山観音池温泉での運動教室の実施なども定着し、初期の相談対応、介護予防の啓発および包括支援センターの周知につながっている。 <p>□権利擁護事業</p> <p>早急に対応できるように関係機関への連絡調整や個別ケース会議など行った。また、成年後見制度や日常生活自立支援事業の説明など、介護支援専門員の要請により高齢者や家族に説明を行うなどの対応ができた。関係機関と連携をとることや、ケアマネと連動して対応したことで、ケアマネの抱え込みによる負担は軽減できたのではないかと考える。</p> <p>状況により、警察など関係機関との連絡調整を行い、より一層のネットワーク構築になった。特に29年度は8月に山之口地区を対象に成年後見制度意見交換会・個別相談会を開催し、関係機関と共通理解を図り、埋もれていた相談についても対応することができた。</p> <p>□包括的・継続的ケアマネジメント業務：介護支援専門員連絡協議会で、生活圈域内の居宅介護支援事業所との連携等を図ることはできており、会員であるケアマネジャーも積極的に研修内容等を受けており、その後方支援を行った。圏域外の介護支援専門員やサービス事業所からの相談も、真摯に取り組み、対応を行った。</p> <p>また退院に伴う医療との連携の部分も増えており、退院移行支援の個別事例を通じて、医療介護連携の推進ができた。</p> <p>地区社協の会議や研修は積極的に参加協力をを行い、ネットワーク構築や資源開発に向けた連携を推進している。その延長上で、まちづくり協議会への参加についても少しずつ働きかけを行い、今後は全面的に参加協力していく予定である</p> <p>□介護予防支援業務：</p> <p>予防プラン数が通増傾向にある中で、職員数は変わらず、その一方でケア会議等を通じた予防プランの質向上も求められており、業務の質量が増えているが、給付の適正化に向けて予防プランの勉強会や複数職員によるチェックなど、創意工夫を重ねている。</p> <p>委託件数も少しずつ増えているので、各居宅事業所のケアマネジャーとも連絡会議等を通じて、予防プランの質向上に努めていきたい。</p>

事業区分 法人運営 地域福祉 **相談支援** 在宅福祉
 事業種類 **受託事業** 補助事業 **公益事業** 自主事業 その他 ()

実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	5-09
事業名	山田・高崎地区地域包括支援センター事業						
決算額 (単位：円)	38,636,947	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の	一般財源
		市	県社協	市	県社協	補助金等	
				22,310,509			16,326,438
事業概要	<p>・高齢者が住み慣れた地域で、できる限り継続して生活していけるように、介護・医療サービスを始めとする多様な支援を継続的かつ包括的に提供し、多様な相談を受け連絡・調整を行うワンストップサービスを、公営性・地域性・共同（協働）性の観点に立ち実践支援していく。地域レベルや個別の地域ケア会議を活用し、地域包括ケアシステムの実現をしていく。</p> <p>【包括的支援事業】</p> <p>① 介護予防ケアマネジメント ② 総合相談支援業務 ③ 権利擁護事業 ④ 包括的・継続的ケアマネジメント業務</p> <p>【介護予防支援業務】</p> <p>指定介護予防支援事業所として、要支援者・事業対象者のケアマネジメントを実施。</p>						
事業内容	<p>【実施した事業内容】</p> <p>① 地域支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 総合事業 <ul style="list-style-type: none"> ①第一号介護予防支援事業②一般介護予防事業 ○ 包括的支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ①総合相談支援業務②権利擁護業務（4地区出張相談会・成年後見制度意見交換会）③包括的・継続的ケアマネジメント支援業務（主任介護支援専門員意見交換会、介護支援専門員研修会実施）④認知症地域支援推進員業務⑤多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築（地域ケア会議：個別・圏域） <p>② 指定介護予防支援事業</p> <p>③ その他</p>						
	<p>【諸会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 都城市地域包括支援センター連絡会議：月1回開催（第3水曜日）12回実施 ○ 5職種ネットワーク会議：主任介護支援専門員6回、保健師・介護予防担当6回、社会福祉士12回開催、認知症地域支援推進員兼地域ケア会議担当12回 ○ 山田・高崎地区介護支援専門員等連絡協議会：年6回開催 ○ 民生委員児童委員定例会：24回出席（山田12回、高崎12回） ○ 運営推進会議：5回参加（デイスサービスきりん1回、ミュージズの空高崎4回） ○ 成年後見ネットワーク会議：16回参加（公証人・弁護士・司法書士・社協・精神保健福祉士等） ○ 医療と介護の連携地域ケア会議：1回開催（医師4名・医療職・介護支援専門員・事業所職員等） ○ 山田地区地域連携懇談会：1回開催（医師1名・医療職・まち協・地区社協・行政・介護支援専門員・事業所職員等） ○ 医療介護推進会議：3回出席 ○ 高崎まちづくり協議会健康福祉部会：7回出席 ○ 山田まちづくり協議会健康福祉部会：7回出席 ○ 個別地域支援会議：随時対応 ○ 住宅改造判定会議：2回 						

	<p>【研修等】</p> <p>県外：地域包括・在宅介護支援センター協議会リーダー研修（西日本会場 福岡）、地域包括支援センター職員基礎研修（西日本会場 福岡）全国地域包括・在宅介護支援センター研究大会（長崎県長崎市）日本介護支援専門員協会九州・沖縄ブロック研究大会（熊本県熊本市）</p> <p>県内：介護支援専門員研修講師学習会、福祉の基礎知識習得研修、入退院調整ルール策定事業実施地域合同研修会、自立支援型ケアマネジメントの必要性と自立支援型地域ケア会議の推進に向けた研修会、宮崎県介護支援専門員協会総会・研修会、都城市認知症地域支援推進員・小林市認知症地域支援推進員意見交換会、認知症研修、成年後見制度市町村職員等研修、福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程チームリーダーコース、高齢者虐待防止研修会、地域包括ケア推進のための市町村等管理者向け研修会、ターミナルケア基礎研修、宮崎県自殺対策に係る人材育成研修会、モデル市町村向け自立支援型地域ケア会議研修会、法テラス宮崎地方協議会、ケアマネジメント標準化に関する研修会、宮崎県介護支援専門員協会研究大会、宮崎県地域包括・在宅介護支援センター協議会職員研修会、宮崎県介護支援専門員協会介護保険改正講座、記録技術基礎研修、記録技術応用研修、介護予防支援従事者研修</p> <p>【実績】相談件数、参加人員など</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 一次予防実態把握事業：290 件（初回 246 件、2 回目以降 44 件） 介護予防事業：かくしゃく 100 歳教室・各種サロン：年間 53 教室、延べ 798 名参加 こけないからだづくり教室：年間 59 回、延べ 634 名 ○ 総合相談支援：2,400 件（延べ 2,859 件） ○ 権利擁護業務：131 件（延べ 154 件） ○ 包括・継続的マネジメント業務：92 件（延べ 102 件） ○ 認知症サポーター養成講座 2 件（高崎 1 回、山田 1 回）実施
事業成果	<ul style="list-style-type: none"> ① 介護予防ケアマネジメント業務：実態把握事業を 290 ケース実施。自立支援・在宅生活継続に向けた適切な助言・情報提供・必要な連携を行った。 ② 総合相談支援業務：職員全員で本人・家族・行政・関係機関等からの相談に延べ 2,859 件応じ、包括支援業務のソフトにより情報共有が強化され、チームアプローチで迅速に支援を行った（時間外・夜間帯・休日についても電話転送で対応）。 ③ 権利擁護事業：虐待関係の相談延べ 13 件あり、高齢者や家族に対して、担当ケアマネ・行政と共に解決に向けて支援した。また、成年後見制度については市民・専門職を対象とした意見交換会を開催し、事例に基づく制度説明や専門職の役割、相談窓口の案内などの周知を図る事が出来た。また、市民・専門職向けに相談会を実施。それに伴う市内遠方 4 地区出張相談会においては中心市街地に出向くことなく相談が受けられたため、より身近な地域での課題解決が図られた。 ④ 包括的・継続的ケアマネジメント業務：介護支援専門員等連絡会を開催し、地域内居宅介護支援事業所・グループホーム等との連携を図ることができた。また、介護支援専門員の困難事例相談に随時対応、定期的な訪問や必要時の同行訪問・助言を行った。 ⑤ 介護予防支援業務：介護予防プラン延べ 2,902 件（平均月 242 件 委託月平均 50 件 委託率 20.6%）作成、という状況であった。各福祉サービスの申請、モニタリング、廃止手続等も 166 件実施した。その他、在宅高齢者転倒予防住宅改修申請については 17 件対応した。 ⑥ 認知症地域支援推進業務：認知症の人やその家族からの相談に 64 件応じ、適切な助言を行い、専門機関（医療・介護）の紹介・連携・情報提供を 66 件行った。 ⑦ 多職種協働による圏域の地域ケア会議に 18 回出席し、計画作成者への助言を行った。計画作成者として 12 ケースの事例を提出し、自立支援に向けたケアプラン作成を実践した。 ⑧ 医療・介護の連携の地域ケア会議を医師・看護師・警察・行政・介護支援専門員・事業所職員等との連携会議を 1 回開催し、事例を通し、専門職等の役割・迅速な対応について再考できた。また、山田地区地域連携懇談会を開催し、地域包括ケアシステムの概要を関係機関と共有し、関係職種間で連携・顔の見える関係の更なる構築を行った。

事業区分 法人運営 地域福祉 相談支援 **在宅福祉**
 事業種類 受託事業 補助事業 公益事業 **自主事業** その他 ()

実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No. 6-01	
事業名	保育園事務局						
決算額 (単位：円)	18,030,722	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の	一般財源
		市	県社協	市	県社協	補助金等	
							18,030,722
事業概要	<p>< 保育課業務 ></p> <p>1. 2 保育園 2 認定子ども園の庶務全般及び全体研修の企画・実施</p> <p>2. 保育園、認定こども園の経営、児童館(指定管理)・児童クラブ(受託)の運営に関すること</p>						
事業内容	<p>【実施した事業内容】</p> <p>1. 庶務に関すること</p> <p>①各園の予算の執行管理(人件費等の管理含む)、備品の管理</p> <p>②人事管理(職員の採用、処遇改善に関する事)、メンタルヘルスケア</p> <p>③保守・業務委託の契約</p> <p>2. 経営に関すること</p> <p>①各園の資質向上に関する助言・指導</p> <p>②市保育課との連携一諸申請及び報告事務</p> <p>③各園行事への対応一運動会、卒園式</p> <p>④職員研修の企画・実施(保育課主催、社協園の公開保有一相互研修)</p> <p>⑤園長会の主宰に関する事</p> <p>【諸会議】</p> <p>課 長一本所定例経営会議、理事会・評議員会、保育園・こども園園長会議</p> <p>事務補助一各園の支出負担行為の処理、児童館・児童クラブの月次報告等、他保育課庶務</p> <p>【研修等】職員研修</p> <p>5月18日(木)第1回保育課職員全体研修(外山明美氏による講演)</p> <p>9月8日(金)セルフケアチェック研修(全体研修)</p> <p>10月12日(木)グループカウンセリング(主幹保育教諭)</p> <p>10月30日(月)グループカウンセリング(主任・副園長)</p> <p>11月16日(木)コンサルティング(園長)</p> <p>11月28日(火)第2回保育課職員全体研修(足立明彦氏による講演)</p>						
事業成果	<p>こども園・保育園は途中入園の園児が多く、定数を上回る園児数となり、児童クラブは定員いっぱいの利用とそれぞれ円滑な運営を行うことができた。</p> <p>職員の給与改善のため、例年通りの処遇改善費Ⅰに加え、新たに処遇改善費Ⅱも支給となった。次年度からのキャリアアップ研修受講に対する、職員の意欲向上に繋がった。従前、保育者不足とその確保に悩まされてきたが、資質向上だけでなく社協園の労働環境もあってか、離職は児童クラブ以外ほとんどなく新規職員の雇用もできた。</p>						

事業区分 法人運営 地域福祉 相談支援 **在宅福祉**
 事業種類 受託事業 **補助事業** 公益事業 自主事業 その他 ()

実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	6-02
事業名	幼保連携型認定子ども園運営事業 おおむたこども園						
決算額 (単位：円)	178,248,827	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の	一般財源
		市	県社協	市	県社協	補助金等	
		2,687,746					175,561,081
事業概要	おおむたこども園の運営事業 1. 諸事業：季節・時期に応じたもの 園児の成長披露 2. 各種研修会への参加 3. 保護者会行事・研修 4. こども園地域活動事業						
事業内容	【実施した事業内容】						
	1、諸行事： ふれあい運動会、遠足、ラスパプール利用、運動会、観劇、発表会餅つき、繭の餅、クリスマス会、豆まき、クッキング、ひなまつり、卒園・修了式、避難訓練、交通指導、防犯訓練、健康診断、お楽しみ会、食育活動、旭保育園との交流会、デイサービス交流会、スポーツ教室、習字教室 2、保護者会行事： 個人面談、親子バス遠足、子育て講演会 3、保育所地域活動事業： 園庭開放、小学校読み聞かせ、児童クラブ図書貸し置き、子育てサロン、子育て教室、地域へ豆まき、繭の餅、餅つき						
	【諸会議】						
	○保護者会理事会（年4回） ○園長定例会(月1回)、給食部会(月1回)、(市)認定こども園協会園長会・主幹部会						
事業内容	【研修等】						
	○園内研修：発達障がいについて、ケース研究、担当制保育を吉本和子先生に学ぶ、子どもが主体の保育とは？発達に応じた室内、園庭の環境づくり、わらべうた ○各種研修への参加：県研修センター主催研修への参加 各自1～2回 キャリアアップ研修、感染症、虐待、食育、アレルギー、メンタルヘルス、野育、園庭研究会、子ども主体的の保育を実践している園の視察、担当制保育など 県外研修、視察研修(園長、主幹保育教諭) ○子育て講演会：足立明彦氏「Brain-Lab」こころの相談室						
	【実績】 定員 85名 (1号 15名) H29. 4. 1 82名(95%) ⇒ H30. 3. 31 93名(100.5%)						
事業成果	子ども主体の丁寧な保育の実践から、本年度は以上児のクラス編成を3.4.5歳児混合の異年齢クラスとした。これは、子ども達が互いの多様性を容認しやすくなる事であり、遊びや生活の伝承、思いやりの気持ちなどの効果を期待できるからである。また、5歳児単独クラスの保育教諭の仕事や責任の分散もねらいであり、これまでにはなかった遊びの広がりや、発達に困り感のある友達への関わりも自然に身につき始めている。園庭に新たに8本の植樹を行い、木登りを体験できるようになった。登園した時から庭で遊ぶ子ども達は、泥んこ、こま、けん玉、竹馬など、昭和の遊びを展開している。このスローな遊びが子ども達の挑戦心や達成感を刺激し、自己肯定感を高めている事を実感している。未満児の担当制保育は、先駆園の園長を招き育児行為と環境設定の指導を受ける。一人ひとりの子ども達に丁寧に関わっていくスキルを直接教えていただき、改善点の指摘を受けることで数々の反省と振り返りに繋がり、少しずつの前進を実感しているところである。						

事業区分 法人運営 地域福祉 相談支援 **在宅福祉**
 事業種類 受託事業 **補助事業** 公益事業 自主事業 その他 ()

実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	6-03
事業名	幼保連携型認定子ども園運営事業 谷頭こども園						
決算額 (単位：千円)	201,660,583	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
		3,915,892					197,744,691
事業概要	谷頭こども園の運営事業 乳幼児の健全育成と働く保護者の支援 1. 諸行事の実施 2. 各種研修への参加 3. 保護者会行事 4. こども園地域活動事業						
事業内容	【実施した内容】 1. 諸行事： 各遠足、お楽しみ会、七夕、運動会、観劇、発表会、餅つき、クリスマス会、正月遊び、豆まき、ひなまつり、卒園・修了式、食育活動、 2. 各種研修への参加： 県外研修（施設環境：やまぼうし保育園） 県研修（施設長・保育教諭・調理等分野別専門研修、領域専門研修） 保育課研修（全体研修・ライン研修等） 認定こども園協会主催研修 諸会議：定例園長会 副園長・主任部会 職員会議 保護者会役員会 研修部会 認定こども園協会園長会 認定こども園主幹教諭部会 3. 保護者会活動： かかしっ子夏まつり 奉仕作業 日常保育参観 子育て教室 4. 地域活動事業： かかしっ子夏まつりの実施による地域住民との交流や文化の伝承、地域開催行事への参加（八坂神社 子どもフェスティバル等） 児童館・児童クラブとの交流 はなまる子育て教室						
	【実績】 定員：105名 H29.4.1 97名 (92%) → H30.3.1 107名 (101%)						
事業成果	子どもが主体的に活動できるよう室内外の環境に配慮し、一人ひとりに丁寧に関わる保育の実践のために研修や職員会議を繰り返し行ってきた。職員の理解が少しずつ深まりをみせる中、今年度は担当制保育を長年取り組んでいる園の園長を招き、直接指導をいただいた。そのことで職員の意識は更に強まり、より理解を深め問題点を解決しようとするなどの姿が見られるようになった。 子どもたちは、園庭の築山を使って登り降りる、滑るを繰り返し、他には丸太や木を登るなど本来幼児期に経験すべきあそびに没頭する姿が多く見られ、運動能力・体力もついてきた。 行事に関しては、子どもたちを主体とする内容を基本に、集団で動くのではなくそれぞれの子どもの発達に合ったものに取り組みるようにし、地域の色々な行事にも積極的に参加した。						

事業区分 法人運営 地域福祉 相談支援 **在宅福祉**
 事業種類 受託事業 **補助事業** 公益事業 自主事業 その他 ()

実施箇所	本所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	6-04
事業名	保育園運営事業 縄瀬保育園						
決算額 (単位:円)	59,510,594	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の	一般財源
		市	県社協	市	県社協	補助金等	
		115,964					59,394,630
事業概要	縄瀬保育園の運営事業 1. 諸行事・季節に応じたもの こどもの成長披露 地域イベントへの参加 2. 各種研修への参加 3. 保護者会行事・研修 4. 次世代育成支援事業 (保育園地域活動事業)						
事業内容	【実施した事業内容】 1、諸行事： こいのぼり運動会、バス遠足、ラスパール利用、あくまき作り、七夕まつり、運動会、親子遠足、観劇、ハウインパレード、発表会、餅つき、クリスマス会、繭のもち作り、豆まき、お別れ遠足、お店ごっこ、ひなまつり、卒園・修了式、お楽しみ会、避難訓練、防犯訓練交通指導、健康診断、食育（栽培・収穫・クッキング）、体操教室、リズム運動 2、保護者会行事： 個人面談、夕涼み会、親子遠足、子育て講演会 3、地域活動事業： 地区祭り等各行事への参加、高齢者との交流、地域の各種事業への参加、小学校との交流						
	【諸会議】 ○保護者会理事会：年4回 ○園長会：毎月1回 ○給食部会：12回 ○職員会議：月3回（保育内容、行事起案検討） ○地域行事会議：年4回～5回						
	【研修等】 ○園内研修：新保育指針に基づく保育内容、環境についての研修、ケース研究、 ○県社協研修参加：各自1～2回 社協主催研修、社協保育課研修、キャリアアップ研修 ○自主研修参加：障がい児研修他 子育て講演会						
	【実績】定員：30名 H29.4.1 29名 (98.9%) → H30.3.31 31名 (107%)						
事業成果	祖父母や地域を積極的に巻き込む行事の中に、本年度は旧薩摩藩の伝統行事(あくまき作り、繭の餅作り)などを取り入れた。 「一人ひとりを大切にする保育」を目指すべく、県内外の研修強化を行い資質向上に努める。1年目より2年目、2年目より3年目と保育士の意識も変わりそれにより子ども達が主体的にのびのびとあそび生活する姿が見られ、保護者もその保育を少しずつ理解し始めていると実感している。今後も目標とする保育実践のため、室内や園庭の環境も変化させていきたいと思っている。 多世代を対象にした地域支援をおおむたこども園と協同して計画し、「ぽかぽかひなた」をたちあげ次年度からスタートする事となった。 発達や家庭内に困り感を抱えた世帯が増え、各機関との連携により適切な支援への道筋を作ることができ、多機関との関係構築から今後の支援の自信にも繋がった。						

事業区分 法人運営 地域福祉 相談支援 **在宅福祉**
 事業種類 **受託事業** 補助事業 公益事業 自主事業 その他 ()

実施箇所	本所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	6-05
事業名	保育園運営事業 前田保育園						
決算額 (単位:円)	10,392,434	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の 補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
		18,800					10,373,634
事業概要	前田保育園の運営事業 1. 諸行事・季節に応じたもの こどもの成長披露 地域イベントへの参加 2. 各種研修への参加 3. 保護者会行事・研修 4. 次世代育成支援事業 (保育園地域活動事業)						
事業内容	【実施した事業内容】 1、諸行事： 小学校入学式参加、プール利用、あくまきづくり、夕涼み会、運動会、お楽しみ会、避難訓練、防犯訓練、交通指導、園外保育、健康診断 2、保護者会行事： 個人面談、夕涼み会、 3、次世代育成支援事業： 前田地区夏祭りへの参加						
	【諸会議】 ○外部会議(前田保育園について) ○保護者会 ○各部会 (主任、給食、保育士) ○職員会 ○地域行事会議 (前田地区夏祭り他) ○麓っこを伸ばす会議						
	【研修等】 ○園内研修・・・指針に基づく保育実践について、保育環境について ○県の研修センター主催の研修への参加 ○保育課研修への参加、EAP 研修、資格取得のための自主研修						
	【実績】 定員：20名 H29, 4, 1 10名 (50%) →H29, 8, 1 0名→ H30, 3, 31 0名 (0%)						
事業成果	新年度がスタートしてすぐ前田保育園運営についての外部協議を行い保護者への説明を5月に行った。その後日保護者のみの話し合いが行われ、7月末には全員転園することとなった。そのほとんどは、おおむたこども園への転園となった。不安はあったようだが、2人の職員も同園に異動したこともあり慣れるのは早く安堵するところであった。休園してからも地域の行事(夏祭りなど)には園児と一緒に職員も参加させていただいた。 平成30年1月1日休止、平成30年3月31日をもって廃止となる。						

事業区分 法人運営 地域福祉 相談支援 **在宅福祉**
 事業種類 **受託事業** 補助事業 公益事業 自主事業 その他 ()

実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	6-06
事業名	保育園運営事業 谷頭児童館管理運営事業						
決算額 (単位：円)	4,054,000	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の	一般財源
		市	県社協	市	県社協	補助金等	
		4,054,000					
事業概要	山田谷頭児童館の指定管理（期間/平成27年度～平成31年度） 1. 育児相談（随時） 2. 季節に応じた行事（谷頭こども園とタイアップ） 3. 地域子育て支援会議等の開催						
事業内容	【実施した内容】 ○諸行事 1. 育児相談関係 ・はなまる子育て教室の開催（10/17～11/14 5回）・親子で芋ほりとクッキング 2. 季節に応じた行事 ・夏フェスの実施（地域への児童館周知の一環）8/25 ・芋ほり 11/10 ・季節の制作活動 （こいのぼり作り ファミリーデー工作 ひな人形作り ハロウィンファッションショーなど） ・エコ活動（いものつるリース作り ハーブ石鹸づくり 段ボール黒板 野花の飾り へちま水とり 野菜の栽培 廃材工作等） 3. 地域子育て支援会議等の開催 ・小学校との定期的な会議の開催 計10回 ・地区社協との情報交換会 ・配慮を要する家庭、児童についての各機関との協議						
	○諸会議など ・児童館定例会議（11回） ・子育て支援会議（民生委員児童委員との定期協議）地域座談会含む						
	○研修など ・児童厚生員 支援員研修会 ・こども園の見学研修（環境等） ・保育課主催の研修会・見学研修（田野児童センター 延岡市ゆりかご児童館）						
	○その他 ・避難、防犯訓練（毎月）・英語講師との交流（年10回）・絵本の読み聞かせ（毎月）						
	【利用者実績】 未就学児：延 474人 小学生：延 2,958人 中学生：延 60人 保護者：延 368人 計：延 3,860人 （昨年比 30%増）						
事業成果	児童館利用者を増やすべく、広報のためのイベントとして夏フェスを実施し、告知方法としてチラシを各公民館の班数配布、各種団体へ呼び掛けを行うなど認知を図った。利用者が徐々に増え、昨年度より一般利用者の増加に成果が見られた。乳幼児同伴の利用はイベント時には集まるが、日常的には「たまに利用」という程度に留まっている。育児専念できている家庭がそれほど多いとは思われないが、継続利用の手法が十分できていなかったのは否めない。 小中学生の利用増に伴い、特別な配慮を必要とする児童の集合場所となり、放課後デイの様相を呈している。それだけ地域の児童にとって必要としている居場所として機能しているとみられる。反面、遊びの内容や言葉かけ等に苦慮してきたが、トラブルもみられるので、専門的な知識の習得が急務と感じている。 今年から児童館長の位置づけがあり、常時滞在することで業務がスムーズに流れたように思う。						

事業区分 法人運営 地域福祉 相談支援 **在宅福祉**
 事業種類 **受託事業** 補助事業 公益事業 自主事業 その他 ()

実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	6-07
事業名	谷頭児童館放課後児童クラブ運営事業						
決算額 (単位：円)	8,373,104	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の	一般財源
		市	県社協	市	県社協	補助金等	
				8,373,104			
事業概要	山田谷頭児童館放課後児童クラブの受託運営 1. 登録された児童の放課後居場所の提供 2. 季節に応じた行事（児童館、谷頭こども園と連携） 3. 学習指導 4. 遊びの指導						
事業内容	【実施した事業内容】 ○諸行事 1. 放課後居場所の提供 ・遊びの環境整備（コーナーづくり） ・ゴミ拾いを兼ねた散歩（毎週土曜日） ・誕生会（毎月） ・エコ工作 2. 季節に応じた行事 ・夏フェスへの参加（8/25） ・七夕 ハロウィン クリスマス会 豆まき ひなまつり等 3. 学習指導 ・時間を設定しての宿題や自習への取り組み ・配慮を要する児童の静かな環境の確保 4. 遊びの指導 ・遊具の組み合わせ方（アスレチック） ・既製の物ではないものを使った遊びの工夫 ・運動遊び（サッカー 野球 バトミントン バレー ドッジボール 一輪車 竹馬 缶ぽっくり 縄跳び等） ・昔遊び（だるまさんが転んだ 花いちもんめ等）各種鬼ごっこかくれんぼなど ○諸会議など ・児童クラブ運営会議（毎月） ・小学校との情報交換会 授業参観 計10回 ・配慮を要する児童についての他機関との会議（まぜまぜさらだ） ・都北地区児童クラブ連絡協議会参加 ○研修など ・児童支援員研修会 ・こども園の見学研修（環境等）・保育課主催の研修会 ・他児童クラブの見学研修（田野児童センター 延岡市ゆりかご児童クラブ） ○その他 ・避難、防犯訓練（毎月）・英語講師との交流（年10回）・絵本の読み聞かせ（毎月）						
事業成果	児童クラブは、遊びを通して子どもの自主性、社会性、創造性を培うことを目的としているが、今年度は特に、見通しを持った行動ができるようになることに力を注いできた。当初は児童のみではなく職員にも戸惑いがあり、指示を待ったり、どう動いていいかわからず、自由勝手に行動する姿が見られたが、時間の経過とともに、自分たちで考えようとする姿へと変わってきた。遊びは遊具の組み合わせや、新しい遊びの創造へと繋がっていき、学習面では取り組みへの積極性が見られるようになった。生活面では次に何をすれば良いかという効率的な考えも出来るようになってきた。 職員の姿勢も子どもの意欲へと繋がるものがあり、途中でメンバーが変わったことが雰囲気の違いへとつながり、主体性の芽生えにもつながったと感じている。						

事業区分 法人運営 地域福祉 相談支援 在宅福祉
 事業種類 受託事業 補助事業 公益事業 自主事業 **その他（共募）**

実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.
事業名	みやこんじょボランティアフェスティバル 2018					
決算額 (単位：円)	1,890,274	左の財源内訳				
		補助金		受託金		その他の
		市	県社協	市	県社協	補助金等
						1,615,000
					275,274	一般財源
事業概要	<p>新燃岳による降灰被害を受けた平成 23 年に 3 月 2 日曜日を“都城市ボランティアの日”とする「みやこんじょボランティア宣言」から、毎年開催。今年は、世の中の変化や課題に向き合い、誰もが役割をもって暮らせる地域づくりにおいても、ボランティア活動への期待が高まっている中、多様なボランティア・市民活動を知り、考え、体験し、実践できることを目的に、霧島ファクトリーガーデンにて開催した。</p>					
事業内容	<p>【実施した事業内容】 (実行委員会：委員) 都城ボランティア協会、山田地区 V0 連協、小松原地区社協、宮崎県防災士ネットワーク都城支部都城市社会福祉普及推進校連絡会、都城市社会福祉施設等連絡会、福祉べいすんネットワーク、都城市障害者自立支援協議会、住友ゴム工業、オレンジカフェみやこんじょ、あなたの街の応援団、都城市福祉課、都城市コミュニティ文化課、毎日新聞社宮崎支局都城通信部、シネサロン都城</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会第 1 回 12/5、第 2 回 1/22、第 3 回 2/21、第 4 回 3/2、第 5 回 3/26 ・参加団体説明会～平成 30 年 1 月 23 日 <p>【実施した内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① ステージコーナー (園児やボランティアの披露、ストリートパフォーマンス) ② 子育ておうえんコーナー (ものものトレード、働く車試乗体験) ③ チャリティードライブ (缶詰募集) ④ 災害ボランティア情報コーナー (ハイゼックス炊出し体験、石巻市からの報告) ⑤ うまいもんコーナー ⑥ 応募参加型コーナー (ポスター原画募集、顔出しパネル) ⑦ 協働笑談・市民活動コーナー (ミニ笑談会) ⑧ 福祉共育ライブ授業「耕心学」 <ul style="list-style-type: none"> ・開会式～ぼんちくと幸子のボランティア講座 ・閉会式～3. 11 追悼として全員で黙とう「花は咲く」合唱 					
事業成果	<p>新燃岳噴火が断続的に続く中、参加団体延べ 95 団体、学生ボランティアと一般ボランティア 228 名の参加と来場者約 6, 000 名を集め、開催した。ボランティア市民活動についてより多くの市民に周知して、子育て世帯や一般の方も多く参加し、また、市民活動の活動報告や交流会を行ったり、持ち寄りボランティアやリユース企画により、地域の課題に目を向け誰もが役割をもつことを考える機会にもなった。さらに、7 年前の東日本大震災を忘れないために、石巻市からの報告を、災害ボランティアや防災について考える機会や体験を通し、災害について認識することとなった。学生ボランティアと 3. 11 をテーマにライブ授業を行い、学びと気づきを会場の参加者と共有できた。</p> <p>今回は、都城西高校の放送委員会の生徒による司会進行や東日本大震災の黙とうを行い、会場が一体となったボランティアフェスティバルとなった。</p>					

4. 宮崎県共同募金会 都城市共同募金委員会

I 募金の概要

■平成28年熊本地震義援金

1 義援金の目的

平成28年4月14日の熊本県熊本地方を震源とする地震により、県内各地において人的被害をはじめ、家屋の倒壊等甚大な被害が発生し、熊本県の全市町村に災害救助法が適用された。この災害に伴い、熊本県共同募金会及び中央共同募金会では、被災者への支援、援助を目的とし、義援金の募集を開始したので、本会でも受付を実施する。

2 名 称

「平成28年熊本地震義援金」

3 実施主体

熊本県共同募金会及び中央共同募金会

4 募金の方法

・窓 口：宮崎県共同募金会（都城市共同募金委員会）

5 受付期間

平成28年4月15日（水）から平成31年3月31日（日）まで

■平成28年新潟県糸魚川市における大規模火災義援金

1 義援金の目的

平成28年12月22日に新潟県糸魚川市で発生した大規模災害により、多数の家屋が焼失する等の被害が発生し、災害救助法が適用された。この災害に伴い、新潟県共同募金会では、被災者への支援、援助を目的とし、義援金の募集を開始したので、本会でも受付を実施する。

2 名 称

「平成28年新潟県糸魚川市における大規模火災義援金」

3 実施主体

新潟県共同募金会

4 募金の方法

・窓 口：宮崎県共同募金会（都城市共同募金委員会）

5 受付期間

平成28年12月26日（月）から平成29年6月30日（金）まで

■平成29年7月5日から的大雨災害義援金

1 義援金の目的

平成29年7月5日から的大雨により、福岡県内各位で死傷者・行方不明者等の人的被害や家屋の全壊・半壊、多数の床上・床下浸水等の被害が発生し、朝倉市、添田町、東峰村に災害救助法が適用された。この災害に伴い、福岡県共同募金会では、被災者への支援、援助を目的とし、義援金の募集を開始したので、本会でも受付を実施する。

2 名 称

「平成29年7月5日から的大雨災害義援金」

3 実施主体

福岡県共同募金会

4 募金の方法

・窓 口：宮崎県共同募金会（都城市共同募金委員会）

5 受付期間

平成29年7月10日（月）から平成30年9月28日（金）まで

■大分県豪雨災害義援金

1 義援金の目的

平成29年7月5日からの大雨により、大分県内では死傷者等の人的被害や、建物の全壊・半壊、多数の床上・床下浸水等の被害が発生し、日田市、中津市に災害救助法が適用された。この災害に伴い、大分県共同募金会では、被災者への支援、援助を目的とし、義援金の募集を開始したので、本会でも受付を実施する。

2 名称

「大分県豪雨災害義援金」

3 実施主体

大分県共同募金会

4 募金の方法

・窓口：宮崎県共同募金会（都城市共同募金委員会）

5 受付期間

平成29年7月11日（火）から平成29年12月28日（木）まで

■秋田県大雨災害義援金

1 義援金の目的

平成29年7月27日からの大雨により、大仙市内など県南部を中心に広範囲にわたって床上浸水等の被害が発生し災害救助法が適用された。この災害に伴い、秋田県共同募金会では、被災者への支援、援助を目的とし、義援金の募集を開始したので、本会でも受付を実施する。

2 名称

「秋田県豪雨災害義援金」

3 実施主体

秋田県共同募金会

4 募金の方法

・窓口：宮崎県共同募金会（都城市共同募金委員会）

5 受付期間

平成29年7月27日（火）から平成29年8月31日（木）まで

■台風18号大分災害義援金

1 義援金の目的

平成29年9月17日に通過した台風18号による記録的大雨等により、大分県では大きな被害が発生し、複数の市で災害救助法が適用された。この災害に伴い、大分県共同募金会では、被災者への支援、援助を目的とし、義援金の募集を開始したので、本会でも受付を実施する。

2 名称

「台風18号大分災害義援金」

3 実施主体

大分県共同募金会

4 募金の方法

・窓口：宮崎県共同募金会（都城市共同募金委員会）

5 受付期間

平成29年9月21日（木）から平成29年12月28日（水）まで

■台風21号三重県災害義援金

1 義援金の目的

平成29年10月の台風21号による記録的大雨等により、三重県では大きな被害が発生し、複数の市町で災害救助法が適用された。この災害に伴い、三重県共同募金会では、被災者の支援、援助を目的とし、義援金の募集を開始したので、本会でも受付を実施する。

2 名称

「台風21号三重県災害義援金」

3 実施主体

三重県共同募金会

4 募金の方法

・窓口：宮崎県共同募金会（都城市共同募金委員会）

5 受付期間

平成29年10月31日（火）から平成30年1月31日（水）まで

■和歌山県平成29年台風第21号災害義援金

1 義援金の目的

平成29年10月の台風21号による記録的大雨等により、和歌山県では大きな被害が発生し、新宮市で災害救助法が適用された。この災害に伴い、和歌山県共同募金会では、被災者の支援、援助を目的とし、義援金の募集を開始したので、本会でも受付を実施する。

2 名称

「和歌山県平成29年台風第21号災害義援金」

3 実施主体

和歌山県共同募金会

4 募金の方法

・窓口：宮崎県共同募金会（都城市共同募金委員会）

5 受付期間

平成29年11月2日（木）から平成30年1月31日（水）まで

■平成29年度赤い羽根共同募金運動

1 基本方針

赤い羽根共同募金運動は、昭和22年に戦後復興の一助である「国民たすけあい運動」として始まり、本年度で71年目を迎える助け合いの仕組みです。

この間、共同募金が「赤い羽根募金」として定着していく一方で、時代の変化とともに運動の目的や解決すべき課題への理解や共感よりも、寄付を集めることだけが意識されるようになり、それに伴い募金額も平成7年をピークに年々減少している状況です。

一方で共同募金に期待される役割は拡大しており、本市においても、中央共同募金会および県共同募金会が示す改革の方向性に沿いながら、70年答申で示された「**参加と協働による『新たなたすけあい』の創造**」を実現するために、共同募金本来の趣旨に立ち戻り、「**じぶんのまちを良くするしくみ**」として“活かされる募金”“見える募金”を目指し、事業を展開する。

2 運動の推進

(1) 組織及び活動方法

関係組織・団体との連携を密にし、募金・助成計画の策定、市民参加の促進、広報活動、寄付者・募金額の確保に努めた。

(2) 事務局

都城市共同募金委員会の事務局を、都城市社会福祉協議会内（都城市松元町4街区17号電話：25-2123）に置き、運動推進にあたった。

3 共同募金目標額（総計） 33,681,000円

(1) 一般募金目標額 29,705,000円

(2) 歳末たすけあい募金目標額 3,976,000円

4 一般募金計画

(1) 一般募金計画

No.	募金の方法	金額（円）	比率	実施協力団体等
1	戸別募金	18,170,000	61.2%	自治公民館組織、行政協力員、班長
2	法人・篤志家募金	4,000,000	13.5%	民生委員児童委員
3	街頭募金	1,200,000	4.0%	ボランティア、福祉団体、民主団体
4	学校募金	2,000,000	6.7%	保育所（園）、幼稚園、小中学校、高校、専門学校
5	職域募金	2,500,000	8.4%	企業、官公庁、その他の団体
6	興行募金	980,000	3.3%	イベント等の益金を寄付いただくもの
7	空缶募金・その他	855,000	2.9%	職場や家庭で空缶や貯金箱で貯めた募金を寄付いただくもの
	合計（目安額）	29,705,000	100%	

5 歳末たすけあい募金計画

(1) 歳末たすけあい募金計画

No.	募金の方法	金額（円）	比率	実施協力団体等
1	戸別募金	2,470,000	62.1%	自治公民館組織、行政協力員、班長
2	法人・篤志家募金	240,000	6.0%	民生委員児童委員
3	街頭募金	380,000	9.6%	ボランティア、福祉団体、民主団体
4	学校募金	360,000	9.1%	保育所（園）、幼稚園、小中学校、高校、専門学校
5	職域募金	270,000	6.8%	企業、官公庁、その他の団体
6	興行募金	200,000	5.0%	イベント等の益金を寄付いただくもの
7	空缶募金・その他	56,000	1.4%	職場や家庭で空缶や貯金箱で貯めた募金を寄付いただくもの
	合計（目安額）	3,976,000	100%	

6 運動期間

(1) 一般募金 10月1日～12月末日

(2) 歳末たすけあい募金 12月1日～12月末日

Ⅱ 運営委員会・監事・推進委員会名簿

■運営委員会名簿

任期：平成28年4月1日～平成30年3月31日（H30.3.31現在）

No	役職	氏名	選出区分
1	会長	木脇 義紹	企業代表（日興建設株式会社）
2	副会長	坂元 晃	市自治公民館連絡協議会(五十市地区自治公民館連絡協議会)
3	副会長	米吉 春美	市民生委員児童委員協議会
4	運営委員	島津 久友	都城市社会福祉協議会理事
5	運営委員	池田 吉平 西河 邦博	都城市社会福祉協議会理事 H29.5.30より
6	運営委員	柿木原 康雄	姫城地区自治公民館連絡協議会
7	運営委員	日高 繁樹 堀川 渉	妻ヶ丘地区自治公民館連絡協議会 H29.5.30より
8	運営委員	久保 義春 坂下 修	小松原地区自治公民館連絡協議会 H29.5.30より
9	運営委員	永田 優	祝吉地区自治公民館連絡協議会
10	運営委員	吉永 純昭 松原 光洋	横市地区自治公民館連絡協議会 H29.5.30より
11	運営委員	成田 洋 三島 美蔓	沖水地区自治公民館連絡協議会 H29.5.30より
12	運営委員	今村 寛秀	志和池地区自治公民館連絡協議会
13	運営委員	舟津 隆二	庄内地区自治公民館連絡協議会
14	運営委員	坂元 和雄	西岳地区自治公民館連絡協議会
15	運営委員	栗山 春行 鬼束 巖	中郷地区自治公民館連絡協議会 H29.5.30より
16	運営委員	下西 勝彦	山之口地区自治公民館連絡協議会
17	運営委員	蒲生 幸一 前田 洋美	高城地区自治公民館連絡協議会 H29.5.30より
18	運営委員	牛谷 勝郎 紺谷 肇一	山田地区自治公民館連絡協議会 H29.5.30より
19	運営委員	村吉 昭一	高崎地区自治公民館連絡協議会
20	運営委員	時任 國弘	市民生委員児童委員協議会
21	運営委員	薬丸 良英	市民生委員児童委員協議会
22	運営委員	萬徳 雄一郎	市民生委員児童委員協議会
23	運営委員	石川 和明	市小中学校長会
24	運営委員	田爪 邦士	都城商工会議所
25	運営委員	櫻井 俊一 清永 治彦	市社会福祉施設等連絡会 H29.5.30より
26	運営委員	田中 芳也 杉元 智子	市福祉事務所 H29.5.30より
27	運営委員	立山 静夫	ボランティア代表

■監事名簿

任期：平成28年4月1日～平成30年3月31日（H30.3.31現在）

No	役職	氏名	選出区分
1	監事	岩元 光男	吉原建設(株)
2	監事	鬼束 貢	社団法人 都城法人会

■推進委員会名簿

任期：平成28年4月1日～平成30年3月31日（H30.3.31現在）

No	役職	氏名	事業所名
1	委員長	木脇 義紹	日興建設(株) 代表取締役
2	副委員長	堀之内 芳久	社団法人都城観光協会 会長
3	副委員長	岩元 光男	吉原建設(株) 代表取締役専務
4	推進委員	伊賀崎 繁	霧島酒造(株) 常務取締役
5	推進委員	土持 寿翁	土持産業(株) 代表取締役
6	推進委員	五十嵐 可久	都城地区製材業協同組合 理事長
7	推進委員	江夏 昇 渡邊 一生	江夏商事(株) 会長 都城まちづくり株式会社 H29.5.30より
8	推進委員	千町 泰希	(株)ホテル中山荘 係長
9	推進委員	神野 了一 大原 国男	南日本酪農協同(株) 総務部長 H29.5.30より
10	推進委員	木場 智彦 四季 信一	(株)木場組 代表取締役 (株)四季設備 代表取締役 H30.2.26より
11	推進委員	安田 紳一郎	(株)九南 上席執行役員社長室室長
12	推進委員	池内 良喜	九州電力(株)都城営業所 所長
13	推進委員	石田 博一	住友ゴム工業(株)宮崎工場 工場長
14	推進委員	星原 一弘 山田 知樹	(株)宮崎銀行都城営業部 取締役営業部長 H29.5.30より
15	推進委員	坂元 俊一	都城農業協同組合 常務理事
16	推進委員	元明 吉美	宮崎県トラック協会都城支部 支部長
17	推進委員	東 淑恵	(株)文昌堂 総務部長
18	推進委員	上田 利弘	都城ヤクルト販売(株) 常務取締役

■ 審査委員会名簿

任期：平成30年2月1日～平成32年1月31日（H30.3.31現在）

No	役職	氏名	選出区分
1	審査委員	高田橋 厚男	BTV株式会社
2	審査委員	上田 利弘	都城市共同募金委員会
3	審査委員	森 りえ	都城市議会 文教厚生委員会
4	審査委員	河野 謙司	都城商工会議所
5	審査委員	中村 健児	都城市社会福祉協議会
6	審査委員	宮城 博範	児童養護施設 石井記念有隣園
7	審査委員	堀之内 芳久	学識経験者
8	審査委員	渡邊 一生	学識経験者

Ⅲ 募金実績の報告 4

■ 「平成28年熊本地震義援金」(平成29年4月1日～平成30年3月31日分)

実績額 170,524円

■ 「平成28年新潟県糸魚川市における大規模火災義援金」

(平成28年12月26日～平成29年6月30日分)

実績額 0円

■ 「平成29年7月5日からの大雨災害義援金」(平成29年7月10日～平成30年3月31日分)

実績額 603,760円

■ 「大分県豪雨災害義援金」(平成29年7月11日～平成29年12月28日分)

実績額 225,000円

■ 「秋田県大雨災害義援金」(平成29年7月27日～平成29年8月31日)

実績額 0円

■ 「台風18号大分災害義援金」(平成29年9月21日～平成29年12月28日)

実績額 7,656円

■ 「台風21号三重県災害義援金」(平成29年10月31日～平成30年1月31日分)

実績額 0円

■ 「和歌山県平成29年台風第21号災害義援金」(平成29年11月2日～平成30年1月31日分)

実績額 0円

■ 平成29年度共同募金運動実績

- 一般募金の目標額 29,705,000円
- 実績額 21,851,773円 (達成率: 73.6%)

◎募金種別内訳表 (単位:円)

種類	目標額	合計
戸別募金		13,254,912
法人・篤志家		4,007,889
街頭募金		926,958
学校募金		1,303,239
職域募金		1,323,921
空缶・その他募金		738,238
興行募金		296,616
合計		21,851,773
達成率		73.6%

◎助成実績

平成28年度共同募金による平成29年度B助成 13,459,602円

- 歳末たすけあい募金目標額 3,976,000円
実績額 3,253,828円 (達成率: 81.8%)

◎募金種別内訳表 (単位:円)

種類	目標額	合計
		3,976,000
戸別募金		2,247,154
法人・篤志家		224,979
街頭募金		114,562
学校募金		306,056
職域募金		259,937
空缶募金		2,000
興行募金		99,140
合計		3,253,828
達成率		81.8%

◎助成実績

平成29年度歳末たすけあい募金による平成29年度助成 3,113,828円

(単位:円)

	合計
実績額	3,253,828
事務費	140,000
差引助成金	3,113,828

事業区分 法人運営 **地域福祉** 相談支援 在宅福祉
 事業種類 受託事業 補助事業 公益事業 自主事業 その他 ()

実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	—
事業名	共同募金助成金事業 高齢者福祉活動						
決算額 (単位：円)	441,000	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の 補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
						441,000	
事業概要	高齢者福祉活動への助成						
事業内容	【都城地区】 2件／441,000円 ・「市高連だより」発行事業、三世代交流伝承事業						
	【山之口地区】 0件／0円						
	【高城地区】 0件／0円						
	【山田地区】 0件／0円						
	【高崎地区】 0件／0円						
事業成果	<p>高齢者相互の活動として、健康づくり・生きがいくくり・伝統行事を通じたふれあい交流事業等に助成することで、その活動の推進に努めた。</p> <p>平成29年度からは、本所、各支所の高齢者クラブでの要望を15地区高齢者クラブ連合会での要望として統一し、単一クラブではなく、組織への助成を行った。</p>						

事業区分 法人運営 **地域福祉** 相談支援 在宅福祉
 事業種類 受託事業 補助事業 公益事業 自主事業 その他 ()

実施箇所	本所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No. ー	
事業名	共同募金助成金事業 障害児・者福祉活動						
決算額 (単位：円)	822,000	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の 補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
						822,000	
事業概要	障がい児・者福祉活動への助成						
事業内容	【都城地区】 8件／548,000円 ・障がい者関係事業（3件） 研修会、生涯学習事業、部活動支援 ・ボランティア関係事業（5件） 精神障がい者自立支援活動、精神障がい者社会復帰支援、研修、難病患者及び家族支援、障がい児の陸上支援事業						
	【山之口地区】 1件／20,000円 ・障がい者社会参加交流事業						
	【高城地区】 1件／91,000円 ・身体障害者福祉大会						
	【山田地区】 3件／74,000円 ・学校支援事業、子育て支援研修、ふれあい料理教室						
	【高崎地区】 2件／89,000円 ・仲間づくり事業、健康づくり事業						
事業成果	障がい者の社会参加はもとより、各種障がい理解のための学習会や研修会に対しても助成を行った。ただ、当事者による活動中心の団体が多く、会員が高齢化しており、今後の活動が危ぶまれる団体もあり、なかなか活動の広がりが期待できない状況である。 今後は、団体の横のつながりを通じて、活動の紹介や提案ができるような体制を作り、共同募金による障害者福祉の理解と活動の充実に努めたい。						

事業区分 法人運営 **地域福祉** 相談支援 在宅福祉
 事業種類 受託事業 補助事業 公益事業 自主事業 その他 ()

実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	—
事業名	共同募金助成金事業 児童・青少年福祉活動						
決算額 (単位：円)	3,665,000	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の 補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
						3,665,000	
事業概要	児童・青少年福祉活動への助成						
事業内容	【都城地区】 19件／3,366,000円 ・広報啓発活動、青少年健全育成大会、地域交流駅伝大会、子育てサークル・サロン活動、施設訪問、ふれあい体験学習、野外活動、子育て仲間づくり、ふれあい料理教室、食育講習会、ボランティア体験、世代間交流もちつき大会、おもちゃ病院、家族会サロン活動						
	【山之口地区】 3件／81,000円 ・地域ふれあい交流活動、青少年健全育成啓発活動						
	【高城地区】 1件／19,000円 ・児童健全育成活動						
	【山田地区】 3件／199,000円 ・交流会・研修会、学校支援事業						
	【高崎地区】 0件／0円						
事業成果	地区社会福祉協議会をはじめとする地域の子育てサロンや、子育てサークル、青少年健全育成・子育て支援活動を行うボランティア団体に対して助成を行った。また、辞退した団体があったため、二次募集を行った結果、学習支援事業を行う団体に助成を行った。今後も二次助成に対応できるよう、また、通常的一般募金助成に繋げることができるよう、日頃より地域と連携し、ニーズキャッチに努めたい。						

事業区分 法人運営 **地域福祉** 相談支援 在宅福祉
 事業種類 受託事業 補助事業 公益事業 自主事業 その他 ()

実施箇所	本 所	山之口支所	高城支所	山田支所	高崎支所	事業No.	—
事業名	共同募金助成金事業 住民全般福祉活動						
決算額 (単位：円)	8,531,602	左の財源内訳					
		補助金		受託金		その他の 補助金等	一般財源
		市	県社協	市	県社協		
						8,531,602	
事業概要	住民全般福祉活動への助成						
事業内容	【都城地区】 29件／6,854,602円 ・人材育成、救急講習会、施設訪問、社会を明るくする運動啓発活動、自主防犯活動、見守り活動、健康講習会、認知症カフェ、地域福祉人材養成研修会、清掃活動、社会奉仕活動、地域づくり勉強会、在宅介護者のつどい、広報紙発行事業、男性料理教室、一人暮らし高齢者のつどい、ふれあい交流のつどい、おじいちゃんクッキング、ふれあいウォーキング、生活援助員のつどい、子ども福祉育成事業、親子料理教室、研修活動、小地域座談会、ふれあい福祉まつり、ボランティアフェスティバル、福祉教育、福祉教育ボランティア学習学会						
	【山之口地区】 2件／66,000円 ・各世代交流、広報啓発事業						
	【高城地区】 1件／970,000円 ・ふれあい交流事業、地域支援事業						
	【山田地区】 4件／203,000円 ・地域福祉推進事業、地域福祉ボランティア活動、まちづくり推進、施設ボランティア活動事業						
事業内容	【高崎地区】 6件／438,000円 ・ふれあい訪問事業、ボランティアまつり、いきいきサロン事業、保存食配布事業、見守り訪問活動、地域実態把握活動、健康づくりふれあい交流会						
	【高崎地区】 6件／438,000円 ・ふれあい訪問事業、ボランティアまつり、いきいきサロン事業、保存食配布事業、見守り訪問活動、地域実態把握活動、健康づくりふれあい交流会						
事業成果	各地区社会福祉協議会をはじめ、地域ボランティア連絡協議会、自治公民館連絡協議会、民生委員児童委員協議会等が実施する地域福祉事業に助成することで、地域福祉の推進に努めた。						

平成30年3月

作成 : 社会福祉法人都城市社会福祉協議会

〒885-0077 都城市松元町4街区17号

TEL 0986-25-2123 FAX 0986-25-2103

ホームページ <http://www.m-syakyo.or.jp/>

Eメール : info@m-syakyo.or.jp
